

2018年度の事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

法人名 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

2018年度から2019年度に向けて（成果と課題）

2018年度は広島にとって激動の一年だったのではないのでしょうか。毎年のように全国で災害が発生していますが、昨年は島根県西部地震、大阪北部地震、平成30年豪雨、平成30年北海道胆振東部地震と甚大な災害が相次ぎ、戦後最大級の被害をもたらされた広島県内の犠牲者は126名、未だ5名が行方不明です。もうすぐ1年となりますが、各地では復旧作業が続き、崩れたままの山肌を見ると梅雨時期への不安が募ります。現在、仮設住宅（呉市、三原市、坂町）、みなし仮設、公営住宅など、まだ自宅に戻れない被災者の方が多く、在宅にて生活の再建を進めている方々も大勢います。そして、被災した地域では、高齢者や障害者、生活困窮者、子育て世帯など、支援のニーズが多様化し、住宅や地域の復興の見通しがまだ見えない状況が続いています。被災された方々が安心して日常生活を送ることができるように、今後も継続した支援が求められています。

昨夏、県内19市町23箇所にあった災害ボランティアセンターは全て閉所しました。また、現在は12市町に地域支え合いセンターが開所し、行政や社会福祉協議会によって被災者の訪問や見守り、生活支援などが行われています。その一方で、NPO/NGOはフットワークの強みを活かしながら被災者の声を集め、多様化するニーズに寄り添って支援活動を継続しています。そんな中、ひろしまNPOセンターは、中間支援組織の立場として、発災直後から復旧支援活動に取り組んできました。県内NPOの安否確認や情報伝達、各市町の災害ボランティアセンターや避難所の運営、支援金の募集や活動団体への配分、関係機関の連携や情報共有を促すための「平成30年7月豪雨災害支援ひろしまネットワーク会議」の開催などを行ってきました。

しかし、自主財源による支援活動の継続の難しさや人手不足の課題を抱えているのも現実です。そこで、これまで積み上げてきた情報やノウハウ、ネットワークを、今後の中長期的な支援活動につなげていくために、広島県生活協同組合連合会様やYahoo!基金様をはじめ、県内及び全国からの支援金の寄付財源を基に「ひろしま復興支援基金」を立ち上げ、復旧・復興プロジェクトを公募し、89件/37,430,000円の応募から選考した結果、61件/15,470,000円を採択しました。また、先日の6月1日（土）に広島国際会議場で「平成30年7月豪雨災害支援活動共有会」を開催し、助成金の配分団体や広島出身Jリーガー支援プロジェクト「ミンナノチカラ」の寄付金贈呈団体など約70団体120名が集い、各地の状況や活動について情報交流を行うことができました。

広島が初めて経験した広域災害として、復旧にはまだ時間を要するかもしれませんが、被災された方々の生活が少しでも早く再建し、地域に元気が戻り、次なる災害に備えることができる広島を目指すためには、多様な支援者とステークホルダーが更に連携・協働し、誰一人取り残さない復興を目指していく必要があります。

それと、去年は大きな節目の年でもありました。NPO 法（特定非営利活動促進法）が 1998 年 12 月に施行され 20 周年を迎えました。現在、全国で 51,592 団体、広島県は 831 団体の NPO 法人が活動しています。これまで、ボランティア活動、SB・CB（ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス）、CSR、プロボノ、ソーシャルイノベーション、クラウドファンディング、社会的インパクト評価、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）など、市民社会づくりを取り巻く環境は大きく変容してきました。そんな中で、NPO は社会的価値の創造や社会的課題の解決の一翼を担い、社会に大きな価値観や影響を与える存在になりました。その一方で、休眠状態の NPO の増加、未だに NPO は儲けてよいのかと聞かれる、業務を安く委託できる便利屋になっていないか、対等な協働はどれくらい進んでいるのか、短期的で目に見える成果が求められる、政治や経済の停滞、社会問題の複雑化など多くの課題もあります。

ひろしま NPO センターは、1997 年 9 月に設立して NPO 法制定への働きから活動をスタートし、これまで広島県域の中間支援組織として、NPO に関わる情報の収集・発信、相談対応、ネットワークづくり、学習の機会の提供、助成金等の資金分配、調査研究、政策提言、コミュニティ財団の設立など、様々な分野において NPO 支援や協働取組を行ってきました。

また、昨年 12 月には、NPO 法施行とひろしま NPO センター設立の 20 周年の節目をふまえて「Hiroshima Future Party 2018」を開催し、これまでの 20 年をふりかえると共にこれからの市民社会づくりを考える機会を持ちました。おかげさまで分野・立場・世代をこえて多くの方にご来場いただき、広島を過去と未来をつなげる多様な意見を共有することができました。

そして、2019 度は広島と NPO の未来に向けて、ひろしま NPO センターとしてのビジョンやミッション、中期計画の見直しを図ります。NPO を取り巻く社会情勢をどう捉えるのか、広島を優先課題は何なのか、NPO や中間支援組織はどう変わっていけばよいのか、ひろしま NPO センターへの叱咤激励も含めて、みなさまから様々な意見や提案をいただくと幸いです。

I センターの運営に関する事項

1. 通常総会の開催

(1) 第20回通常総会

- 【日 時】平成30年6月23日(土) 10:00~12:00
【場 所】ひろしまNPOセンター(広島市中区八丁堀3-1 幟会館2F 会議室)
【出席者】正会員113名中62名出席(出席:12名、委任状:50名)
【議 題】(1)2017年度事業報告及び決算報告(案)
(2)2018年度事業計画及び活動予算(案)
(3)定款の変更
(4)役員を選任

2. 理事会の開催

(1) 第1回理事会

- 【日 時】平成30年5月29日(火) 16:00~17:30
【場 所】ひろしまNPOセンター(広島市中区八丁堀3-1 幟会館2F 会議室)
【出席者】14名中7名出席、他監事1名出席
【議 事】(1)2017年度事業報告及び決算報告(案)
(2)2018年度事業計画及び活動予算(案)
(3)定款の変更
(4)役員を選任
(5)ひろしまNPOセンター20周年行事

(2) 第2回理事会

- 【日 時】平成30年10月16日(火) 16:00~17:30
【場 所】ひろしまNPOセンター(広島市中区八丁堀3-1 幟会館2F 会議室)
【出席者】14名中8名出席、他監事1名出席
【議 事】(1)2018年度事業半期の事業報告及び決算
(2)平成30年7月豪雨災害支援活動報告
(3)ひろしまNPOセンター20周年行事

(3) 第3回理事会

- 【日 時】平成31年3月27日(水) 16:00~17:30
【場 所】ひろしまNPOセンター(広島市中区八丁堀3-1 幟会館2F 会議室)
【出席者】14名中7名出席、他監事1名出席
【議 題】(1)2018年度(平成30年度)事業報告案及び決算予測
(2)2019年度(平成31年度)事業計画案及び活動予算案
(3)民間公益活動のための休眠預金等活用

3. 組織運営（役員・事務局）

（1）役員（理事・監事）

代表理事	安藤 周治	特定非営利活動法人ひろしまね 理事長	県北部
	中村 隆行	広島経済大学 スポーツ経営学科 准教授、興動館プロジェクトセンター長	NPO
副代表理事	三好 久美子	公益財団法人ひろしまこども夢財団 理事長	県東部
	山本 一隆	中国新聞社会事業団 理事長	県西部
専務理事	松原 裕樹	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター事務局長	NPO
常務理事	山本 祐二	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
理事	五百竹 宏明	県立広島大学経営情報学部 准教授	学識経験者
	金谷 信子	広島市立大学国際学部 教授	学識経験者
	川口 隆司	認定特定非営利活動法人法人コミュニティサークル 理事長	NPO
	児玉 宏	特定非営利活動法人コーチズ 代表理事	NPO
	田中 豊光	広島商工会議所 総務部長	経済団体
	茶山 ちえ子	特定非営利活動法人 WAC 広島ふれあいセンター 理事長	NPO
	増田 勇希 村田 民雄	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 特定非営利活動法人 e&g 研究所 理事長	NPO NPO
監事	久笠 信雄	弁護士	
	赤羽 克秀	公認会計士・税理士	

(2) 事務局

【職員数】

2019年3月31日現在 34名（常勤16名、非常勤18名）

【事務局運営スタッフ】

NO	氏名	勤務形態	役職	役割
1	松原 裕樹	常勤	専務理事、事務局長	事務局統括、業務運営責任者
2	山本 祐二	常勤	常務理事	総務・経理、業務運営責任者
3	増田 勇希	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
4	香川 恭子	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
5	松村 渉	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
6	赤澤 直樹	非常勤	コーディネーター	業務運営

【業務運営スタッフ】

○環境省事業／常勤3名

※別事業所（広島市中区）

○JICA 事業／非常勤1名

※別事業所（東広島市）

○子育て支援事業／常勤7名、非常勤15名

※別事業所（広島市中区・南区・安佐南区）

○復興支援チーム／常勤1名、非常勤1名

(3) 会員

【正会員】 132名

【協力会員】 53名

【企業会員】 6社

Ⅱ センターの事業に関する事項

<事業概要>

事業名／契約先等		区分
(1) 情報収集提供事業		
情報収集（県内 NPO、イベント、助成金など）		継続
データベース構築・活用		継続
情報発信（ホームページ、facebook、ニュースレターなど）		継続
(2) 各種団体の運営支援事業		
①資金循環システムの構築		
ろうきん NPO 寄付システム／中国労働金庫		継続
ひろしま NPO サポート倶楽部（良和ハウス寄付プログラム）／ひろしま NPO サポート倶楽部、株式会社良和ハウス		継続
ひろしま NPO サポート倶楽部／ゆうちょ銀行		継続
市民ファンドとの連携／コミュニティ未来創造基金ひろしま		継続
②組織基盤強化		
イーパーツリユース PC 寄贈プログラム／認定 NPO 法人イーパーツ		継続
NPO 事務局セミナー&NPO 事務力検定／岡山 NPO センター		継続
什器備品等の寄贈プログラム／県内企業など		継続
組織基盤強化ワークショップ／日本 NPO センター		新規
③人材育成・ノウハウの提供		
地域課題解決ネットワーク／日本政策金融公庫ほか		継続
ソーシャルビジネス支援ネットワークひろしま／日本政策金融公庫ほか		継続
「福山市まちづくりサポートセンター」ボランティア・NPO 等相談業務／福山市		継続
廿日市市市民活動相談業務／廿日市市		新規
課題解決型長期インターンシップ／有限会社 S-Produce.		新規
④拠点提供		
NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業／広島市		継続
共同事務所レターボックス		継続
広島県民文化センター「サテライトキャンパス」／教育ネットワーク中国		継続
(3) 調査・研究・政策提言事業		
中国 5 県中間支援組織連絡協議会／中国 5 県の NPO 支援センター		継続
社会的インパクト評価／内閣府		継続
民間公益活動促進のための休民預金等活用／全国の NPO 支援センター		継続

(4) 啓発・研修事業		
	山の日実行委員会事務局／山の日実行委員会	継続
	平成 30 年度広島県環境学習指導者専門研修業務／広島県	継続
	平成 30 年度中国環境パートナーシップオフィス (EPO ちゅうごく) 管理運営等業務／環境省	継続
	「Green Gift 地球元気プログラム 2017」運営支援に関する委託業務／日本 NPO センター	継続
	「Green Gift 地球元気プログラム 2018」運営支援に関する委託業務／日本 NPO センター	継続
	2017 年度開発教育支援事業／独立行政法人国際協力機構 中国国際センター	継続
	2017 年 JICA 中国青年研修「東ティモール中小企業振興コース」／独立行政法人国際協力機構 中国国際センター	新規
	2017 年 JICA 中国青年研修「ミャンマー防災コース」／独立行政法人国際協力機構 中国国際センター	新規
	JICA 中国 NGO 連携事業「UPDATE セミナーシリーズ」コーディネート業務／独立行政法人国際協力機構 中国国際センター	継続
	SAVE JAPAN プロジェクト / 認定特定非営利活動法人日本 NPO センター、損保ジャパン日本興亜株式会社	継続
	親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務／広島県教育委員会	継続
	ざぶん賞 中国ブロック実行委員会業務／一般財団法人ざぶん環境・文化プロジェクト	新規
	平成 30 年度地域の環境課題解決に向けた SDGs 人材研修業務／環境省	新規
	平成 30 年度地球環境基金助成金説明会の開催に係る業務／独立行政法人環境再生保全機構	継続
	「第 4 回ユース環境活動発表大会」地区審査会の開催に係る業務／独立行政法人環境再生保全機構	継続
(5) ネットワーク・連携推進事業		
	各種相談業務	継続
	ひろしま未来交流会	継続
	ひろしま県民活動表彰／広島県、たちまち全員集合実行委員会	継続
	たちまち全員集合／たちまち全員集合実行委員会	継続
	東日本大震災県外自主避難者等への情報支援事業	継続
	広島 NGO ネットワーク	継続
	中国 NGO ネットワーク	継続

(6) 子育て・子育て支援に関する事業	
広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業（中区）／広島市	継続
広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業（安佐南区）／広島市	新規
広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業（南区）／広島市	新規
産後サポートの拠点づくり事業／独立行政法人福祉医療機構	継続
平成 30 年度広島県子育て支援員研修事業業務／広島県	継続
(7) その他	
ひろしま NPO センター20 周年行事「Hiroshima Future Party 2018」	新規
平成 30 年 7 月豪雨災害支援活動	新規
西日本豪雨被災者支援に対する支援調整と 3 県県域災害ネットワーク構築・強化業務	新規
ひろしま復興支援基金（生協連）	新規
ひろしま復興支援基金（Yahoo! 基金）	新規
ひろしま復興支援基金（Yahoo! ネット）	新規
委員・講師の派遣	継続
会議・関連行事の参加	継続
協力・後援・連携事業の推進	継続

1. 情報収集提供事業

(1) 情報収集

NPOに係る活動や支援の状況、主体間ネットワークの形成に資する情報等を収集する。収集に当たっては、新聞報道、行政（国、県、市町村）の報道発表資料・関連刊行物、企業のCSR報告書、NPO等の刊行物のほか、必要に応じインターネット情報、メルマガ等を活用するとともに、関係者・機関との情報交流を実施した。

(2) データベース構築・活用

収集した情報については記録・整理し、データベース化してホームページ等にて紹介した。

(3) 情報発信

①ホームページの管理運営

主に広島県内で実施される各主体の行事、補助金・助成金情報等、NPO活動に関わる団体等の基盤強化、連携強化に資する情報を発信した。

The screenshot shows the homepage of the Hiroshima NPO Center. At the top, there is a header with the logo and name '特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター'. Below the header is a navigation bar with links for 'NPOとは', 'NPOの皆様へ', '企業/団体の皆様へ', '社会貢献に興味のある皆様へ', and '大学/教育関係の皆様へ'. The main content area features a large banner for '平成30年7月豪雨災害復興を目指してご寄付のお願い' (Request for donations to support disaster recovery from the July 2018 heavy rain disaster). Below the banner are three colored buttons: '企業/団体の皆様へ' (blue), '地域/社会貢献に興味のある皆様へ' (pink), and '大学/教育関係の皆様へ' (yellow). The right side of the page has a 'CANPAN' section with a list of activities and dates. At the bottom, there are sections for 'ひろしまNPOセンターの取り組み' (Activities), '県内NPO法人データ検索' (Intra-county NPO法人 data search), and 'イベント・セミナー情報' (Event/Workshop information).

②Facebook ページの管理運営

主催行事や協力事業、活動状況を中心に情報発信を随時行った。

ひろしまNPOセンター

「いいね！」済み ▼ フォロー中 ▼ シェア ...

ひろしまNPOセンター
作成者: 松村 渉 (7) · 3月8日 · 公開

東日本大震災から8年、
その間も熊本地震や平成30年7月豪雨災害をはじめとする大きな災害が複数発生しています。
そして、多くの地域が復興の道を歩んでいる最中です。
微力ながら復興支援に取り組んできた私たちが信じていることがあります。
... もっと見る

感謝
絆

DONATION.YAHOO.CO.JP
【平成30年7月豪雨】広島まだまだがんばっとるけえ！ - Yahoo! ネット募金

1,277 リーチした人数 145 エンゲージメント数 **投稿を宣伝**

いいね! コメント シェアする 31 シェア7件

**ソーシャルビジネス
29年度
プランコンテスト!**

Our Story

NPOの活動をもっと良くしたい、社会的信頼を高めたい、新たな事業を展開したい等、ひろしまNPOセンターでは、活動を進めていくうえでの様々な疑問や相談に応じしています。

+ストーリーを作成してビジネスを紹介しよう

ページのアドバイス すべて見る

- 効果的な投稿を作成しよう
適切なターゲット層に向けた、ビジュアルに富んだ簡潔な投稿が効果的です。
- ページを友達に推薦
友達にひろしまNPOセンターをすすめて、さらにたくさんの「いいね!」を獲得しましょう。
- モバイルでどこからでもページを簡単に管理
ページマネージャアプリをダウンロードして、モバイルで投稿したり、ファンに返信しよう。

③ニュースレター等の発行

■8月号

【発行時期】2018年8月

【掲載内容】○事務局長あいさつ

○ひろしまNPOセンターによる平成30年7月豪雨災害支援活動のご報告

■11月号

【発行時期】2018年11月

【掲載内容】○事務局長あいさつ

○ひろしまNPOセンターによる平成30年7月豪雨災害支援活動のご報告

○設立からの歩みと主な事業

○助成金のご案内

○第9回ひろしまイーパーツリユースPC寄贈プログラム実施

■1月号

【発行時期】2019年1月

【掲載内容】○災害復旧復興の取組

○20周年イベントのご報告

○子育て部門のご紹介

2. 各種団体の運営支援事業

《資金循環システムの構築》

(1) 中国ろうきん NPO 寄付システム

①事業概要

事業種別	継続
事業名	中国ろうきんNPO寄付システム
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先	中国労働金庫
事業期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
収益形態	寄付金
収益金額	200,000円
目的・概要	「私たちの地域を私たちでつくる～100円からできるボランティア～」を合言葉に、中国労働金庫の普通口座契約者からいただいた寄付金を、中国各県で活動するNPOに寄付配分し、団体の社会貢献活動を促進していこうという「地域循環型寄付システム」。

②実施内容

■応募期間

平成30年1月～2月

■選考審査会

【日時】平成31年3月11日（月）14:00～15:30

【場所】幟会館 2階A会議室（広島市中区八丁堀3-1）

【審査委員】高田孝利（中国労働金庫広島県営業本部本部長）、三好久美子（ひろしまこども夢財団理事長）、五百竹宏明（県立広島大学准教授）、金谷信子（広島市立大学教授）、山本恵由美（NPO法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 理事長）、安藤周治（ひろしまNPOセンター代表理事）、中村隆行（ひろしまNPOセンター代表理事）

■助成金授与式

【日時】平成31年3月27日（水）13:00～15:00

【場所】幟会館 2階C会議室（広島市中区八丁堀3-1）

【内容】2017年度配分団体活動報告（NPO法人健康サロン）

【応募件数】19団体/4団体を採択

【助成総額】200,000円

■助成団体

分野	団体名	所在地	助成額
保健・医療・福祉	NPO 法人エンディングノート普及協会	福山市新市町	50,000 円
環境保全	NPO 法人グリーンラインを愛する会	福山市西新涯町	50,000 円
子どもの健全育成	NPO 法人むかいしま seeds	尾道市向島町	50,000 円
子どもの健全育成	NPO 法人体にやさしい食の会	広島市中区	50,000 円

③事業総括

【成 果】

- 持続可能な組織基盤強化に向けた機運の醸成
- 他分野の活動団体との交流

【課 題】

- 新たな取り組みの企画・運営
- 持続可能な自主事業の確立

(2) ひろしま NPO サポート倶楽部 (良和ハウス寄付プログラム)

①事業概要

事業種別	継続
事業名	ひろしま NPO サポート倶楽部
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先	ひろしま NPO サポート倶楽部
事業期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
収益形態	寄付金
収益金額	600,000 円
目的・概要	ひろしま NPO サポート倶楽部は、広島県内の NPO 法人の活動資金援助を広く県民の皆様へに支援していただく制度で、倶楽部への会員登録をしてくださった方の郵便貯金口座から、毎年 6 月及び 12 月 (各会員が希望された月) に、一口 500 円の会費引落しを行い、集まった会費 (寄付金) を NPO 法人に分配する仕組み。

②実施内容

■応募期間

平成 30 年 1 月～2 月

■選考審査会

【日 時】平成 31 年 3 月 11 日 (月) 14:00～15:30

【場 所】幟会館 2 階 A 会議室 (広島市中区八丁堀 3-1)

【審査委員】高田孝利 (中国労働金庫広島県営業本部本部長)、三好久美子 (ひろしまこども夢財団理事長)、五百竹宏明 (県立広島大学准教授)、金谷信子 (広島市立大学教授)、山本恵由美 (NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 理事長)、安藤周治 (ひろしま NPO センター代表理事)、中村隆行 (ひろしま NPO センター代表理事)

■助成金授与式

【日 時】平成 31 年 3 月 27 日 (水) 13:00～15:00

【場 所】幟会館 2 階 C 会議室 (広島市中区八丁堀 3-1)

【内 容】2017 年度配分団体活動報告 (NPO 法人健康サロン)

【応募件数】13 団体 / 5 団体を採択

【助成総額】600,000 円

■助成団体

NO	団体名	所在地	助成額
1	NPO 法人フリースクール木のねっこ	廿日市市上平良	100,000 円
2	NPO 法人百華倶楽部	安芸高田市河田町	100,000 円
3	NPO 法人ひろしまレリクエーション協会	広島市中区	100,000 円
4	NPO 法人ひろしまシン大学	広島市中区	200,000 円
5	NPO 法人三段峡一太田川流域研究会	山県郡安芸太田町	100,000 円

③事業総括

【成 果】

- 課題解決プロジェクトの実践に向けた機運の醸成
- 他分野の活動団体との交流

【課 題】

- 新たな取り組みの企画・運営
- 持続可能な組織基盤強化

《組織基盤強化》

(3) イーパーツリユース PC 寄贈プログラム

①事業概要

事業種別	継続
事業名	イーパーツリユース PC 寄贈プログラム
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先	認定特定非営利活動法人イーパーツ
事業期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	
目的・概要	企業からのリユース PC を非営利団体・ボランティア団体・高齢者グループなどの市民活動団体 や NPO へと無償で寄贈し、その情報化を支援する。

②実施内容

■寄贈式の開催

【日 時】平成 30 年 12 月 15 日（日）13:30～16:00

【場 所】広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟 6F マルチメディアスタジオ（広島市中区）

【参加者】11 団体

【運営】認定特定非営利活動法人イーパーツ、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、ひろしま市民活動ネットワーク HEART to HEART、公益財団法人広島市文化財団まちづくり市民交流プラザ

【内 容】<第 1 部>

○ゲームでセキュリティを学ぶ「セキュろく」

○寄贈 PC に関するオリエンテーション

○寄贈式

<第 2 部>

○クイズ de 著作権

■寄贈団体

NO	団体名
1	特定非営利活動法人子どもネットワーク可部
2	NPO 法人ベトナム友の会-ヒロシマ
3	発達障害当事者会 ぼっぼカフェ
4	NPO 法人はぴままクローバー
5	NPO 法人父子家庭サポートネット・ひろしま
6	若者活動サポートセンターあおぞら
7	ピアサポート子育て相談センター
8	西中国キリスト教社会事業団
9	子育て支援サークルげんき発信隊
10	一般財団法人 広島 YWCA
11	NPO 法人食べて語ろう会

③事業総括

【成 果】

- 持続可能な組織基盤強化に向けた機運の醸成
- 他分野の活動団体との交流

【課 題】

- 新たな取り組みの企画・運営
- 持続可能な自主事業の確立

《人材育成・ノウハウの提供》

(4)「福山市まちづくりサポートセンター」ボランティア・NPO 等相談業務

①事業概要

事業種別	継続
事業名	「福山市まちづくりサポートセンター」ボランティア・NPO 等相談業務
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先	福山市
事業期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	583,760 円
目的・概要	市民活動に関するあらゆる疑問や悩みごとなど、まちづくりに取り組む課題解決をサポートする。

②実施内容

■相談対応

【日 時】 毎月第 1・3 木曜日

【場 所】 福山市まちづくりサポートセンター 「まちサポ」 オープンスペース（福山市市民参画センター 2F）

【運 営】 専門相談員：山本祐二（特定非営利活動法人ひろしま NPO センター）

【内 容】 団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応

③事業総括

【成 果】

- 相談者の市民活動における知見の向上
- 各関係機関とのネットワーキング

【課 題】

- 協働推進に向けた課題解決
- 各団体の自立と組織基盤強化

(5) 廿日市市市民活動相談業務

①事業概要

事業種別	新規
事業名	廿日市市市民活動相談業務
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先	廿日市市
事業期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
収益形態	受託料
収益金額	421,303円
事業の目的・概要	市民活動の相談窓口において、市民活動団体の運営に関することからNPO法人の設立・運営に関することに対して助言及び情報提供等を行う。

②実施内容

■相談対応

【日 時】 毎月第2・4木曜日

【場 所】 廿日市市市民活動センター1階 相談コーナー

【運 営】 専門相談員：山本祐二（特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター）

【内 容】 団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応

③事業総括

【成 果】

○相談者の市民活動における知見の向上

○各関係機関とのネットワーキング

【課 題】

○協働推進に向けた課題解決

○各団体の自立と組織基盤強化

《拠点提供》

(6) NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業

①事業概要

事業種別	継続
事業名	NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先	広島市
事業期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
収益形態	自主財源・利用料
収益金額	
目的・概要	組織の立ち上げ期や新たな展開を始めようとしているNPO法人や市民活動団体等の非営利団体を対象として、活動拠点を提供する。

②実施内容

■2017年度入居団体

NO	団体名
1	ためまっぴプロジェクト
2	特定非営利活動法人キャンサーサバイバー・キャリアサポート
3	企業経営研究塾
4	ピアサポート子育て相談センター
5	one dream
6	広島脳力開発研究所

■レターボックス

NO	団体名
1	夢現大学
2	特定非営利活動法人障害者年金ヘルプデスク
3	特定非営利活動法人日本インクルーシブ教育研究所
4	一般社団法人百人邑

③事業総括

【成果】

- 入居団体に対して実施事業の後援、後方支援及び経理事務に関する基本的なアドバイスや情報発信など運営コンサルティングを適時行った。

【課題】

- 入居団体募集の取組（現在3ブースの空室）

4. 啓発・研修事業

(1) ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局

①事業概要

事業種別	継続
事業名	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
事業期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
収益形態	受託料
収益金額	1,000,000円
目的・概要	広島県及び23市町など行政も加わった県民参加の森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的とする。

②実施内容

■ひろしま「山の日」県民の集い行事

【日 時】平成30年6月3日 10:00～15:00

【場 所】〔メイン会場〕

江田島市会場（国立江田島青少年交流の家）

〔サテライト会場〕

東広島市会場（憩いの森公園）・廿日市市会場（もみのき森林公園）・広島市会場（広島市森林公園、広島県緑化センター）・三原市会場（中央森林公園）・庄原市会場（国営備北丘陵公園）・福山市会場（ふくやまふれ愛ランド）・三次市会場（酒屋地区憩いの森他）・呉市会場（野呂山）・北広島町八幡高原会場（芸北地区八幡高原）・安芸高田市会場（鷹ノ巣山）・安芸太田町会場（深入山グリーンシャワー）・大竹市会場（マロンの里交流館）・世羅町会場（せら夢公園）・大崎上島町（神峰山）

【参加者】11,718名

【運営】広島県民（森林ボランティア、山岳団体、企業CSR活動、大学・高校、緑の少年団など）

【内容】山の手入れ、登山道整備、登山教室、自然観察会、森のネイチャーゲーム、木工教室、森のコンサートなど、各団体・企業等の持ち込み企画で実施

③事業総括

【成 果】

- 昨年に続き、瀬戸内海の島（江田島市）がメイン会場となり、より一層「山の日」の意識が高まった。
- 1978年6月の山林火災から40年の節目を迎え、山の大切さ及び防災意識の向上
- 当センター（中間支援組織）が事務局を担うことで、多様な主体の関係者に情報発信できた

【課 題】

- 「森林を守り育てる体制」として、積極的に活動している団体数の不足
- 森林整備従事者の成り手不足及び一般県民の方々の理解不足

(2) 平成 30 年度広島県環境学習指導者専門研修業務委託

①事業概要

事業種別	継続
事業名	平成 30 年度広島県環境学習指導者専門研修業務委託
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹、松村渉
契約先	広島県環境県民局環境政策課
事業期間	平成 30 年 4 月 2 日～平成 30 年 11 月 30 日
収益形態	受託料
収益金額	995,068 円
目的・概要	本事業は、児童・生徒等を対象とした環境学習会をより効果的に実施することを目的として、環境教育の実践者や、その支援者等を受講対象とし、フィールドワーク及びワークショップによる実践交流等を通して、お互いの経験から学び合い、指導技術を高め合う研修を実施します。

②実施内容

■第 1 回研修

【日 時】平成 30 年 9 月 8 日（土）9:30～16:00

【場 所】宮島、瀬戸内海

【講 師】上嶋英機（一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会 理事長）

【参加者】15 名

【運 営】ひろしま NPO センター

【内 容】チャーター船を手配し、宮島の外周をまわる宮島七浦巡りを実施。途中磯場や浜に立ち寄りフィールドワークおよびエコツーリズムを学ぶ座学を実施。

■第 2 回研修

【日 時】平成 30 年 9 月 15 日（土）10:00～16:00

【場 所】牛田公民館及びその周辺

【講 師】山本由加（認定 NPO 法人しずおか環境教育研究会 副理事長・事務局長）

柴崎千賀子（認定 NPO 法人しずおか環境教育研究会 事業主任）

【参加者】18 名

【運 営】ひろしま NPO センター

【内 容】エコエデュが実施している環境教育プログラムを座学で学び、身近な里山を学びの場として生かすための気づきを得るために会場周辺の里山においてフィールドワークを実施した。その後、発見から「なぜ？」を見つけ出す「問いへの気づき」の重要性をワークショップを通じて学んだ。

■第 3 回研修

【日 時】平成 30 年 10 月 28 日（日）10:00～16:00

【場 所】広島県民文化センター6F ひろしま NPO センター会議室

【講 師】川嶋直（公益社団法人 日本環境教育フォーラム 理事長）

【参 加 者】20名

【運 営】ひろしまNPOセンター

【内 容】KP法を用いてESDとSDGsについてのレクチャーを行った。その後、KP法の作り方解説を行い、参加者がSDGsをテーマにしたKPを作成、発表を行った。加えて、川嶋氏のこれまでの活動や経験から試行錯誤の末にたどり着いた『学びの場づくり』についてKP法で学んだ。

③事業総括

【成 果】

○これからの社会に向けた新たな環境学習指導者の育成

- ・全3回（定員各回20名）の研修に対して、41名の参加申込があり、のべ53名の参加者（事前キャンセル7名）を育成した。

○経験からの学びあいや指導技術を高め合う効果的な研修プログラムの企画運営

- ・テーマとした「観光×観光学習」「子育て×環境学習」「SDGs×環境学習」それぞれについて、第一線で活躍する講師からのアドバイスを踏まえ、研修生が自らの現場に持ち帰って活用できる環境学習プログラムを企画し、体験学習法に基づいた研修プログラムのデザイン、全体・グループ・個人ワークの活用、休憩時間や夜間の交流、参考資料・情報の提供、研修補助者の配置など、研修効果を高めるための創意工夫を行った。

○多様な立場や世代による実践交流とパートナーシップ形成

- ・環境学習の実践者（NPO、環境カウンセラー、ガイド、中学校教員）や自治体職員（環境、農林水産）、企業、大学生、その他の分野や支援者（まちづくり、観光、保育士、中間支援組織）など、多様な参加者による学びあいと人材交流を図ることができた。

【課 題】

○連携・協働による環境学習の実践に向けた活動支援の仕組み

- ・「観光」「子育て」「SDGs」など、今後の社会課題をふまえた環境学習の指導者に必要な知識や技術の習得を図ることはできたが、更に参加者の実践活動をサポートする仕組みなどがあれば、連携・協働による環境学習の実践活動が更に広まり効果が高まることが考えられる。

(3) 平成 30 年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務

①事業概要

事業種別	継続
事業名	平成 30 年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹、岩見暢浩、西村浩美、松田美紀
契約先	環境省中国四国地方環境事務所
事業期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	35,122,738 円
目的・概要	本業務は、環境教育等促進法及び促進法基本方針における EPO ちゅうごく及び国内実施計画等を踏まえた中国地方 ESD センターとしての役割を明確にし、業務を円滑に遂行するため、中国地方の実情を踏まえた各種事業の企画及び実施をすることにより、様々な主体による協働・連携の取組を広げ、効果的かつ効率的に環境保全活動を活性化させること及び ESD を推進するための広域ネットワークのハブ機能を担う体制を整備し、ESD 活動に関連する多様な主体と地域ネットワークの構築を図り、ESD のより一層の推進を図ることを目的とする。

②実施内容

■EPO ちゅうごく業務

- 持続可能な社会の実現に向けた地域協働モデルの創出及び支援
- 拠点間連携による地域内の中間支援機能強化
- 地域における ESD 推進の取組支援
- 第 5 次環境基本計画に沿った環境教育支援事業
- 相談対応及び情報センター業務

■中国地方 ESD センター業務

- ESD 活動を支援する情報共有機能
- 現場のニーズを反映した ESD 活動の支援機能
- ESD 活動のネット一枠の形成、ESD 実践の学びあいの場の促進機能
- 人材育成機能

■管理業務

- 平成 30 年度業務目標・業務運営計画の策定
- 運営委員会の設置・開催
- 中国四国地方環境事務所との意見交換会
- 管理・運営体制の確保
- 業務推進のための会議への出席
- 業務で得られたデータの把握及び整理

③事業総括

■EPO ちゅうごく業務

<p>持続可能な社会の実現に向けた地域協働モデルの創出及び支援</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGs をツールとした地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援「みずしま滞在型環境学習で新たな“まちのにぎわい”を創ろう」。課題間の相関や同時解決につながる仕掛け処の整理や可視化、関係者の理解促進。滞在型環境学習を受け入れる水島地域の受け皿の基盤づくり。 広島県（地域政策局平和推進プロジェクトチーム）の施策との事業連携。 企業関係者に対する SDGs の理解促進と「SDGs Compass SDGs の企業行動指針」及び「SDGs 活用ガイド（環境省）」の周知・活用。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGs をツールとした地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援「みずしま滞在型環境学習で新たな“まちのにぎわい”を創ろう」。商店街活性化や地域づくり等を行っているステークホルダーとの関係構築。高校生の提案の実現に向けた地域の大人たちの支援体制づくり。滞在型環境学習の概念と地域へのメリットの理解促進に向けた支援。 多様なセクターに対する SDGs の研修プログラム(手法)の研究。
<p>拠点間連携による地域内の中間支援機能強化</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域循環共生圏の形成促進に向けた中間支援機能や支援策の検討。地域資源・エネルギー等を活用した地方・都市の維持・発展につながる中国 5 県の実践団体とのパートナーシップ構築。 地方公共団体に対する環境教育等促進法の制度理解の促進や政策協働ガイドの活用。 中国 5 県の中間支援組織（環境分野・NPO 支援センター）と連携した情報発信。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域循環共生圏の形成促進に向けたモデル事業や可能性のある取組に関する情報収集、支援の方向性（面的、個別的）や体制づくり、国・自治体の動向との調整。 地方公共団体の担当者間の相互交流や意見交換の充実、具体的な参考事例やケーススタディ等の提供。
<p>地域における ESD 推進の取組支援</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取県における ESD の理解・交流促進。ESD を推進するための関係機関（鳥取県環境部署、鳥取県教育委員会、中学校・高等学校、

	<p>有識者、議員、NPO、環境教育や ESD の実践者）とのパートナーシップ形成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県（鳥取県地球温暖化防止活動推進センター）と山口県（ときわ公園）における ESD 実践拠点の取組目標の具体化と達成のための支援（体制強化、ツール開発、ネットワーク構築、人材育成、）。 ・平成 28～30 年度に実施してきた ESD 拠点支援事業における成果（全国 28（うち中国地方 5）の実践事例をふまえた多様な施設・ネットワークによって ESD 実践を強化するノウハウ）のとりまとめと発信。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域づくりの担い手育成や ESD を推進するための支援方法の検討、他地域への水平展開。 ・支援した ESD 拠点の継続的な活動に向けた取組支援や地域 ESD 拠点登録制度の活用。
<p>第 5 次環境基本計画に沿った環境教育支援事業</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県（地域政策局平和推進プロジェクトチーム）の施策との事業連携。 ・広島県内の SDGs ビジネス（26 社）の見える化（セレクトブックの制作）。 ・大学生と企業・起業家による SDGs の理解を深める相互啓発やそれらを通じた SDGs の幅広い普及啓発。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セレクトブックの第二弾の発行とそのための必要な SDGs ビジネスの発掘。 ・マルチステークホルダーで SDGs を推進するための県域のプラットフォーム構築支援。 ・SDGs の達成に向けて大学生が主体的に実践活動していくための機会創出や支援。
<p>相談対応及び情報センター業務</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応及び情報収集・発信の充実 ・実施した事業を通じた新たな相談案件の創出や事業展開に向けた相談対応の活用。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応を通じた情報やニーズの収集、対応ノウハウの蓄積。 ・関係機関とのデータ共有や活用。

■中国地方 ESD センター業務

<p>ESD 活動を支援する 情報共有機能</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国地方の ESD 推進のための相談・支援窓口、情報収集・発信の
-------------------------------	---

	<p>充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外のESD活動に係る情報・資料等の蓄積 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集・分析・蓄積と活用 ・主催事業や関連行事でパートナーシップ構築した関係機関との連携、情報発信、データ活用。
現場のニーズを反映したESD活動の支援機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地のESD活動の支援ニーズの把握及び他ESD業務への反映。 ・地域ESD拠点や広島ESDコンソーシアム等と連携した情報発信やニーズ把握。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の発展や創出、ESD実践団体の成長につながる支援ニーズの把握・分析・活用
ESD活動のネットワークの形成、ESD実践の学びあいの場の促進機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国ESDセンター及び他の地域の地方ESDセンター、全国的なESD推進団体（JICA、独立行政法人国立青少年教育振興機構）との連携。 ・全国のESD活動支援センター事業の設計・構築（ESD推進ネットワークの可視化）。 ・ESD全国フォーラムの開催支援及び地域ESD拠点の参画促進。 ・地域ESD拠点の登録推進（7団体、3県）。 ・地域ESD拠点の取組事例の水平展開（津山圏域クリーンセンター・リサイクルプラザ）。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポストGAPに向けた情報整理やそれらをふまえた事業検討。 ・地域ESD拠点の登録推進（2県、高等教育機関・その他のネットワーク） ・地域ESD拠点の取組事例の水平展開した取組を具体化する支援。
人材育成機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生や大学生を主体とした広域的な交流や学びあいの場づくり。 ・SDGsの達成に向けたESDユースの人材育成。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校及び学生の参加のしやすさや他の類似行事をふまえた開催時期の設定。 ・育成したユースやその団体のフォローアップ。

(4) 2018 年度開発教育支援事業

①事業概要

事業種別	継続
事業名	2018 年度開発教育事業
担当責任者	増田勇希
担当スタッフ	増田勇希、濱長真紀
契約先	JICA 中国
事業期間	平成 30 年 4 月 2 日(月)～平成 31 年 3 月 31 日(日)
収益形態	受託料
収益金額	6,720,000 円
目的・概要	本事業は、地域・市民の異文化理解、国際理解を高めるとともに、国際協力の担い手の育成を目的としている。おもに、JICA 中国を訪問する教育機関、市民団体向けの訪問プログラムの企画運営、高校生対象の夏季プログラム、管内展示等を業務として、業務従事者 1 名が JICA 中国内にデスクを構え業務を実施している。

②実施内容

■事業内容

- 施設訪問事業（訪問プログラムの企画運営、各種調整業務）
- 高校生プログラム事業（プログラム企画運営補助、各種調整業務）
- 館内展示事業
- 広報事業
- その他イベント補助等

■概要

【年間施設訪問数】 54 件（小中高大学、社会人）

【高校生プログラム参加数】 21 校 31 名

【館内展示内容】 4 半期ごとに展示更新を実施

【広報事業】 教育機関向けパンフレットの作成

【内 容】 生徒・児童を対象とした異文化理解、国際理解の促進は、地域における将来のグローバル人材育成、多文化共生社会の実現には重要な要素であり、JICA 施設への訪問他、各種プログラムにおける効果的な企画運営が求められる。従事者は、学校教員としての経験のほか、各種ワークショップの実績を十分に積んでいることから、JICA 中国、施設利用者（学校教員等）のニーズをとらえ、質の高いプログラムを提供している。ひろしまNPOセンターとして、教育を通し異文化理解、国際理解を持った生徒・児童の育成に関われることは、今後さらに進むグローバル化と、すでに地域社会が直面している多文化共生等の課題に対し、課題解決への貢献となっている。

(5) 2018 年度 JICA 中国青年研修「東ティモール中小企業振興コース」

①事業概要

事業種別	新規
事業名	2018 年度 JICA 中国青年研修「東ティモール中小企業振興コース」
担当責任者	増田勇希
担当スタッフ	増田勇希
契約先	JICA 中国
事業期間	平成 30 年 8 月 24 日(金)～平成 30 年 11 月 2 日(金)
収益形態	受託料
収益金額	2,344,356 円
目的・概要	本事業は、東ティモールの青年行政官を対象として、中国地方（広島）を中心とした中小企業振興（農業分野）政策、および特徴的な事業を展開している企業等の知見を得ることにより、東ティモールにおける該当分野の発展に寄与することを目的としている。事業は講義、視察、ワークショップで構成されており、多様な研修先、関係者を巻き込むことで、地域、市民の国際化への貢献している。

②実施内容

14 日間に及ぶ研修の実施

■概要

【日 時】平成 30 年 9 月 19 日（水）～10 月 2 日（火）

【場 所】広島県内

【研 修 先】廿日市市産業振興課、オタフクソース（株）、児玉経営、日本政策金融公庫、広島市

立商

業高等学校、（一社）百人邑、（一社）安芸太田地域商社、寺領味野里、平田観光農園、広島湾地域資源ネットワーク 等

【参 加 者】14 名

【運 営】ひろしま NPO センター

【内 容】東ティモールは産業が未発達であり、中小企業が発展する土壌が十分な状況ではない。そのような背景の中、東ティモールが産業育成重点分野に挙げている農業、観光に焦点を当て、これまでひろしま NPO センターが培ってきたネットワークを活かして研修を設定した。研修員からは研修に対し一定の評価を受けるとともに、各研修先においても、その後、JICA 事業に関わる研修先が現れるなど、各団体における国際化にも寄与できる内容であった。

(6) 2018 年度 JICA 中国青年研修「ミャンマー防災コース」

①事業概要

事業種別	新規
事業名	2018 年度 JICA 中国青年研修「ミャンマー防災コース」
担当責任者	増田勇希
担当スタッフ	増田勇希
契約先	JICA 中国
事業期間	平成 30 年 11 月 16 日～平成 31 年 2 月 15 日
収益形態	受託料
収益金額	2,783,596 円
目的・概要	本事業は、ミャンマーの青年行政官（防災分野）を対象として、2014 年広島土砂災害、西日本豪雨をケーススタディとし、行政における防災施策、地域における防災力の向上について知見を得ることで、ミャンマーの当該分野の発展に寄与することを目的としている。事業は講義、視察、ワークショップで構成されており、NPOセンターが培った知見とネットワークを活用することで、多様な研修先、関係者を巻き込み、地域、市民の国際化へも貢献している。

②実施内容

14 日間に及ぶ研修の実施

■ 概要

【日 時】平成 30 年 12 月 5 日（水）～12 月 18 日（火）

【場 所】広島県内

【研 修 先】広島県危機管理監、広島市危機管理室、広島県社会福祉協議会、坂町社会福祉協議会、被災地NGO協働センター、日本技術士会中国本部、広島市消防局、広島市防災士ネットワーク、JV OAD、安佐北区大林ならび新建自治会、江波山気象館 等

【参 加 者】13 名

【運 営】ひろしま NPO センター

【内 容】ミャンマーはサイクロン、土砂災害、地震等、日本同様に災害リスクが高い国である一方、防災政策各種防災インフラ、防災啓発等は発展途上にある。そのような背景の中、2 度の大規模災害に見舞われた広島では、県、市、地域等、それぞれのレベルでの防災対策、災害からの復旧・復興の経験を有しており、関係者とのディスカッションも含めた、より実践的な研修を構成するよう研修を設定した。

研修員からは研修に対し一定の評価を受けるとともに、各研修先においても、災害の記録、経験を繋げることになり、今後の協力への前向きな発言等、双方にとって有意義な研修となった。

(7) JICA 中国 NGO 連携事業「UPDATE セミナーシリーズ」コーディネート業務

①事業概要

事業種別	継続
事業名	JICA 中国 NGO 連携事業「UPDATE セミナーシリーズ」コーディネート業務
担当責任者	赤澤
担当スタッフ	赤澤、増田
契約先	JICA 中国
事業期間	平成 30 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	2,716,866 円
目的・概要	広島県内の NGO を中心に、地域の資源を生かした国際貢献・国際協力活動ができるようになるために、組織基盤の強化と事業立案能力の向上を目指したセミナーを実施する。

②実施内容

■第 3 回「課題解決のストーリーを考えよう！」実施

【日 時】2018 年 4 月 14 日（土）10:00～16:30

【場 所】広島県民文化センター

【講 師】株式会社風とつばさ 代表取締役 水谷衣里

【参加者】8 人

【運 営】事務局担当職員

【内 容】活動のビジョンを確認し、その実現に向けた道筋を考え、日常の活動で活用できる活きた目標設定ができる力を身につけるための、ビジョン達成に向けた具体的なステップを明確にできるスキルを身につけることを目指した研修。ワークショップを多用し各団体における状況に即した議論を行った。

■第 4 回「課題解決のストーリーを考えよう！」フォローアップ実施

【日 時】2018 年 5 月 12 日（土）13:00～16:30

【場 所】広島県民文化センター

【講 師】株式会社風とつばさ 代表取締役 水谷衣里

【参加者】10 人

【運 営】事務局担当職員

【内 容】活動のビジョンを確認し、その実現に向けた道筋を考え、日常の活動で活用できる活きた目標設定ができる力を身につけるための、ビジョン達成に向けた具体的なステップを明確にできるスキルを身につけることを目指した研修。前回の内容を定着させるフォローアップをおこなった。

■第 5 回「人を巻き込むコツ！」実施

【日 時】2018 年 5 月 26 日（土）10:00～16:30

【場 所】 広島県民文化センター

【講 師】 NPO 法人ひろしまシン大学 代表理事 平尾順平

【参 加 者】 8 人

【運 営】 事務局担当職員

【内 容】 「人を巻き込むコツ!」は、人の繋がりをいかに作って広げていくか、NPO らしいコミュニティ作りのコツを学ぶため、ワークショップを交えた研修を行った。

■第 6 回「人を巻き込むコツ!」フォローアップ実施

【日 時】 2018 年 6 月 9 日 (土) 13:00~16:30

【場 所】 広島県民文化センター

【講 師】 NPO 法人ひろしまシン大学 代表理事 平尾順平

【参 加 者】 8 人

【運 営】 事務局担当職員

【内 容】 「人を巻き込むコツ!」は、人の繋がりをいかに作って広げていくか、NPO らしいコミュニティ作りのコツを学ぶため、ワークショップを交えた研修を行った。前回研修の内容を踏まえたワークショップを行った。

■第 7 回「伝える力を強化する!」実施

【日 時】 2018 年 6 月 30 日 (土) 10:00~16:30

【場 所】 広島県民文化センター

【講 師】 フリーランスファンドレイザー 石井大輔

【参 加 者】 13 人

【運 営】 事務局担当職員

【内 容】 支援者や支援金を獲得するための PR ができるようになるために、事業概要や意義などを広く PR するための考え方や手法を学ぶためのワークショップを行った。

■第 8 回「伝える力を強化する!」フォローアップ実施

【日 時】 2018 年 9 月 22 日 (土) 13:00~16:30

【場 所】 広島県民文化センター

【講 師】 フリーランスファンドレイザー 石井大輔

【参 加 者】 5 人

【運 営】 事務局担当職員

【内 容】 支援者や支援金を獲得するための PR ができるようになるために、事業概要や意義などを広く PR するための考え方や手法を学ぶためのワークショップを行った。前回の内容をより掘り下げるワークショップも実施した。

■第 9 回「資金調達を成功させる!」実施

【日 時】 2018 年 10 月 14 日 (土) 10:00~16:30

【場 所】 広島県民文化センター

【講 師】 ファンドレイジングラボ 徳永洋子

【参 加 者】 5 人

【運 営】 事務局担当職員

【内 容】ビジョンや目標の達成に向けた資金調達ができるようになるために、ビジョン達成に向けた資金調達の考え方とコツを寄付・会費と助成金を軸に扱った。また、県内の利用可能な助成金の案内も合わせて行った。

■第10回「資金調達を成功させる！」フォローアップ実施

【日 時】2018年11月17日（土）13:00～16:30

【場 所】広島県民文化センター

【講 師】ファンドレイジングラボ 徳永洋子

【参加者】10人

【運 営】事務局担当職員

【内 容】ビジョンや目標の達成に向けた資金調達ができるようになるために、ビジョン達成に向けた資金調達の考え方とコツを寄付・会費と助成金を軸に扱った。また、県内の利用可能な助成金の案内も合わせて行った。前回の内容を踏まえて、補足する内容も追加した。

③事業総括

【成 果】

- 参加した広島県内のNPOなど約10団体のコミュニティビルディング
- 各団体における組織基盤の強化やビジョンの明確化

【課 題】

- 継続したサポートの必要性
- 参加団体間でのコミュニケーションの必要性
- 実施したプログラムの内容や成果の蓄積

(8) SAVE JAPAN プロジェクト 2017-2018

①事業概要

事業種別	継続
事業名	SAVE JAPAN プロジェクト 2017-2018
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先	認定特定非営利活動法人日本NPOセンター、損保ジャパン日本興亜株式会社
事業期間	平成29年10月1日～平成30年9月30日
収益形態	受託料
収益金額	550,0000円
目的・概要	地域住民に対して環境活動に参加する機会を提供することで、環境問題への関心が高いコミュニティづくりに貢献することを目的とし、多様な主体との「連携」「協働」が促進されることで、関係団体・関係者や参加した地域住民が互いに学びあい、地域の環境問題の解決のための行動が増加する好循環が創出され「いきものが住みやすい環境づくり」につながっていくことに寄与する。

②実施内容

■自然を深掘り 生きものの立場から森を見てみよう！

【日時】平成30年8月5日（水）10:00～15:00

【場所】大竹市松ケ原町 もりメイト倶楽部「わくわく森」

【講師】見勢井 誠 氏（広島県森林インストラクター協議会会長）

【参加者】91名

【運営】特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

【内容】生きものの立場になって、生きものが住みやすい森を目指して森づくり活動体験を実施。その後、森の大切さを学び、森を活かし、森のおいしい恵みを堪能し、クラフトアート体験の実施。

③事業総括

【成果】

- 参加者及び地域住民の環境保全活動への関心の向上
- 地域住民との連携が強化された

【課題】

- 森林整備による減災の意識向上
- 子どもたち及び地域住民に対して継続的な環境学習の実施

(9) 親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務

①事業概要

事業種別	継続
事業名	親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先	広島県教育委員会
事業期間	平成30年5月1～平成31年3月31日
収益形態	受託料
収益金額	1,200,000円
目的・概要	広島県教育委員会が開発した、幼稚園・保育所・認定こども園等において親子と一緒に楽しめる体験活動プログラムを県内の園・所等において訪問実施し、プログラムの普及を図るとともに、保護者の関わりも含めたプログラムのねらいを達成するための効果的な実施について園・所等職員の理解を深めることを目的とする。

②実施内容

- 県内の保育園・所、公民館等を訪問し、親子での体験プログラムを実施

【日時】平成30年6月～平成31年2月

【場所】県内の園・所、公民館等 20か所

【実施団体】ONPO 法人いきいきアクティビティサービス

ONPO 法人ほしはら山の学校

③事業総括

【成果】

- 親子の身体を使ったコミュニケーションづくりの向上
- 保育園・所、公民館等の職員の理解向上

【課題】

- プログラム実施体制の強化

(10) 平成 30 年度地域の環境課題解決に向けた SDGs 人材研修事業

①事業概要

事業種別	新規
事業名	平成 30 年度地域の環境課題解決に向けた SDGs 人材研修事業
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹、松村渉
契約先	一般社団法人環境パートナーシップ会議
事業期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 30 日
収益形態	受託料
収益金額	2,550,000 円
目的・概要	様々な職種の社会人を対象に、環境保全や地域づくり等に取り組んでいる団体の現場で、地域の SDGs をテーマにしたフィールドワーク型研修を実施します。「仕事や個人の時間を通じて社会貢献がしたい」、「社会のために何か挑戦したい」という思いをもった人たちが、地域との出会いや議論を通じて、その思いを実現させ、社会変革の担い手になっていくことを目的とします。

②実施内容

■事前研修、事後研修

全国事務局の GEOC が担当。ひろしま NPO センターは中国地方事務局として広島県安芸太田町で実施された現地研修を担当した。

■現地研修

【日 時】平成 30 年 12 月 15 日（土）～12 月 16 日（日）

【場 所】安芸太田町 三段峡、三段峡ホテル

【講 師】志賀誠治（NPO 法人ひろしま自然学校 代表理事）
大室悦賀（長野県立大学）

【参加者】10 名

【運 営】NPO 法人三段峡-太田川流域研究会（さんけん）、ひろしま NPO センター

【内 容】三段峡を中心に活動する NPO 法人三段峡-太田川流域研究会の進行で、その活動や三段峡に関するレクチャーを行い、その後三段峡舞台にフィールドワークを実施。その学びや気づき、疑問などを参加者全体で徹底した意見交換、ワークショップを実施した。

③事業総括

【成 果】

○地元 NPO と首都圏 NPO や人材のコーディネート

本研修を通じて、地元 NPO（さんけん）と首都圏 NPO（GEOC）のつながりを構築できた。
また、参加者が自発的にさんけんの会員になるなど、ひろしま NPO センターを介さないつながりを構築できた。

○SDGs 理解の促進

本研修を通じて、関わった職員の SDGs に関する理解が深まった。

【課 題】

○継続性の担保

全国の EPO が継続して受託できる事業として設計を進めていたが、平成 30 年度内にその結論が出なかった。自主事業に出来るほど収益面などを深めることができなかった。

5. ネットワーク・連携推進事業

(1) ひろしま未来交流会

①事業概要

事業種別	継続
事業名	ひろしま未来交流会
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹
契約先	有志一同（広島県環境県民局県民活動課、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター）
事業期間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
収益形態	自主事業
収益金額	
目的・概要	様々な立場・世代を対象とした主客一体の交流会を開催することを通して、広島 島の未来を語り合いプロジェクトを生み出して実現することを目指す。

②実施内容

■実施概要

【日 時】 毎月第 2 金曜日 19:00～21:00

【場 所】 ひろしま NPO センター大学連携室（広島市中区大手町 広島県民文化センター6F）

【内 容】

回	日 程	参加者	おしゃべりテーマ
第 47 回	2018 年 4 月 13 日（金）	32	持続可能な社会／生きるために大切なもの／広島の文化／持続可能なボランティア／ソーシャル・イノベーションって何？
第 48 回	2018 年 5 月 11 日（金）	38	病気の子どものための取組／広島の未来に必要なもの／大人から子どもへの意見、子どもから大人への意見／これから必要な教育／広島でやる音楽フェスで呼びたい人は？／ひろしまの魅力って？／SNS って使ってる？
第 49 回	2018 年 6 月 8 日（金）	19	古民家の再生／300 年後の広島に残したいもの／誰もが見たくなるホームページ／広島空港までの過ごし方の活用法／魅力的なクラウドファンディング／コミュニケーションを育てるには
第 50 回	2018 年 7 月 13 日（金）	20	災害支援ボランティアに行ける場所／サイトのアクセスを増やすとあてになるのか／下の名前の由来／海ゴミ
第 51 回	2018 年 8 月 10 日	20	広島に何があったらよいか／高齢者を活かすために

回	日(金)		は/県外から来た人がわかファンでなくなるには
第52回	2018年9月14日(金)	20	ゴミの減量/広島県内の観光や移動/神楽のビジネス化/学校と共同の可能性/10月15日はカープの日
第53回	2018年10月12日(金)	21	U40の有名な広島人/広島ミライ会議/地元をおもしろく、まちをさかえさせる/広島の冬の楽しみ方/46位中12位の広島のポテンシャルは?/ウンセカの映画化
第54回	2018年11月9日(金)	22	広島の未来に必要なもの、不必要なもの/新しい観光地/何を基準に選挙で選ぶか/廿日市市で未来交流会をやりたい/ひろしまの未来に何を望むか/農業ボランティアのしくみ
第55回	2018年12月14日(金)	25	年越しイベント/クレイデント/叡智学園/忘年会の余興/赤信号で渡るか?/学校はブラック?
第56回	2019年1月11日(金)	24	撮った写真の使い道/家族の反対がある中で県外に出てよいか!/?/車とまちづくり/広島から平和を考える/議員の年齢/瀬戸内の魅力を世界に伝えるには
第57回	2019年2月8日(金)	25	広島の戦前の歴史/うつやひきこもり/子どもの体験プログラムのトイレ/どうしたらエコに暮らせるか/究極のクラウドファンディング
第58回	2019年3月8日(金)	19	平和の灯火/高校生にオススメしたい映画・本・体験/トコトン追求した趣味ありますか?/カープのチケットの販売方法/広島で映像に残したい場所/人を集める方法

6. 子育て・子育て支援に関する事業

(1) 広島市公募型常設オープンスペースつばさ

①事業概要

事業種別	継続
事業名	広島市公募型常設オープンスペースつばさ
担当責任者	香川恭子
担当スタッフ	八木、山根、宅嶋、田辺、村越、下野、鎌田
契約先	広島市 こども未来局 こども・家庭支援課
事業期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
収益形態	自主事業、補助金
収益金額	19,861,000円
目的・概要	<p>子育て中の親子が、自由に集い遊び、学び、健やかに成長できる場の提供。</p> <p>①子育てオープンスペースの運営、講習会・交流会の実施、相談事業、情報提供など 月曜～土曜の10:00～16:00、1回の利用料100円、年間登録料100円</p> <p>②子育てオープンスペース内での一時預かりの実施 月曜～土曜の9:30～17:00、30分250円（1回3時間まで）</p> <p>③訪問支援事業の実施 依頼のあった日時にボランティアが訪問支援活動を行うためのコーディネート業務、ボランティアの養成</p>

②実施内容

■子育て親子の交流の場の提供

開設日数	285日
延利用者数	大人3,888人（男性：146人、女性：3,742人） 小人4,527人（0歳児：1,396人、1歳児：1,734人、 2歳児：794人、3歳児：493人、その他：111人）
子育てアドバイザーの雇用実績	11名

■子育てに関する相談・助言の実施

相談対応件数	生活に関すること	136件	育児等に関すること	29件
	発育・発達に関すること	86件	その他	7件

■地域の子育てに関する情報提供

提供を行った情報の内容等	幼稚園、保育園の入園に関する情報や園庭開放の情報。地域の子育てサロンやサークル情報の提供。ファミリー・サポートについて登録や利用方法を伝えた。広島市の事業で産後ケアの利用について説明。イベントやお出かけ情報など。
主な提供方法	資料の配布、ホームページの閲覧、掲示物の閲覧、口頭で説明しながら情報を提供し、使い方や問い合わせ先など具体的に伝えるよう心がけた。

■子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

実施実績	講演会	0回	交流会	14回	延利用者数	大人：887人
	講習会	96回	その他	0回		小人：977人

■付加価値事業の実施

○地域の子育て支援拠点として地域の子育て支援活動の展開を図るための取組

取組内容	一時預かり事業を実施した。オープンスペース開催日の10時～18時まで実施。(行事の為午後から実施の日あり)
------	---

○地域支援の取組

実施内容	中央公園で子どもが主体的に遊びを創造するための遊び場づくりを地域の団体と一緒にいった。
延利用者数	小人：984人

実施内容	ホームスタートによる訪問支援活動を行った。
延利用者数	大人：170人 小人：202人

■一時預かり事業の実施

○一時預かり事業の実施の概要

一時預かり 実施日時	実施曜日	月曜日～土曜日
	実施時間	10:00～18:00(8時間)
	実施日数	278日
従事スタッフの雇用実績(保育従事者)		6人

○補助対象外の一時預かり

一時預かり 実施日時	実施曜日	月曜日～土曜日
	実施時間	10:00～18:00(8時間)
対象児童等	就学前児童のうちの対象年齢	0歳から未就学まで
	利用定員	6人
	述べ預かり児童数	947人

○一時預かり利用実績

区 分	年度計
稼働日数	278
延べ預り児童数	947
延べ利用者数(養育者数)	908
月あたりの受け入れ可能時間数	2,224
総利用時間数	2,128.4

一日あたりの平均預かり児童数	3.4
----------------	-----

■その他子育て支援に関すること

7月豪雨災害の時に、支援物資を集め、被災した子育て家庭や保育園等に提供した。また、被災した子育て家庭のためにオープンスペースや預かりを無料で利用できるよう取り組んだ。8月～11月までで利用は8件あった。

③事業総括

【成 果】

- 新たなニーズに応えるため、訪問支援事業を実施し、予定していた利用者数9組を超えて、50組の利用があった。
- 講習会や交流会などの行事を予定通り実施できた。

【課 題】

- 一時預かりのキャンセル率が高く、定員いっぱいであったがキャンセルにより0組の日もあった。
- 災害の影響と断定はできないが、7月後半以降の利用者数がオープンスペース、預かりとも減った。
- インフルエンザ等の感染症の流行により利用者が減った。
- 予算が少なく、広報活動が十分にできなかったため、もっと早く知りたかったと言われる利用者が複数あった。
- 訪問支援活動の依頼に対し、十分な予算がない。
- OSや預かり、訪問支援等からわかった利用者さん個別の課題への対応が十分にできない。

(2) 広島市公募型常設オープンスペースふらっと

①事業概要

事業種別	新規
事業名	広島市公募型常設オープンスペースふらっと
担当責任者	香川恭子
担当スタッフ	班石、佐々木、北（よ）、北（ひ）、田辺、金近、八木
契約先	広島市 こども未来局 こども・家庭支援課
事業期間	平成30年7月1日～平成31年3月31日
収益形態	自主事業、補助金
収益金額	6,185,726円
目的・概要	子育て中の親子が、自由に集い遊び、学び、健やかに成長できる場の提供。 子育てオープンスペースの運営、講習会・交流会の実施、相談事業、情報提供など 月曜～金曜の10:00～16:00、1回の利用料100円、年間登録料100円

②実施内容

■子育て親子の交流の場の提供

開設日数	150日
延利用者数	大人1,582人（男性：11人、女性：1,571人） 小人1,740人（0歳児：691人、1歳児：707人、2歳児：236人、3歳児：82人、その他：24人）
子育てアドバイザーの雇用実績	8名

■子育てに関する相談・助言の実施

相談対応件数	生活に関すること	171件	育児等に関すること	59件
	発育・発達に関すること	114件	その他	6件

■地域の子育てに関する情報提供

提供を行った情報の内容等	園庭開放、保育園や幼稚園の入園や入所の手続きについて。公民館の子育て事業の案内。サークル活動の情報など。
主な提供方法	資料を集めて、OS内に掲示。必要に応じて説明。

■子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

実施実績	講演会	0回	交流会	9回	延利用者数	大人：394人
	講習会	41回	その他	0回		小人：420人

■その他子育て支援に関すること

地域の戸建てを利用して、オープンスペースを開設。そのため、町内会に加入し、地域との連携を図って支援活動を行っている。今年度はスタッフが参加するのみ行ったが、新年度は、事前にポ

ランティアを募ったり、講習会を行うなどして、具体的なつながりを持って活動することとしている。

③事業総括

【成 果】

- これまで近くにいつでも遊びにいけるスペースがなかったため、近隣の親子さんが徒歩や自転車で遊びに来れる場所として喜ばれた。
- 区の保健師さんや助産師さん、他の OS との連携がはかれ、地域の子育てセーフティネットづくりに貢献できている
- お父さんスタッフもいて、お父さんが子育てに関心を持ってもらえるセミナーを開催できた。

【課 題】

- インフルエンザ等の感染症の流行により利用者が減った。運営上、利用料収入を見込んでの運営であるため、計画時の見通しが重要。
- 予算が少なく、広報活動が十分にできなかったため、もっと早く知りたかったと言われる利用者が複数あった。

(3) 広島市公募型常設オープンスペースいいね

①事業概要

事業種別	新規
事業名	広島市公募型常設オープンスペースいいね
担当責任者	香川恭子
担当スタッフ	三宅、鹿江、北、高橋、江川、中村、沖本、野原、藤平
契約先	広島市 こども未来局 こども・家庭支援課
事業期間	平成30年11月1日～平成31年3月31日
収益形態	自主事業、補助金
収益金額	3,773,484円
目的・概要	子育て中の親子が、自由に集い遊び、学び、健やかに成長できる場の提供。 子育てオープンスペースの運営、講習会・交流会の実施、相談事業、情報提供など 月曜～土曜の10:00～16:00、1回の利用料100円、年間登録料100円

(4) 産後サポートの拠点づくり事業

①事業概要

事業種別	継続
事業名	産後サポート支援拠点づくり事業
担当責任者	香川恭子
担当スタッフ	香川恭子、横山ゆかり
契約先	独立行政法人 福祉医療機構
事業期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
収益形態	自主事業、助成金
収益金額	7,161,608 円
目的・概要	<p>「初めての子育てで不安を感じている親が、実家がわりにゆっくり過ごせる場で、子育て力、家事生活力を高め、子育てをしている自分の暮らしに自信を持つことで、プチ育児放棄（赤ちゃんの世話の仕方がわからず放っておくこと）をなくし、虐待予防につなげる」ことを目的に、産後サポートの拠点となる「ばあばのおうち」を設け、支援者を親代わりに過ごしながら、子育て力、家事生活力を身につける場を提供」する事業。</p> <p>平成 28 年、29 年度、広島市中心部の拠点に出向けなかった世帯に向けて、家庭訪問型子育て支援の導入。その後、平成 30 年 7 月豪雨災害発生。広島市内、仮設住宅の建設はされず、被災子育て世帯が地域から離れて避難生活を行っている。不安やこれからの備える居場所づくりのモデル事業として広報、利用促進を進めている。</p>

②実施内容

■産後サポート支援拠点づくり事業 全7事業の柱立て

- 1) 訪問事業のための研修会（第1回ホームビジター養成講座）
- 2) 産後サポート訪問事業（ホームスタートひろしま）
- 3) 産後サポートばあばのおうち利用
- 4) 企業における産前・産後サポート事業の活用
- 5) おやこ食堂の実施
- 6) 報告書の作成と成果報告会の開催
- 7) 連携団体会議の開催

■1) 訪問事業のための研修会 【家庭訪問支援を行うための人材を育成する】全8日間実施

- <日 時>2018年4月19日
 <場 所>広島市総合福祉センター
 <講 師>ホームスタートひろしま 香川恭子・ホームスタートジャパン 渡里祐子
 <参加者>11名
 <運 営>産後ママの憩いの場ばあばのおうち 香川・幸徳・横山・八木
 <内 容>オリエンテーション / 「ホームスタートの内容、意義を学ぶ」

- 1) 訪問事業のための研修会 【家庭訪問支援を行うための人材を育成する】
 - <日 時>2018年4月26日
 - <場 所>広島市総合福祉センター
 - <講 師>公益財団法人男女共同参画財団 常務理事 棚多里美
 - <参加者>11名
 - <運 営>産後ママの憩いの場ばあばのおうち 香川・幸徳・横山・八木
 - <内 容>「家庭とはなにか、親とはなにか」／「子どもの理解」子どもの発達など
- 1) 訪問事業のための研修会 【家庭訪問支援を行うための人材を育成する】
 - <日 時>2018年5月10日
 - <場 所>広島市総合福祉センター
 - <講 師>おや楽コミュニケーション「こころとことば」大下幸恵
 - <参加者>11名
 - <運 営>産後ママの憩いの場ばあばのおうち 香川・幸徳・横山・八木
 - <内 容>「傾聴の意義と方法1」／「傾聴の意義と方法2」
- 1) 訪問事業のための研修会 【家庭訪問支援を行うための人材を育成する】
 - <日 時>2018年5月17日
 - <場 所>広島市総合福祉センター
 - <講 師>ホームスタートジャパン 山田幸恵
 - <参加者>11名
 - <運 営>産後ママの憩いの場ばあばのおうち 香川・幸徳・横山・八木
 - <内 容>「家庭で活動する上でのポイント」／「ホームビジターの実務」
- 1) 訪問事業のための研修会 【家庭訪問支援を行うための人材を育成する】
 - <日 時>2018年5月31日
 - <場 所>広島市総合福祉センター
 - <講 師>広島県助産師会 助産師 山根美喜子・広島市こども未来局こども・家庭支援課
 - <参加者>11名
 - <運 営>産後ママの憩いの場ばあばのおうち 香川・幸徳・横山・八木
 - <内 容>「問題や悩みのある家庭への理解」「地域連携のために」
- ①訪問事業のための研修会 【家庭訪問支援を行うための人材を育成する】
 - <日 時>2018年6月7日
 - <場 所>広島市総合福祉センター
 - <講 師>ホームスタートジャパン 森田圭子
 - <参加者>11名
 - <運 営>産後ママの憩いの場ばあばのおうち 香川・幸徳・横山・八木
 - <内 容>「家庭の中で活動する1」／「家庭の中で活動する2」
- ①訪問事業のための研修会 【家庭訪問支援を行うための人材を育成する】
 - <日 時>2018年6月14日
 - <場 所>広島市総合福祉センター

<講師>ホームスタートひろしま 香川恭子・幸徳宏美
<参加者>11名
<運営>産後ママの憩いの場ばあばのおうち 香川・幸徳・横山・八木
<内容>「シェアリング・修了テスト」／「修了式、登録、交流会」

8日目：個別に日程調整「終了後の個別面談」

■①訪問事業のための研修会 【家庭訪問支援を行うための人材を育成する】

8日目・面談日：2018年6月19日、20日、21日実施

実施回数：8日間

実施場所：広島市総合福祉センター

対象者・数：24名定員／11名受講

スタッフ構成：事務局スタッフ 3名（香川・幸徳・横山）

ビジター登録者数：10名

■2)産後サポート訪問事業 【子育て家庭の孤立を防止する】

<日時>2018年7月開始

<場所>広島市8区

<参加者>オーガナイザー：2名 ホームビジター：9名

<運営>子育てオープンスペースつばさ内ホームスタートひろしま

<内容>特定非営利活動法人ホームスタートジャパンのプログラムの導入。

ホームスタート（小さいお子さんのいる家庭を訪問し、お母さんと一緒に話をしながら一緒に家事や育児をするボランティア活動。イギリスで44年前に始まったこの住民の支え合い活動は、日本全国約100地域にひろがり子どもを育むあたたかなつながりが生まれている。）

外出が困難な家庭を訪問することで、子育て家庭の孤立を防止する。

実施回数：問い合わせ件数 50件、利用申込件数 44件

実施場所：依頼者宅、依頼者希望施設、依頼者希望地域

対象者数：申込者 44件、初回訪問利用者 36名、

ボランティア紹介件数 31件

活動終了件数（1件あたり7回訪問） 7件

利用者世帯（子どもの人数）子どもの人数 4人

■3)【家庭訪問支援を行うための人材を育成する】

<日時>2018年4月～2019年3月末

<場所>産後ママの憩いの場ばあばのおうち（広島市中区幟町10-12幟ハイツ403）

<参加者>登録者数：39件 利用件数：53件

<運営>産後ママの憩いの場ばあばのおうち 香川・幸徳・横山・黒木・山下・赤田・三宅

<内容>平成28年度にスタートした産後サポートの拠点「産後ママの憩いの場ばあばのおうち」の周知をはかり、必要としている方に利用していただいた。

産後サポートばあばのおうちで、ゆっくり休んで元気になれるように

産後サポートばあばのおうちで、自分の子育てに自信が持てるように

職場の理解を進め、パパも子育てできるように

職場の理解を進め、ママも仕事をがんばれるように（平成 29 年度事業報告書）を目標に実施。

そのことにより産後うつ予防及び虐待予防につながるよう、子育て力・生活力の向上につなげることができた。特に育休中の世帯の利用が多く、前年利用者からの口コミ紹介や職場からの紹介など、連携団体以外からの紹介支援も受けることができた。2018 年 7 月豪雨災害時では、災害支援として断水した世帯向けに休憩場所や赤ちゃんのお風呂、洗濯など場所の提供。NHK などのマスコミ各社で支援をしている場所の文字放送で紹介された。

支援物資の受け入れ先としても SNS、口コミで広報し、全国から支援物資（タオル・下着・衣類・日用品など）を受け入れた。

■ 4) 企業における産前・産後サポート事業の活用

<日 時>2018 年 4 月～2019 年 3 月

企業訪問：2018 年 7 月 15 日、10 月 18 日、11 月 1 日、2 日、9 日

セミナー開催日：2018 年 2 月 1 日、28 日

<実施回数>企業訪問 5 回

<実施場所>各企業へ訪問し実施した

<対象者・数>ANA クラウンプラザホテル広島労働組合（ 名）、広島交通（2 名）、森信建設株式会社（1 名）、八千代病院メリーホスピタル（2 名）、近畿日本ツーリスト中四国（2 名）

<スタッフ構成>産後サポート事務局 香川・横山

<連携団体名及び役割>広島経済同友会：同友会の少子高齢委員会所属の企業紹介

<運 営>産後ママの憩いの場ばあばのおうち 香川・横山

<内 容>①産後サポートの必要性の理解促進と、男性社員の子育て参画をめざして企業向け研修を実施する。そのほか切れ目のない支援ができるよう企業の担当者とともに子育て中の社員さんの困りごとを解決できるよう情報やサービスを提供する。このような取り組みをする企業を PR し、波及効果をめざす。

②研修の実施、企業内に支援の窓口を設置、産後サポートの利用促進など、企業が具体的に取り組めるよう「企業版ネウボラ」を提案し活用していただく。

■ 5) おやこ食堂の開催 【家庭訪問支援を行うための人材を育成する】

<日 時>2 か月に 1 回開催 2018 年 5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月

<場 所>産後ママの憩いの場ばあばのおうち（広島市中区幟町 10-12 幟ハイツ 403）

<参 加 者>26 組（大人 26 人、子ども 37 人）

<運 営>産後サポート 香川・横山 調理リーダー：管理栄養士 三宅

<内 容>育休明け後、働く親と子どもの食事時間の確保、楽しい夕食時間を持つため実施調理リーダー、産後サポーターさんが中心となり、働く親と子どもの夕食を提供し、親はおしゃべりしながら日頃の困りごとを解消する。子どもは異年齢でのスペシャルな時間を過ごす。実施期間中、産後サポートの利用終了された地域のママさんがボ

ランティアで絵本タイムのお楽しみ時間の開催。管理栄養士さんによる使用食材を使った調理方法の紹介、レシピ表の提供の結果、自宅でもやってみようという声を多くいただけた。

■6) 報告書の作成と成果報告書の開催

<日 時>2019年2月28日

<場 所>広島市総合福祉センター

<参加者>連携団体委員：7名 企業人事・子育て支援者：15名

<運営>産後サポート事務局 香川・横山・幸徳・訪問支援事業ボランティア2名

<内容>平成30年度の産後支援事業の報告書作成と成果報告を行い、広く本事業を周知する機会とする。報告書の作成と成果報告会

■7) 連携団体会議の開催

<日 時>2018年7月12日、11月21日、2月28日

<場 所>広島県民文化センター/広島市総合福祉センター

<参加者>連携団体委員：10名

<運営>産後サポート事務局 香川・横山

<内容>本事業の経済的自立と継続をめざし、関係団体が連携しサポートするために会議を開催する。

連携団体を増やし、個々の活動の周知と関係団体と連携することで支援の届きにくい世帯（働いており行政機関支援が利用できないなど）への情報提供、経済的な自立に向けた事業運営のアドバイスをいただく

連携団体名：広島経済同友会少子高齢化対策委員会、公益財団法人広島男女共同参画財団、広島大学大学院教育学研究科、広島県産婦人科医会、広島県小児科医会、広島市立舟入病院小児心療科、広島県助産師会、一般社団法人孫育て検定協会、一般社団法人パパフレンド協会、広島市社会福祉協議会

③事業総括

【成 果】

1) 訪問事業のための研修会（第1回ホームビジター養成講座）

専門性もある人材が集まって下さり、講座で感じられる満足度が高かった。

2) 産後サポート訪問事業（ホームスタートひろしま）

7月豪雨災害や猛暑もあり、予想をはるかに超える利用があった

3) 産後サポートばあばのおうち利用

育休中の方も多く、就業や再就職につながる件数が増えた。前年度より利用数が増えた。

4) 企業における産前・産後サポート事業の活用

連携団体委員・広島経済同友会様のご協力もあり、書類郵送や企業訪問以上に、大きな会場で現状や事業提案をできる機会をいただけた。

5) おやこ食堂の実施

集団で食事をしにくいアレルギーのあるお子さんに合わせたメニュー作りなど、普段集団で同

じものが食べられない世帯の利用もあった。子どもがよく食べたレシピから調理のコツなど
その場で質問解決する場の提供ができた

6) 報告書の作成と成果報告会の開催

7) 連携団体会議の開催

新たに会議に参加して下さる委員を増やすができた

【課 題】

1) 訪問事業のための研修会（第1回ホームビジター養成講座）

定員24名のうち、11名の受講と少なく、チラシ以上の事業説明が必要だった。

2) 産後サポート訪問事業（ホームスタートひろしま）

実働できるボランティアの数が元々少ない上、ニーズ調整も3者の調整が必要なので、時間の
余裕が必要であった。

3) 産後サポートばあばのおうち利用

7月まで利用がなかったことで、当事者の確保に苦慮した。SNSの活用も利用が入り始めて一
定の効果が出ていたが、リアリティな投稿が、一番行動につながったと実感した。

4) 企業における産前・産後サポート事業の活用

郵送した案内はほとんど開かれていなかったようで、送付先や方法に課題があった

5) おやこ食堂の実施

夜間の実施のため、近隣で活動できるボランティアが少なく作業負担が多かった。近隣で働いて
いる人に提案すると小さい子を連れて夜間の外出に抵抗があったり、知らないところに出向く
よりも身内や知り合いと過ごすことを優先されていた。

6) 報告書の作成と成果報告会の開催

報告書の内容について、3年間の成果が表現されて行政側にも理解される内容にしていくべき
だったのか自己評価と他者評価の温度差が感じられた。

7) 連携団体会議の開催

頂いたアドバイスを実施できたのか、7月の実施報告書と同じ内容を2月開催会議でも委員の
先生方が言っておられた。

7. その他目的を達成するために必要な事業

(1) NPO法施行&ひろしまNPOセンター設立20周年行事「Hiroshima Future Party 2018」

①事業概要

事業種別	新規
事業名	NPO法施行&ひろしまNPOセンター設立20周年行事「Hiroshima Future Party 2018」
担当責任者	松村渉
担当スタッフ	Hiroshima Future Party 2018 実行委員会 ひろしまNPOセンター役員・スタッフ
契約先	
事業期間	平成30年10月～平成31年3月
収益形態	自主事業
収益金額	
目的・概要	NPO法制定から20年（ひろしまNPOセンターもついでに20年）、平成最後の節目のいま。社会のこと、広島のこと、NPOのこと、夢のことをみんなで語りあう1日。広島のバージョン2.0（次の時代）に向けて、こんなことを共に考えたい、取り組んでいきたい。「Hiroshima Future Party 2018」（HPF）に向けてはじめる、HPFからはじめる。

②実施内容

■開催概要

- 【日時】2018年12月8日（土）10:00～17:00
- 【会場】紙屋町シャレオ中央広場
- 【参加者】230名
- 【内容】
 - 開会セレモニー「20年おめでとう」
 - シンポジウム「NPOの20年をふりかえる」
 - なんでもPR
 - ワークショップ「広島2.0への作戦会議」
 - 閉会セレモニー

(2) 平成 30 年 7 月豪雨災害支援

①事業概要

事業種別	新規
事業名	平成 30 年 7 月豪雨災害支援
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	ひろしま NPO センター役員・スタッフ
契約先	
事業期間	平成 30 年 7 月～平成 31 年 3 月
収益形態	自主事業
収益金額	
目的・概要	平成 30 年 7 月豪雨災害による被災からの復旧・復興を目的として、行政、社会福祉協議会、NPO/NGO、企業、地元住民等、県内外の関係機関と連携・協働しながら、災害ボランティアセンターや避難所の運営支援、被災者の生活再建、コミュニティの再生、支援団体の活動支援等を行う。

②実施内容

■広島市災害ボランティア活動連絡調整会議

- 広島市災害ボランティア本部の運営（本部の立ち上げ・環境整備、副本部長（松原 裕樹）の就任、各区災害ボランティアセンター支援（人材派遣調整ほか）、マスコミ対応、構成団体・関係機関の活動調整ほか）

■各市町災害ボランティアセンター・避難所等の支援

- 広島県社会福祉協議会や広島県地域福祉課等の関係機関との連携
- 坂町たすけあいセンターの立ち上げ・運営支援（職員 1 名／約 2 カ月間）

■子育て支援

- 各地域の子育て支援へのボランティアスタッフの派遣や物資支援
- 「産後ママの憩いの場～ばあばのおうち」（広島市中区）での入浴・休憩サービスの提供
- 子育てオープンスペースの無料利用、預かりの無料利用と交通費の支給
- 被災地支援のためのホームビジター養成講座の開催

■ろうきん NPO 寄付システム

- 災害支援団体への緊急寄付配分（県内 1 団体／5 万円）
- 「公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしま」との連携
- 平成 30 年 7 月豪雨災害支援基金の立ち上げ、支援金の募集（第 1 次募集：2018 年 7 月 9 日～8 月 31 日、第 2 次募集：2018 年 9 月 4 日～12 月 31 日、寄付総額：3,320,796 円／3 月 31 日時点）
- 第一弾の緊急助成（2018 年 9 月、県内 5 団体に助成：計 50 万円）

■平成 30 年 7 月豪雨災害支援ひろしまネットワーク会議

- 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）との連携

- 情報共有会議の開催（第 20 回まで、延べ 405 団体・497 名）
- 支援団体や関係機関の連携促進・活動調整・支援ニーズとのマッチング

■その他

- 県内 NPO 団体の安否確認、災害支援関連情報の収集・発信
- 日本 NPO センターおよび全国の NPO センターとの連携（応援スタッフ派遣の受入）
- 岡山県・愛媛県の関係団体との連携（支援活動、支援金募集）
- 活動団体の支援を行う関係機関（JVOAD、JPF、全国社会福祉協議会、中央共同 募金会、日本財団ほか）との連携
- 公益法人協会を通じた助成金配分（計 608,000 円／2 団体）
- NPO・企業・市民と連携した物資支援（幼児服、女性用衣類、食品ほか）
- 広島市出身 J リーガーの支援活動のサポート（クラウドファンディングによる寄付募集：計 4,622,061 円、広島市内 16 団体に助成予定：計 320 万円）
- 復旧・復興活動のための支援金募集（Yahoo!基金、広島県生活協同組合連合会ほか：計 19,798,540 円）
- ジャパン・プラットフォーム（JPF）および全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）との協働事業「西日本豪雨被災者に対する支援調整と 3 県領域災害 ネットワーク構築・強化」の締結。
- Yahoo!JAPAN ネット募金による寄付金募集（計 560,442 円、寄付者：2,322 名／ 3 月 12 日時点）
- ひろしま復興支援基金の立ち上げと助成金配分（約 15,000,000 円を助成金配分予定）

(3) 中央共同募金会 支援P助成金

①事業概要

事業種別	新規
事業名	中央共同募金会 支援P助成金
担当責任者	増田勇希
担当スタッフ	増田勇希
契約先	中央共同募金会
事業期間	平成30年7月9日～平成31年2月15日
収益形態	寄付金
収益金額	1,000,000円
目的・概要	西日本豪雨において甚大な被害を被った坂町において、坂町社会福祉協議会が設置した災害ボランティアセンターの運営支援、災害ボランティアセンターから通常ボランティアセンター移行後の運営に関する支援、自治会等支援を通し被災地域のいち早い復旧・復興に寄与することを目的として事業を実施した。

②実施内容

■坂町災害ボランティアセンター運営支援、坂町ボランティアセンター運営支援、自治会支援

【日時】平成30年7月8日（日）～平成31年3月31日（日）

【場所】坂町

【内容】○災害VCの運営方針ならびに運営方法に関する助言・支援

○各種外部支援団体のコーディネート

○被災自治会等支援

○その他、復旧・復興に必要な業務全般

③事業総括

災害発生後の被災地において様々な混乱が発生する中、広島県社会福祉協議会、支援P、また、全国の災害復旧支援者と情報共有を行い、7月8日（日）より現地調査、坂町役場、坂町社協と協議の上、支援を開始した。

これまでの被災地での経験から、今後に起こりえる事態を想定した方針作成とともに、全国から支援に訪れる外部支援団体との調整等、災害VC運営に必要な支援を実施した。

現在も被災地の復旧・復興は継続しており、実施した内容の評価には至らないものの、復旧・復興に一定の役割は果たしたと考える。

(4) 委員・講師等の派遣

■安藤周治

特定非営利活動法人ひろしまね 理事長
作木観光協会副会長 理事
三次広域商工会 理事
一般社団法人 みよし観光まちづくり機構 理事
公益財団法人マツダ財団 評議委員
公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしま 評議員
広島県河川整備基本方針等検討委員会 委員
ひろしま国際交流サミット 幹事
さとやま未来円卓会議 委員
山口県 中山間地域コーディネーター&アドバイザー
ローカルマニフィスト中国運営委員 副会長
北海道むかわ町大使
総務省地域力創造アドバイザー
総務省 過疎地域等自立活性化交付金事業 評価委員
国土交通省 水源地域支援ネットワーク運営会議 座長
国土交通省 水の里の旅コンテスト 審査委員長
コミュニティ政策学会 理事
内閣府地域活性化伝道師
総務省集落ネットワーク圏形成事業 評価委員
国土交通省新たな担い手等による水源地域在り方検討会 委員
公益社団法人青少年育成広島県民会議 青少年育成指導者

■中村隆行

広島市男女共同参画推進センターゆいぽーと評価委員
広島市ボランティア情報センター 運営委員
呉市市民協働推進委員会 委員
江田島市まちづくり助成金審査委員会 委員
JICA 草の根事業外部審査委員
自治労 自治研究センター 理事
三原市空き家対策審議会 委員
三原市文化芸術未来検討委員会 委員
日本ファンドレイズ協会中国チャプター 共同代表
公益財団法人広島県男女共同参画財団 評議員
第37階全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会 委員
広島県共同募金会社会課題解決プロジェクト広域テーマ募金検討委員会 委員
広島県社会福祉協議会 評議員

広島市社会福祉協議会 評議員
広島県障がい（児）者と手をつなぐ県民会議 副会長
中国地域コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス協議会 幹事
岡山県 NPO ボランティア支援センター（ゆうあい）評価委員
中国地域中間支援組織協議会 会長
内閣府地域活性化伝道師

■三好久美子

公益財団法人ひろしまこども夢財団 理事長
広島県国土利用計画審議会 委員
広島県環境審議会 委員

■児玉宏

広島県プラチナ世代支援協議会 役員
広島市共同労働審査委員会 委員

■山本祐二

広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会 委員
広島県社会福祉協議会地域福祉部会常任委員会 委員
広島県医療費適正化計画検討委員会 委員

■松原裕樹

広島市災害ボランティア活動連絡調整会議 副議長
広島市市阿外ボランティア本部 副本部長
広島市「協同労働」プラットフォーム事業連絡会議 構成員
三原市市民協働推進委員会 委員
イオンチアーズクラブサミット中四国大会 審査員
広島県社会福祉協議会ボランティア活動・福祉教育推進委員会 委員
全国自然体験活動指導者集会 2018（全国キャラバン）自然体験活動フォーラム in 江田島実行委員
第4回全国ユース環境活動発表大会 地区審査会 委員
広島県環境保全アドバイザー
ひろしま里山チーム500
内閣府地域活性化伝道師
広島県生活協同組合連合会 2018 年度初級職員研修会 講師
広島青年会議所「Peace To The Future」 講師
ユニシス研究会セミナー 講師
プラチナ大学（呉校・三原校） 講師
広島県立三次高等学校 「地域課題探究活動」 講師

三次青年会議所 2 月定例会事業「SDGs 推進セミナー」 講師
広島市 SDGs 職員研修 講師
企業等社会貢献活動研究会協働セミナー 講師
SDGs ミーティング～2030 大学生と考える未来～ 講師
高校生のための ESD ユースワークショップ 講師
地球共育塾ひろしま 3 月例会（公開ワークショップ） 講師

■増田勇希

広島県社会福祉協議会 広島県被災者生活サポートボラネット推進会議委員
広島県社会福祉協議会 災害ボランティアセンター運営者研修講師
佐賀県社会福祉協議会 災害ボランティアセンター運営者研修講師
三原市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター振返り会講師
JICA 青年海外協力隊相談役

■香川恭子

広島大学教育学部「子育て支援について」 講師
広島県子育て支援員研修 講師

■松村涉

広島市「協同労働」プラットフォーム事業 第二回 講師
まちづくり市民交流プラザ「市民活動団体運営支援講座 第 1 回」 講師
まちづくり市民交流プラザ「市民活動団体パワーアップ講座」 講師

2019年度 事業報告書



2019 年度事業報告及び決算報告

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

I 報告概要

1. 重点事業

(1) 平成 30 年 7 月豪雨災害復興支援活動

①支援した団体・プロジェクト

128 団体・件

②資金的支援の総額

18,720,000 円

③平成 30 年 7 月豪雨災害支援ひろしまネットワーク会議の開催

開催回数 11 回

参加者数 161 名

④主な連携先・協働パートナー

広島県、広島市、坂町、安浦町

社会福祉法人広島県社会福祉協議会

広島県地域支え合いセンター

社会福祉法人広島市社会福祉協議会

広島県生活協同組合連合会

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)

公益財団法人日本フィランソロピー協会

Yahoo! 基金、Yahoo! ネット募金

ボラ写 PROJECT ほか

(2) 組織基盤強化

一般財団法人非営利組織評価センターが提供する組織評価制度において、組織マネジメント力を評価する仕組みとして、信頼できる組織であることを評価するため、5つの評価対象領域（1. 組織の目的と事業の実施、2. ガバナンス、3. コンプライアンス、4. 情報公開、5. 事務局運営）について、団体の組織運営や事業運営の状況に関する書類審査等を行った結果、「ベーシック評価（旧：基礎評価）」を受けることができました。

ヒロシマエヌピーオーセンター 特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター	
評価を受けた年度	2019
団体所在地	広島県
活動分野	NPO支援
団体ホームページ	http://www.npoc.or.jp
評価日	2019年08月05日
評価更新日	2019年08月05日



(3) 新ビジョン・中長期計画づくり

ひろしまNPOセンターの新ビジョン・中長期計画の策定のため、事務局スタッフによる年間を通じた計画づくりのミーティング（計8回）を実施すると共に理事会にて協議し、新ビジョン・中長期計画（骨子案）を作成した。

また、本計画は2020～2029年度を対象とし、2020年度を通して会員や関係団体等と意見交換しながら詳細を決定する予定。

<新ビジョン・中長期計画づくりの考え方>

- 単年度（1年：2020年度）、中期（3年：2020～2022年度）、長期（2020～2029年度）を計画期間とし、各段階での目標を設定する。また、SDGs（2016～2030年度）の達成と合わせて計画を紐付ける。
- ビジョンは、次世代にバトンを渡す時期として、2030～2040年度を想定した「目指す社会の姿」と位置づける。
- 骨子案の「目指す社会（ビジョン）」「私たちの役割（ミッション）」「行動指針」「目標の詳細」等について、ひろしまNPOセンターのスタッフや役員、会員、関係団体と協議し、社会状況やニーズ、ひろしまNPOセンターに期待される役割等をふまえて策定する。

2. 会員等への支援提供・協働事業

2019 年度の下記事業において、会員の団体等への支援提供や事業の共同実施を行った。

NO	事業名	事業内容
1	イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	認定 NPO 法人イーパーツと連携した、企業リユース PC の NPO への寄贈仲介。
2	什器備品等の寄贈プログラム	県内企業等から寄贈された什器備品等の NPO への寄贈仲介。
3	NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業	広島市と連携した幟会館の共同事務所の運営や NPO のインキュベーション支援。
4	サテライトキャンパスひろしま	教育ネットワーク中国と連携したサテライトキャンパスひろしまの運営や会議室を活用した交流支援。
5	平成 31 年度広島県環境学習指導者専門研修業務	広島県環境政策課と連携した環境学習人材の育成研修の企画運営。
6	ひろしま未来交流会	立場・分野・地域・世代をこえて広島を語り合う交流会の企画運営。
7	親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務	広島県教育委員会と連携した幼稚園・保育所・認定こども園等における親子向けの体験活動プログラムの企画・普及啓発。
8	委員・講師等の派遣	各主体から依頼のある委員会・協議会・セミナー等への委員・講師派遣。
9	協力・後援・連携事業の推進	各主体から依頼のある会議・行事等への参加や開催協力。
10	平成 30 年 7 月豪雨災害支援活動	行政・社協・NPO 等と連携した西日本豪雨災害の復旧・復興のための活動支援や関係機関との協働事業の展開。

II 組織運営

1. 組織体制

(1) 会 員

正 会 員：109（個人：105名、企業：4社）

協力会員：46名（個人：43名、企業：3社）

(2) 事務局

【職員数】

33名（常勤16名、非常勤17名）

【事務局運営スタッフ】

NO	氏 名	勤務形態	役 職	役 割
1	松原 裕樹	常勤	専務理事、事務局長	事務局統括、業務運営責任者
2	山本 祐二	常勤	常務理事	総務・経理、業務運営責任者
3	増田 勇希	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
4	香川 恭子	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
5	松村 涉	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者

【業務運営スタッフ】

NO	事業名	事業所	スタッフ数
1	平成31年度中国環境パートナーシップオフィス（EPOちゅうごく）管理運営等業務	広島市	常勤：3名
2	開発教育支援事業	東広島市	非常勤1名
3	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業（中区、南区、安佐南区）	広島市	常勤7名、非常勤15名
4	平成30年7月豪雨災害支援活動	広島市	常勤1名、非常勤1名

(3) 役 員

役 職	氏 名	所 属	区 分
代表理事	安藤 周治	特定非営利活動法人ひろしまね 理事長	県北部
	中村 隆行	広島経済大学 スポーツ経営学科 准教授、興動館プロジェクトセンター長	NPO
副代表理事	三好 久美子	公益財団法人ひろしまこども夢財団 理事長	県東部

	山本 一隆	中国新聞社会事業団 理事長	県西部
専務理事	松原 裕樹	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 事務局長	NPO
常務理事	山本 祐二	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
理事	五百竹 宏明	北陸大学経済経営学部 教授	学識経験者
	金谷 信子	広島市立大学国際学部 教授	学識経験者
	川口 隆司	認定特定非営利活動法人法人コミュニティリーダーひゅーるぼん 理事長	NPO
	児玉 宏	特定非営利活動法人コーチズ 代表理事	NPO
	西本 尚士	広島商工会議所 総務部長	経済団体
	茶山 ちえ子	特定非営利活動法人 WAC 広島ふれあいセンター 理事長	NPO
監事	増田 勇希	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
	村田 民雄	特定非営利活動法人 e&g 研究所 理事長	NPO
監事	久笠 信雄	弁護士	
	赤羽 克秀	公認会計士・税理士	

2. 通常総会の開催

(1) 第 21 回通常総会

日 時	令和元年 6 月 9 日 (日) 10:30~13:00
場 所	ひろしま NPO センター大学連携室 (広島市中区大手町 1-5-3 広島県民文化センター6F)
出席者	正会員 132 名中 77 名出席 (出席: 15 名、委任状: 62 名)
議 題	1) 2018 年度事業報告及び決算報告 (案) 2) 2019 年度事業計画及び活動予算 (案)
備 考	総会終了後に交流会

3. 理事会の開催

(1) 第 1 回理事会

日 時	令和元年 5 月 30 日 (木) 16:00~17:30
場 所	ひろしま NPO センター

	(広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2F 会議室)
出席者	9名、ほか監事1名
議題	1) 2018年度事業報告及び決算報告(案) 2) 2019年度事業計画及び活動予算(案)

(2) 第2回理事会

日時	令和元年11月1日(金) 16:00~17:30
場所	ひろしまNPOセンター (広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2F 会議室)
出席者	8名(内書面評決1名)
議題	1) 2019年度(令和元年度)半期の事業報告及び決算 2) 平成30年7月豪雨災害支援活動報告 3) ひろしまNPOセンター新ビジョン・計画づくり 4) 休眠預金等活用事業 5) 広島県民文化センター「サテライトキャンパス」事業 6) 事務局体制

(3) 第3回理事会

日時	令和2年3月24日(火) 16:00~17:30
場所	ひろしまNPOセンター (広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2F 会議室)
出席者	8名
議題	1) 2019年度(令和元年度)事業報告及び決算予測 2) 2020年度(令和2年度)事業及び活動予算(案) 3) ひろしまNPOセンター新ビジョン・計画づくり 4) 新型コロナウイルス感染症対応

III 事業運営

1. 事業概要

区分	事業名	事業内容	事業期間	実施場所	収益形態
(1) 情報収集提供事業					
継続	情報収集・発信	NPO 支援に関するイベント・助成金・施策等の情報収集や、ホームページ・Facebook・ニュースレター等を通じた発信。	年間	全国	自主財
継続	データベース構築・活用	各地の団体・取組・課題等の情報の記録・整理や、事業推進のためのデータ活用。	年間	全国	自主財
(2) 各種団体の運営支援事業					
①資金循環システムの構築					
継続	市民ファンドとの連携	公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまと連携した NPO の資金調達支援。	年間	県内	自主財
継続	ひろしま NPO サポート倶楽部	ゆうちょ銀行の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
継続	ろうきん NPO 寄付システム	中国労働金庫の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
②組織基盤強化					
継続	イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	認定 NPO 法人イーパーツと連携した、企業リユース PC の NPO への寄贈仲介。	年間	県内	自主財
継続	NPO 事務局センター・NPO 事務支援カンファレンス	全国の NPO 支援センターと連携した、NPO の事務・経営支援。	年間	全国	自主財・利用料
継続	什器備品等の寄贈プログラム	県内企業等から寄贈された什器備品等の NPO への寄贈仲介。	年間	全国	自主財
③人材育成・ノウハウの提供					
継続	課題解決型長期インターンシップ	有限会社 S-Produce.と連携した、大学生の長期インターンシップや企業・社会人との交流機会の創出。	年間	県内	自主財
継続	ソーシャルビジネス支援ネットワークひろしま	日本政策金融公庫・広島銀行と連携したソーシャルビジネス推進のため	年間	県内	自主財

		の相談対応・セミナー等の実施。			
継続	地域課題解決ネットワーク	広島市・経済団体等と連携した、UIJ ターン・創業・事業継承の支援。	年間	県内	自主財
新規	廿日市市市民活動相談業務	廿日市市市民活動センターの相談窓 口業務の支援。	年間	廿日市市	受託料
継続	「福山市まちづくりサポートセン ター」ボランティア・NPO 等相談 業務	福山市まちづくりサポートセンター の相談窓口業務の支援。	年間	福山市	受託料
④拠点提供					
継続	NPO・市民活動団体向けの活動拠 点を提供する共同事務所事業	広島市と連携した職会館の共同事務 所の運営や NPO のインキュベーシ ョン支援。	年間	広島市	自主財・ 利用料
継続	サテライトキャンパスひろしま	教育ネットワーク中国と連携したサ テライトキャンパスひろしまの運営 や会議室を活用した交流支援。	年間	広島市	自主財
(3) 調査・研究・政策提言事業					
継続	中国 5 県中間支援組織連絡協議会	中国 5 県の NPO 支援センターと連 携した情報・ノウハウ・人材交流や、 中国 5 県の共通課題を解決するた めの協働取組の展開。	年間	中国地方	自主財
(4) 啓発・研修事業					
継続	開発教育支援事業	JICA 中国と連携した国際協力の担 い手育成のためのプログラム企画や 施設展示、広報等。	年間	中国地方	受託料
継続	Green Gift 地球元気プログラム 2018-2019	東京海上日動火災保険株式会社・日 本 NPO センター等と連携した、親 子向けの環境保全活動の伴走支援。	年間	中国地方	受託料
継続	ざぶん賞中国ブロック実行委員会	一般財団法人ざぶん環境・文化プロ ジェクトと連携した、水をテーマに した子どもの全国作文コンクールの 中国地方事務局の運営。	年間	中国地方	受託料
継続	JICA 中国 NGO 連携事業 「UPDATE セミナーシリーズ」コ ーディネート業務	JICA 中国と連携した NGO・市民の 能力強化のためのセミナー等の企画 運営。	年間	中国地方	受託料
継続	2018 年 JICA 中国青年研修「ミヤ ンマー防災コース」	JICA 中国と連携したミャンマーの 青年行政官（防災分野）の訪日研修 の企画運営。	11 月	中国地方	受託料
新規	2018 年 JICA 四国青年研修「ラオ	JICA 中国と連携したラオスの青年	1～2 月	中国地方	受託料

	ス防災コース」	行政官（防災分野）の訪日研修の企画運営。			
継続	平成 31 年度中国環境パートナーシップオフィス(EPOちゅうごく)管理運営等業務	環境省との協働による、中国地方の環境パートナーシップ拠点・中国地方 ESD センターの運営や協働取組・ESD に関する事業の推進。	年間	中国地方	受託料
継続	平成 31 年度広島県環境学習指導者専門研修業務	広島県環境政策課と連携した環境学習人材の育成研修の企画運営。	4～12月	県内	受託料
継続	山の日実行委員会事務局	広島県・市町・環境団体等と連携した県民参加の森づくり運動の実行委員会事務局。	年間	県内	受託料
(5) ネットワーク・連携推進事業					
継続	相談対応業務	NPO・ボランティア・市民活動に関する各種相談の対応。	年間	全国	自主財
継続	たちまち全員集合実行委員会	広島県県民活動課・NPO・企業等による協働促進のためのイベントの企画・運営やひろしま県民活動表彰の運営支援。	年間	県内	自主財・負担金
継続	中国 NGO ネットワーク	中国地方の NGO の活動発展や連携促進のための事業やネットワーク事務局の運営。	年間	中国地方	自主財
継続	広島 NGO ネットワーク	広島県の NGO の活動発展や連携促進のための事業やネットワーク事務局の運営。	年間	県内	自主財
継続	ひろしま未来交流会	立場・分野・地域・世代をこえて広島を語り合う交流会の企画運営。	年間	県内	自主財
継続	東日本大震災県外自主避難者等への情報支援事業	中国 5 県の NPO 支援センターやひろしま避難者の会アスチカと連携した避難者への支援活動。	年間	中国地方	自主財
(6) 子育て・子育て支援に関する事業					
継続	親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務	広島県教育委員会と連携した幼稚園・保育所・認定こども園等における親子向けの体験活動プログラムの企画・普及啓発。	7～2月	県内	受託料
継続	広島市公募型常設オープンスペース「つばさ（中区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（中区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財・補助金・利用料

継続	広島市公募型常設オープンスペース「ふらっと（安佐南区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（安佐南区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財・補助金・利用料
継続	広島市公募型常設オープンスペース「いいね（南区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（南区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財・補助金・利用料
(7) その他目的を達成するために必要な事業					
継続	委員・講師等の派遣	各主体から依頼のある委員会・協議会・セミナー等への委員・講師派遣。	年間	全国	自主財・謝礼金
継続	協力・後援・連携事業の推進	各主体から依頼のある会議・行事等への参加や開催協力。	年間	全国	自主財ほか
新規	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業2019	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
新規	西日本豪雨被災者支援に対する支援調整と3県県域災害ネットワーク構築・強化業務	JVOAD等と連携した西日本豪雨災害の各地の復旧・復興活動の支援や関係機関との連携促進。	4～10月	広島県 岡山県 愛媛県	受託料
継続	平成30年7月豪雨災害支援活動	行政・社協・NPO等と連携した西日本豪雨災害の復旧・復興のための活動支援や関係機関との協働事業の展開。	年間	県内	自主財・寄付金
継続	ひろしま復興支援基金（生協連）	広島県生活協同組合連合会からの寄付金を活用した西日本豪雨災害の復旧・復興のための基金の設立や支援団体への助成金配分。	年間	県内	寄付金
継続	ひろしま復興支援基金（Yahoo!基金）	Yahoo!基金からの寄付金を活用した西日本豪雨災害の復旧・復興のための基金の設立や支援団体への助成金配分。	年間	全国	寄付金
継続	ひろしま復興支援基金（Yahoo!ネット募金）	Yahoo!ネット募金で集めた寄付金を活用した西日本豪雨災害の復旧・復興のための基金の設立や支援団体への助成金配分。	年間	全国	寄付金

2. 実施内容

(1) 情報収集提供事業

①情報収集・発信

NPO に係る活動や支援の状況、主体間ネットワークの形成に資する情報等を収集した。収集にあたっては、NPO・行政（国、県、市町村）・企業等の報道発表資料・関連刊行物・報告書、必要に応じてマスコミやインターネットの情報、メルマガ等を活用するとともに、関係団体・機関との情報交流を実施した。

また、ホームページを通して、広島県内で実施される各主体の行事、補助金・助成金情報等、NPO 活動に関わる団体等の基盤強化、連携強化に資する情報を発信すると共に、Facebook ページを活用して主催行事や協力事業、活動状況を中心に情報発信を展開した。



ホームページ (<http://npoc.or.jp/>) Facebook ページ (<https://www.facebook.com/hiroshima.npoc>)

■ニュースレターの発行

区分	発行時期	掲載内容
5月号	2019年5月	<ul style="list-style-type: none"> ○事務局長あいさつ <ul style="list-style-type: none"> * 広島まだまだがんばってるけえ * 広島と NPO の未来に向けた新たなビジョン ○ひろしま復興支援基金のご報告 ○子育て部門のご紹介 ○2019年度総会のご案内
8月号	2019年8月	<ul style="list-style-type: none"> ○事務局長あいさつ <ul style="list-style-type: none"> * 平成30年7月豪雨災害のいま * 新ビジョン・中長期計画づくり ○組織基盤を強化しよう ○子育て部門のご紹介

		○セミナーのご案内
11月号	2019年11月	○事務局長あいさつ * 全国の被災状況 * ボランティア不足に対して * 広島から全国への恩送り ○災害復興活動のご報告 ○書籍のご紹介 ○安全点検のご案内
1月号	2020年1月	○事務局長あいさつ * 民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律 * 休眠預金等に係る資金の活用に関する見解とこれまでの経緯 * 今後に向けてみなさんと目指したいこと ○いよいよ始まる休眠預金 ○雇用関係の「助成金」を活用してみませんか ○阪神淡路大震災発生から25年

(2) 各種団体の運営支援事業

≪資金循環システムの構築≫

①ひろしま NPO サポート倶楽部

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	ひろしま NPO サポート倶楽部
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	ひろしま NPO サポート倶楽部
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	寄付金
収益金額	650,000円
目的・内容	ひろしま NPO サポート倶楽部は、広島県内の NPO 法人の活動資金援助を広く県民の皆様へに支援していただく制度で、倶楽部への会員登録をしてくださった方の郵便貯金口座から、毎年6月及び12月（各会員が希望された月）に、一口500円の会費引落しを行い、集まった会費（寄付金）を NPO 法人に分配する仕組み。

2) 実施内容

■応募期間

令和2年1月～2月

■選考審査会

【日 時】令和2年3月3日(月) 14:00～15:30

【場 所】幟会館 2階 A会議室(広島市中区八丁堀 3-1)

【審査委員】善積昭之(中国労働金庫広島県営業本部本部長)、三好久美子(ひろしまこども夢財団理事長)、金谷信子(広島市立大学教授)、山本恵由美(NPO法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 理事長)、安藤周治(ひろしま NPO センター代表理事)、中村隆行(ひろしま NPO センター代表理事)

■助成金授与式

※2019年度「ひろしま NPO サポート倶楽部」の寄付金配分式は、ひろしま NPO センターの「新型コロナウイルス等の感染症に関する方針」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催中止。

■助成団体

【応募件数】10 団体/7 団体を採択

【助成総額】650,000 円

団体名	所在地	助成額
NPO 法人さとうみ振興会	廿日市市上平良	100,000 円
NPO 法人健康サロン	広島市佐伯区	100,000 円
NPO 法人ひろしまレリクエーション協会	広島市中区	50,000 円
NPO 法人ひろしまピンクリボンプロジェクト	広島市中区	50,000 円
NPO 法人西中国山地自然史研究会	山県郡北広島町	150,000 円
NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぼん	広島市安佐南区	150,000 円
NPO 法人ひろしま自然学校	山県郡北広島町	50,000 円

3) 事業総括

【成 果】

- 課題解決プロジェクトの実践に向けた機運の醸成
- 他分野の活動団体との交流

【課 題】

- 新たな取り組みの企画・運営
- 持続可能な組織基盤強化

②中国ろうきん NPO 寄付システム

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	中国ろうきん NPO 寄付システム

担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	中国労働金庫
事業期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
収益形態	寄付金
収益金額	350,000 円
目的・内容	「私たちの地域を私たちでつくる～100 円からできるボランティア～」を合言葉に、中国労働金庫の普通口座契約者からいただいた寄付金を、中国各県で活動する NPO に寄付配分し、団体の社会貢献活動を促進していこうという「地域循環型寄付システム」。

2) 実施内容

■応募期間

令和 2 年 1 月～2 月

■選考審査会

【日 時】 令和 2 年 3 月 3 日 (月) 14:00～15:30

【場 所】 幟会館 2 階 A 会議室 (広島市中区八丁堀 3-1)

【審査委員】 善積昭之 (中国労働金庫広島県営業本部本部長)、三好久美子 (ひろしまこども夢財団理事長)、金谷信子 (広島市立大学教授)、山本恵由美 (NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 理事長)、安藤周治 (ひろしま NPO センター代表理事)、中村 隆行 (ひろしま NPO センター代表理事)

■助成金授与式

※2019 年度「中国ろうきん NPO 寄付システム」寄付金配分式は、ひろしま NPO センターの「新型コロナウイルス等の感染症に関する方針」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催中止。

■助成団体

【応募件数】 19 団体 / 7 団体を採択

【助成総額】 350,000 円

分 野	団体名	所在地	助成額
保健・医療・福祉	NPO 法人心の絆ネットワーク	広島市中区	50,000 円
まちづくり	NPO 法人風の家	広島市中区	50,000 円
学術, 文化, 芸術, スポーツ	NPO 法人ひろしまインターネット美術館	広島市西区	50,000 円
学術, 文化, 芸術, スポーツ	NPO 法人きりり倶楽部	三次市三次町	50,000 円
環境保全	NPO 森のおさるさん	三原市本郷町	50,000 円
子どもの健全育成	NPO 法人体にやさしい食の会	広島市中区	50,000 円
子どもの健全育成	NPO 法人三次おやこ劇場	尾道市向島町	50,000 円

3) 事業総括

【成 果】

- 持続可能な組織基盤強化に向けた機運の醸成
- 他分野の活動団体との交流

【課 題】

- 新たな取り組みの企画・運営
- 持続可能な自主事業の確立

《組織基盤強化》

③イーパーツリユース PC 寄贈プログラム

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	イーパーツリユース PC 寄贈プログラム
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	認定特定非営利活動法人イーパーツ
事業期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	－
目的・内容	企業からのリユース PC を非営利団体・ボランティア団体・高齢者グループなどの市民活動団体 や NPO へと無償で寄贈し、その情報化を支援する。

2) 実施内容

■寄贈式の開催

【日 時】令和 2 年 2 月 8 日（土）13:00～16:00

【場 所】ひろしま NPO センター大学連携室 県民文化センター 6F（広島市中区）

【参加者】5 団体

【運 営】認定特定非営利活動法人イーパーツ、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、ひろしま市民活動ネットワーク HEART to HEART

【内 容】<第 1 部>

○ルーレットトーク

<第 2 部>

○寄贈 PC に関するオリエンテーション

○パソコン寄贈

■寄贈団体

NO	団体名
1	基町地区社会福祉協議会
2	NPO 法人とりで
3	NPO 法人 nico;loop (ニコループ)
4	NPO 法人ひろしま点灯虫の会
5	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会

3) 事業総括

【成 果】

- 持続可能な組織基盤強化に向けた機運の醸成
- 他分野の活動団体との交流

【課 題】

- 新たな取り組みの企画・運営
- 持続可能な自主事業の確立

《人材育成・ノウハウの提供》

④ 廿日市市市民活動相談業務

1) 事業概要

事業種別	新規
事業名	廿日市市市民活動相談業務
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	廿日市市
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	受託料
収益金額	2,207,018円
目的・内容	市民活動の相談窓口において、市民活動団体の運営に関することからNPO法人の設立・運営に関することに対して助言及び情報提供等を行う。

2) 実施内容

■相談対応

- 【日 時】 毎月第2・4木曜日
- 【場 所】 廿日市市市民活動センター 1階 相談コーナー
(廿日市市住吉 2-2-16)
- 【運 営】 専門相談員：山本祐二（特定非営利活動法人ひろしま NPO センター）
- 【内 容】 団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応

3) 事業総括

【成 果】

- 相談者の市民活動における知見の向上
- 各関係機関とのネットワーキング

【課 題】

- 協働推進に向けた課題解決
- 各団体の自立と組織基盤強化

⑤「福山市まちづくりサポートセンター」ボランティア・NPO 等相談業務

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	「福山市まちづくりサポートセンター」ボランティア・NPO 等相談業務
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	福山市
事業期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	306,962 円
目的・内容	市民活動に関するあらゆる疑問や悩みごとなど、まちづくりに取り組む課題解決をサポートする。

2) 実施内容

■相談対応

- 【日 時】 毎月第 3 木曜日
- 【場 所】 福山市まちづくりサポートセンター 「まちサポ」 オープンスペース
(福山市本町 1-35 福山市市民参画センター 2F)
- 【運 営】 専門相談員：山本祐二 (特定非営利活動法人ひろしま NPO センター)
- 【内 容】 団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応

3) 事業総括

【成 果】

- 相談者の市民活動における知見の向上
- 各関係機関とのネットワーキング

【課 題】

- 協働推進に向けた課題解決
- 各団体の自立と組織基盤強化

《拠点提供》

⑥NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	広島市
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	自主財源・利用料
収益金額	－
目的・内容	組織の立ち上げ期や新たな展開を始めようとしているNPO法人や市民活動団体等の非営利団体を対象として、活動拠点を提供する。

2) 実施内容

■2019年度入居団体

NO	団体名
1	ためまっぷプロジェクト（2019年8月末退居）
	中国留学生会（2020年2月入居）
2	特定非営利活動法人キャンサーサバイバー・キャリアサポート（2019年12月退居）
3	企業経営研究塾
4	ピアサポート子育て相談センター
5	広島脳力開発研究所（2019年6月退居）
6	one dream
7	特定非営利活動法人 I PRAY（2020年2月入居）

■レターボックス

NO	団体名
1	特定非営利活動法人障害者年金ヘルプデスク
2	特定非営利活動法人日本インクルーシブ教育研究所
3	一般社団法人百人邑

3) 事業総括

【成 果】

- 入居団体に対して実施事業の後援、後方支援及び経理事務に関する基本的なアドバイスや情報発信など運営コンサルティングを適時行った。

【課 題】

○入居団体募集の取組（現在4ブースの空室）

（3）啓発・研修事業

①開発教育支援事業

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	開発教育事業
担当責任者	増田勇希
担当スタッフ	増田勇希、濱長真紀（※産休のため年度途中で交代：林さやか）
契約先等	独立行政法人国際協力機構中国国際センター（JICA 中国）
事業期間	平成31年4月12日～令和2年3月31日
収益形態	受託料
収益金額	6,799,560円
目的・内容	本事業は、地域・市民の異文化理解、国際理解を高めるとともに、国際協力の担い手の育成を目的としている。おもに、JICA 中国を訪問する教育機関、市民団体向けの訪問プログラムの企画運営、高校生対象の夏季プログラム、管内展示等を業務として、業務従事者1名がJICA 中国内にデスクを構え業務を実施している。

2) 実施内容

■事業項目

- 施設訪問事業（訪問プログラムの企画運営、各種調整業務）
- 高校生プログラム事業（プログラム企画運営補助、各種調整業務）
- 館内展示事業
- 広報事業
- その他イベント補助等

■実施結果

- <年間施設訪問数>43件（小中高大学、社会人）
- <高校生プログラム参加数>22校44名
- <館内展示内容>4半期ごとに展示更新を実施
- <広報事業>教育機関向けパンフレットの作成

3) 事業総括

生徒・児童を対象とした異文化理解、国際理解の促進は、地域における将来のグローバル人材育成、多文化共生社会の実現には重要な要素であり、JICA 施設への訪問他、各種プログラムにおける

効果的な企画運営が求められる。従事者は、学校教員としての経験のほか、各種ワークショップの実績を十分に積んでいることから、JICA 中国、施設利用者（学校教員等）のニーズをとらえ、質の高いプログラムを提供している。

NPO センターとして、教育を通し異文化理解、国際理解を持った生徒・児童の育成に関われることは、今後さらに進むグローバル化と、すでに地域社会が直面している多文化共生等の課題に対し、課題解決への貢献となっている。

②Green Gift 地球元気プログラム 2018-2019

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	Green Gift 地球元気プログラム 2018-2019
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹、岩見暢浩、西村浩美、松田美紀
契約先等	特定非営利活動法人日本 NPO センター
事業期間	令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 9 月 30 日
収益形態	受託料
収益金額	6,00,000 円
目的・内容	東京海上日動火災保険株式会社の CSR 事業「Green Gift 地球元気プログラム」において、環境省（後援）・日本 NPO センター（全国事務局）・GEOC 及び地方 EPO 運営団体（地方事務局）の役割分担のもと、第 4 期（令和元年 10 月～令和 4 年 9 月）の実行団体（岡山県：ミズシマ・パークマネジメント、広島県：特例認定特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会）が実施する市民参加型の環境保護イベント等を伴走支援する。

2) 実施内容

■三者会議（広島県プログラム）

【日 時】 令和元年 12 月 6 日（金）9:00～10:30

【場 所】 三段峡ホテル（広島県山県郡安芸太田町大字柴木）

【参加者】 5 名（実施団体：2 名、東京海上：1 名、EPO：2 名）

【概 要】 東京海上日動火災保険株式会社広島支店・実施団体（特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会）・EPO による三者会議を開催し、お互いの自己紹介やプロジェクトに対する思いの共有、3 年間及び 2019-2020 年度の事業計画について検討を行った。

■事業計画を作成するためのワークショップ（広島県プログラム）

【日 時】 令和 2 年 1 月 18 日（金）10:00～16:00

【場 所】 EPO ちゅうごく（広島県広島市中区基町 11-10 合人社広島紙屋町ビル 5 階）

【参加者】 10 名（実施団体：3 名、関係者：5 名、EPO：2 名）

【概要】実施団体（特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会）によるワークショップ開催において、関係者の自己紹介やプロジェクトに対する思いの共有、3年間の事業計画、今年度のプログラム企画について協議検討を行った。

③2018年度 JICA 中国青年研修「ミャンマー防災コース」

1) 事業概要

事業種別	新規
事業名	2018年度 JICA 中国青年研修「ミャンマー防災コース」
担当責任者	増田勇希
担当スタッフ	増田勇希
契約先等	独立行政法人国際協力機構中国国際センター（JICA 中国）
事業期間	令和元年10月17日～令和2年1月31日
収益形態	受託料
収益金額	2,595,439円
目的・内容	本事業は、ミャンマーの青年行政官（防災分野）を対象として、2014年広島土砂災害、西日本豪雨をケーススタディとし、行政における防災施策、地域における防災力の向上について知見を得ることで、ミャンマーの当該分野の発展に寄与することを目的としている。事業は講義、視察、ワークショップで構成されており、NPOセンターが培った知見とネットワークを活用することで、多様な研修先、関係者を巻き込み、地域、市民の国際化へも貢献している。

2) 実施内容

【日程】令和元年11月10日（日）～11月23日（土）

【場所】広島県内

【研修先】広島県危機管理監、広島市危機管理室、坂町社会福祉協議会、日本技術士会中国本部、広島市消防局、広島大学、広島市防災士ネットワーク、江波山気象館、RCC等

【参加者】15名

【内容】ミャンマーはサイクロン、土砂災害、地震等、日本同様に災害リスクが高い国である一方、防災政策各種防災インフラ、防災啓発等は発展途上にある。そのような背景の中、2度の大規模災害に見舞われた広島では、県、市、地域等、それぞれのレベルでの防災対策、災害からの復旧・復興の経験を有しており、関係者とのディスカッションも含めた、より実践的な研修を構成するよう研修を設定した。研修員からは研修に対し一定の評価を受けるとともに、各研修先においても、災害の記録、経験を繋げることになり、今後の協力への前向きな発言等、双方にとって有意義な研修となった。

④ JICA 四国青年研修「ラオス防災コース」

1) 事業概要

事業種別	新規
事業名	JICA 四国青年研修「ラオス防災コース」
担当責任者	増田勇希
担当スタッフ	増田勇希
契約先等	独立行政法人国際協力機構中国国際センター（JICA 中国）
事業期間	令和2年1月8日～3月27日
収益形態	受託料
収益金額	3,046,679円
目的・内容	本事業は、ラオスの青年行政官（防災分野）を対象として、西日本豪雨（愛媛県）をケーススタディとし、行政における防災施策、地域における防災力の向上について知見を得ることで、ラオスの当該分野の発展に寄与することを目的としている。事業は講義、視察、ワークショップで構成されており、NPOセンターが培った知見とネットワークを活用することで、多様な研修先、関係者を巻き込み、地域、市民の国際化へも貢献している。

2) 実施内容

【日 程】令和2年1月20日（月）～2月7日（金）

【場 所】愛媛県内

【研 修 先】愛媛大学、愛媛県危機管理課、大洲市役所、大洲市平地区自治会、大洲市三善地区自治会鹿野川ダム、大洲地区広域消防本部、大洲市社会福祉協議会、松山地方気象台、南海放送、愛媛大学防災リーダークラブ、松山市高浜自治会、松山市防災センター 等

【参 加 者】12名

【内 容】ラオスはサイクロン、土砂災害、水害等、日本同様に災害リスクを抱える一方、防災政策各種防災インフラ、防災啓発等は発展途上にある。そのような背景の中、2018年に災害に見舞われた愛媛県では、県、市、地域等、それぞれのレベルでの防災対策、災害からの復旧・復興の経験を有しており、関係者とのディスカッションも含めた、より実践的な研修を構成するよう研修を設定した。

研修員からは研修に対し一定の評価を受けるとともに、各研修先においても、災害の記録、経験を繋げることになり、今後の協力への前向きな発言等、双方にとって有意義な研修となった。

⑤ 平成31年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務

1) 事業概要

事業種別	継続
------	----

事業名	平成 31 年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹、岩見暢浩、西村浩美、松田美紀
契約先等	環境省中国四国地方環境事務所
事業期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
収益形態	受託料
収益金額	31,526,113 円
目的・内容	本業務は、環境教育等促進法及び促進法基本方針における EPO ちゅうごく及び国内実施計画等を踏まえた中国地方 ESD センターとしての役割を明確にし、業務を円滑に遂行するため、中国地方の実情を踏まえた各種事業の企画及び実施をすることにより、様々な主体による協働・連携の取組を広げ、効果的かつ効率的に環境保全活動を活性化させること及び ESD を推進するための広域ネットワークのハブ機能を担う体制を整備し、ESD 活動に関連する多様な主体と地域ネットワークの構築を図り、ESD のより一層の推進を図ることを目的とする。

2) 実施内容

■EPO ちゅうごく業務

- 持続可能な社会の実現に向けた地域協働モデルの創出及び支援
- 拠点間連携による地域内の中間支援機能強化
- 地域における ESD 推進の取組支援
- 第 5 次環境基本計画に沿った支援事業
- 地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた
- 地域循環共生圏の創造に取り組む採択団体の支援等
- 相談対応及び情報センター業務

■中国地方 ESD センター業務

- ESD 活動を支援する情報共有機能
- 現場のニーズを反映した ESD 活動の支援機能
- ESD 活動のネットワークの形成、ESD 実践の学びあいの場の促進機能
- 人材育成機能

■管理業務

- 平成 31 年度業務目標・業務運営計画の策定
- 運営委員会の設置・開催
- 中国四国地方環境事務所との意見交換会
- 管理・運営体制の確保
- 業務推進のための会議への出席
- 業務で得られたデータの把握及び整理

3) 事業総括

■EPO ちゅうごく業務

<p>持続可能な社会の実現に向けた地域協働モデルの創出</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題間の相関や同時解決につながる具体的なプロセスの可視化、関係者の理解促進のための支援（滞在型環境学習の地域の受皿基盤づくりとして、地域活性化グループと若者（高校生）のまちづくりへの参加・参画に向けたネットワーク化、地域住民に見える形（イベント等）での取組の実施）。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境、社会、経済の同時課題解決を目指す上では、より幅広いステークホルダーとの協働・連携を図っていく必要がある。活動背景が異なる人々（合意形成の作法やモチベーションの違い等）がいかに共通の目的・目標を意識し、細部の違いを認め合う、乗り越え合うことができるか、相互に納得の行く文脈を構想できるかが肝要となる。地域循環共生圏の形成に向け、より経済的な実現性が求められる中で、支援側のネットワークの多様化・多分野化を図る必要がある。
<p>拠点間連携による地域内の中間支援機能強化</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域循環共生圏の形成促進に向けた中国 5 県の実践団体との相互理解や協力関係の深化。 地域循環共生圏づくりの萌え芽となる団体の育成や県内外の関係団体とのノウハウ共有。 中国 5 県の中間支援組織（環境分野・NPO 支援センター）と連携した情報発信。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の施策や取組と地域循環共生圏の関係性の理解や共通言語化。 地域循環共生圏の形成促進のためのノウハウや情報、参考事例、支援方法の蓄積。 地方公共団体と地域循環共生圏を推進するための普及啓発や学習・実践の機会づくり。
<p>地域における ESD 推進の取組支援</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 山口県を中心とした中国地方の ESD 実践者の交流促進。 SDGs 達成や ESD 推進を目指すマルチステークホルダー（宇部市総合戦略局、SDGs 未来都市、山口県環境部署、山口県教育委員会、宇部市教育委員会有識者、地方自治体、議員、NPO、企業、環境教育や ESD の実践者）とのパートナーシップ形成。 SDGs 達成に向けたプロセスや協働取組への ESD アプローチ。 <p>《課題》</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs の機運が高まる中での ESD の扱い方や導入方法。 ・支援した ESD 実践拠点の継続的な活動に向けた取組支援。
第 5 次環境基本計画に沿った環境教育支援事業	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県（地域政策局平和推進プロジェクトチーム）の施策との継続的な事業連携。 ・大学生（16 名）の参画を通じた広島県内の SDGs ビジネス（29 社）の見える化（セレクトブックの制作）と発信。 ・SDGs ビジネスセレクトブックの成果による、多様な機会における SDGs の普及啓発や取組のスタートアップ。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs の理解やスタートアップの次なるステップにおける取組支援（ビジネス化、協働取組など）。 ・マルチステークホルダーで SDGs を推進するための県域のプラットフォーム構築。 ・SDGs の達成に向けて大学生が主体的に実践活動していくための機会創出や支援の継続。
地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創造に取り組む採択団体の支援等	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域循環共生圏の形成に向けた地域の環境整備（将来像の共有、取組体制構築、事業化の構想等）における支援ニーズの可視化。 ・瀬戸内海における海洋プラスチック対策としての竹材の活用状況、可能性等についての現状把握。 ・流域を基盤とした人材交流・育成について、都市・農山村との資源循環を見据えた事例の把握。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域循環共生圏構築プラットフォームの構築支援に向けた地方環境事務所との連携、役割分担による支援のあり方整理。 ・地域循環共生圏構築につながるビジネスモデルの発掘、形成支援。
相談対応及び情報センター業務	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応及び情報収集・発信の拡充。 ・実施した事業を通じた新たな相談案件の創出や事業展開に向けた相談対応の活用。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応を通じた情報やニーズの収集、対応ノウハウの蓄積。 ・関係機関とのデータ共有や活用。

■中国地方 ESD センター業務

ESD 活動を支援する情報共有機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国地方の ESD 推進のための相談・支援窓口の周知と内容の拡充。 ・中国地方における 3 年間の ESD 活動に係る情報等の見える化。（見
-------------------	--

	<p>取り図の作成)</p> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジンや SNS を活用した情報発信の充実。 ・ESD 推進ネットワーク関係団体と連携した情報や資料等の共有。
現場のニーズを反映した ESD 活動の支援機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域 ESD 拠点や中間支援組織、広島 SDGs コンソーシアム等と連携したニーズ把握や情報発信。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ESD 実践団体の発展的活動につながるニーズの分析や支援に向けた活用。
ESD 活動のネットワークの形成、ESD 実践の学びあいの場の促進機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国 ESD センター及び他の地域の地方 ESD センター、全国的な ESD 推進団体 (JICA、独立行政法人国立青少年教育振興機構) との連携。 ・全国の ESD 活動支援センター事業の設計・構築 (ESD 推進ネットワークの可視化)。 ・ESD 全国フォーラムの開催支援及び地域 ESD 拠点の参画促進。 ・地域 ESD 拠点の登録 (2 団体/鳥取県、広島県)。 ・地域 ESD 拠点の取組事例の水平展開 (津山圏域クリーンセンター・リサイクルプラザ、島根県立しまね海洋館アクアス)。 ・ESD 推進ネットワークの拡充や可視化、「ESD for 2030」に向けた議論の活性化。 ・大学や学校と連携した ESD 推進 (学習指導案のブラッシュアップ、SDGs 理解、教員や教育学部学生の育成、実践団体の表彰)。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ESD for 2030」に向けた ESD 推進ネットワークの次なる目標や方向性等の検討。 ・地域 ESD 拠点の機能強化やフォローアップ。 ・SDGs の達成や地域の課題解決に向けた ESD の具体的な貢献。
人材育成機能	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユースを主体とした広域的な交流や学びあいの場づくりの広がり。 ・SDGs の達成に向けた ESD ユースとその支援者の人材育成。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会やマスコミ等と連携した発信。 ・学校及び学生の参加促進の工夫や開催時期の設定。 ・育成したユースや支援者のフォローアップ。

⑥ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	受託料
収益金額	981,720円
目的・内容	広島県及び23市町など行政も加わった県民参加の森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的とする。

2) 実施内容

■ひろしま「山の日」県民の集い行事

【日 時】令和2年6月2日10:00～15:00

【場 所】〔メイン会場〕

竹原市会場（バンブー・ジョイ・ハイランド）

〔サテライト会場〕

東広島市会場（憩いの森公園）・廿日市市会場（もみのき森林公園）・広島市会場（広島県緑化センター）・三原市会場（中央森林公園）・庄原市会場（国営備北丘陵公園）・福山市会場（ふくやまふれ愛ランド）・三次市会場（酒屋いこいの森他、ほしはら山のがっこう）・呉市会場（野呂山）・北広島町八幡高原会場（高原の自然館）・安芸太田町会場（深入山グリーンシャワー）・大竹市会場（マロンの里交流館）・世羅町会場（道の駅世羅、せら夢公園）・大崎上島町（神峰山）・江田島市会場（野登呂山）

【参加者】13,642名

【運営】広島県民（森林ボランティア、山岳団体、企業CSR活動、大学・高校、緑の少年団など）

【内容】山の手入れ、登山道整備、登山教室、自然観察会、森のネイチャーゲーム、木工教室、森のコンサートなど、各団体・企業等の持ち込み企画で実施

3) 事業総括

【成 果】

○広島県23市町の開催まで、残すところあと1市5町となり、より一層「山の日」の意識が高まった。

○当センター（中間支援組織）が事務局を担うことで、多様な主体の関係者に情報発信できた

【課 題】

- 「森林を守り育てる体制」として、積極的に活動している団体数の不足
- 森林整備従事者の成り手不足及び一般県民の方々の理解不足

(4) ネットワーク・連携推進事業

①ひろしま未来交流会

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	ひろしま未来交流会
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹
契約先等	有志一同（広島県環境県民局県民活動課、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター）
事業期間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
収益形態	自主財源
収益金額	－
目的・内容	様々な立場・世代を対象とした主客一体の交流会を開催することを通して、広島未来を語り合いプロジェクトを生み出して実現することを目指す。

2) 実施内容

■実施概要

【日 時】毎月第 2 金曜日 19:00～21:00

【場 所】ひろしま NPO センター大学連携室（広島市中区大手町 広島県民文化センター6F）

【内 容】

回	日 程	参加者	おしゃべりテーマ
第 59 回	2019 年 4 月 12 日（金）	16	ズムスタなど大型商業施設／外国人観光客の昼間の過ごし方／次回（第 60 回）は何するか／カープライフの観戦招待先／平成の思ひ出
第 60 回	2019 年 5 月 10 日（金）	26	トビーの進化論／眠くなったときの対処／学生への思い／女性が地方に残るには 令和 5 年の広島／人が集まる会社、人が逃げ出す会社
第 61 回	2019 年 6 月 14 日（金）	21	10 年後、20 年後にどのような日本にしたいか？／人生 100 年時代／老後 2 千万円問題／カープに興味ない人の意見は？／組織のあり方／小中学生のビジネス教育
第 62 回	2019 年 7 月 12 日（金）	17	年間 2,877,143 円使われている税金の新たな活用方法は？／参議院選挙は誰に投票した？／ゴミ拾

			いのネーミング／広島が広島としてどう生き延びるか／いつから子どもにスポーツを／ひきこもり
第63回	2019年 8月9日(金)	17	似島の活性化／シングルマザーをどう思う？／20代の気持ちをわかるには／暑さ対策・涼しくなる方法／自由と平等
第64回	2019年 9月13日(金)	18	広島湾の海ゴミをなくす／中絶について／イベントの集客方法／スポーツしたい？やってる？／障害の“害”の漢字
第65回	2019年 10月11日(金)	18	ローマ法王にやってもらいたいこと／学生に求めていること、力を借りたいこと／広島と縁遠いもの／広島城をどうすればよい？／掲示板に書き込みたいこと／クラウドファンディングのオーナー募集
第66回	2019年 11月8日(金)	15	はなの輪イベントで植えてみたい花／古くなった公共施設の展望／どんな情報が書いてあれば買う？／どうすれば広島の人が東京に行く？／どんな企業があれば広島に就職する？
第67回	2019年 12月13日(金)	14	広島の男性のイクメンぶり／学生×企業／個人の目標／女性のキャリア
第68回	2020年 1月10日(金)	16	LGBTQA／有効な温暖化対策／働き方改革／古民家の整理／広島県はなぜ他県に嫌われるのか／被爆75年を迎える各地域
第69回	2020年 2月14日(金)	19	広島県におけるSDGsとビジネス／お菓子作りで楽しく理科を学ぶ教材作成の試み／藤井幸子の朗読劇「蛍火」／同窓会の会費／石野さんの活動報告／広島インバウンドビジネス
第70回	2020年 3月13日(金)	—	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期。

(5) 子育て・子育て支援に関する事業

①親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	親子での体験活動プログラム普及に係るサテライト講座業務
担当責任者	山本祐二
担当スタッフ	山本祐二
契約先等	広島県教育委員会

事業期間	令和元年7月1日～令和2年2月29日
収益形態	受託料
収益金額	632,600円
目的・内容	広島県教育委員会が開発した、幼稚園・保育所・認定こども園等において親子と一緒に楽しめる体験活動プログラムを県内の園・所等において訪問実施し、プログラムの普及を図るとともに、保護者の関わりも含めたプログラムのねらいを達成するための効果的な実施について園・所等職員の理解を深めることを目的とする。

2) 実施内容

■県内の保育園・所、公民館等を訪問し、親子での体験プログラムを実施

【日 時】 令和1年7月～令和2年2月

【場 所】 県内の園・所、公民館等：6か所

【実施団体】 ○NPO 法人いきいきアクティビティサービス

○NPO 法人ほしはら山の学校

3) 事業総括

【成 果】

○親子の身体を使ったコミュニケーションづくりの向上

○保育園・所、公民館等の職員の理解向上

【課 題】

○プログラム実施体制の強化

②広島市公募型常設オープンスペース「つばさ」

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	広島市公募型常設オープンスペース「つばさ」
担当責任者	香川恭子
担当スタッフ	八木千晶、山根文華、宅嶋由美子、村越可苗、下野嘉代、鎌田紀美、白井千春（7月～）、松本幸江（12月～）、田辺綾（～5月）、山本満寿美、梶本里香、逸見文恵、横山ゆかり
契約先等	広島市こども未来局こども・家庭支援課
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	自主財源・補助金・利用料
収益金額	補助金：18,837,000円、利用料他：1,328,340円
目的・内容	子育て中の親子が、自由に集い遊び、学び、健やかに成長できる場の提供。 ①子育てオープンスペースの運営、講習会・交流会の実施、相談事業、情報提供など

<p>月曜～土曜の 10:00～16:00、1 回の利用料 100 円、年間登録料 100 円</p> <p>②子育てオープンスペース内での一時預かりの実施</p> <p>月曜～土曜の 9:30～17:00、30 分 250 円（1 回 3 時間まで）</p> <p>③訪問支援事業の実施</p> <p>依頼のあった日時にボランティアが訪問支援活動を行うためのコーディネーター業務、ボランティアの養成</p>
--

2) 実施内容

■子育て親子の交流の場の提供

開設日数	255 日 ※令和 2 年 2 月 29 日から、広島市における新型コロナウイルスの感染拡大防止の方針に基づきクローズ。
延利用者数	大人 2,898 人（男性：141 人、女性：2,757 人） 小人 3,176 人（0 歳児：1,029 人、1 歳児：1,214 人、2 歳児：597 人、3 歳児：170 人、その他：166 人）
子育てアドバイザーの雇用実績	13 名（他のオープンスペースからの応援は含まない）

■子育てに関する相談・助言の実施

相談対応件数	生活に関すること	126 件	育児等に関すること	27 件
	発育・発達に関すること	112 件	その他	114 件

■地域の子育てに関する情報提供

提供を行った情報の内容等	幼稚園、保育園の入園に関する情報や園庭開放の情報。地域の子育てサロンやサークル情報の提供。ファミリー・サポートについて登録や利用方法を伝えた。広島市の事業で産後ケアの利用について説明。イベントやお出かけ情報など。
主な提供方法	資料の配布、ホームページの閲覧、掲示物の閲覧、口頭で説明しながら情報を提供し、使い方や問い合わせ先など具体的に伝えるよう心がけた。

■子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

実施実績	講演会	0 回	交流会	23 回	延利用者数	大人：1,014 人
	講習会	95 回	その他	11 回		小人：1,291 人

■付加価値事業の実施

○地域の子育て支援拠点として地域の子育て支援活動の展開を図るための取組

取組内容	一時預かり事業を実施した。オープンスペース開催日の 10 時～18 時まで実施。（行事の為午後から実施の日あり）
------	--

○地域支援の取組

取組①	実施内容	中央公園で子どもが主体的に遊びを創造するための遊び場づくりを地域の団体と一緒にいった。
	延利用者数	小人：913 人
取組②	実施内容	ホームスタートによる訪問支援活動を行った。

	延利用者数	大人：90人 小人：169人
--	-------	-------------------

■一時預かり事業の実施

○一時預かり事業の実施の概要

一時預かり 実施日時	実施曜日	月曜日～土曜日
	実施時間	9:30～17:00（この間の3時間以内）
	実施日数	260日
従事スタッフの雇用実績（保育従事者）		8人

○一時預かり利用実績

区 分	年度計
稼働日数	260
延べ預り児童数	863
延べ利用者数（養育者数）	846
一日あたりの平均預かり児童数	3.3

■その他子育て支援に関すること

新型コロナウイルス感染防止のため、クローズ期間は預かりも実施せず、予約の家庭に電話連絡し、必要に応じて情報提供を行った。

3) 事業総括

【成 果】

- 昨年度から継続して訪問支援事業を継続。保健師さんや助産師さんからの紹介が多くあり、社会的なニーズも高いと実感。コロナの感染防止の為、3月は訪問を中止した。電話でお話を聴く活動に切り替えた。
- 講習会や交流会などの行事を予定通り実施できた。

【課 題】

- 一時預かりのキャンセル率が高く、定員いっぱいであったがキャンセルにより0組の日もあった。
- 予算が少なく、広報活動が十分にできなかったため、もっと早く知りたかったと言われる利用者が複数あった。HPの作成やSNSの活用により、情報が良く届くようになってきているが、課題は発信力。
- 訪問支援活動の依頼に対し、予算とボランティアさんが足りていない。
- 訪問支援活動の依頼に対し、十分な予算がない。
- OSや預かり、訪問支援等からわかった利用者さん個別の課題への対応がまだ十分にできていない。

③広島市公募型常設オープンスペース「ふらっと（安佐南区）」

1) 事業概要

事業種別	継続
------	----

事業名	広島市公募型常設オープンスペース「ふらっと（安佐南区）」
担当責任者	香川恭子
担当スタッフ	班石亜希、佐々木千絵、北佳宏、金近佳美、山口沙織、八木千晶、山本満寿美
契約先等	広島市こども未来局こども・家庭支援課
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	自主財源・補助金・利用料
収益金額	補助金 7,244,000 円 利用料 211,654 円
目的・内容	子育て中の親子が、自由に集い遊び、学び、健やかに成長できる場の提供。 子育てオープンスペースの運営、講習会・交流会の実施、相談事業、情報提供など 月曜～金曜の 10:00～16:00、1 回の利用料 100 円、年間登録料 100 円

2) 実施内容

■子育て親子の交流の場の提供

開設日数	217 日
延利用者数	大人：1,864 人（男性：44 人、女性：1,820 人） 小人：2,037 人（0 歳児：831 人、1 歳児：810 人、2 歳児：274 人、3 歳児：68 人、その他：54 人）
子育てアドバイザーの雇用実績	5 名（他施設からの応援を除く）

■子育てに関する相談・助言の実施

相談対応件数	生活に関すること	199 件	育児等に関すること	150 件
	発育・発達に関すること	171 件	その他	119 件

■地域の子育てに関する情報提供

提供を行った情報の内容等	園庭開放、保育園や幼稚園の入園や入所の手続きについて。公民館の子育て事業の案内。サークル活動の情報など。
主な提供方法	資料を集めて、OS 内に掲示。必要に応じて説明。

■子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

実施実績	講演会	0 回	交流会	17 回	延利用者数	大人：610 人 小人：634 人
	講習会	59 回	その他	0 回		

■その他子育て支援に関すること

地域の戸建てを利用して、オープンスペースを開設。そのため、自宅または実家のように過ごす方も多く、他の OS に比べて相談件数が多い。また、訪問支援の活動につながったケースも多い。

■付加価値事業の実施

実施内容	安佐南区・安佐北区においてホームスタートによる訪問支援活動を行った。
------	------------------------------------

利用者数	大人：63人 小人：97人
------	---------------

3) 事業総括

【成 果】

- これまで近くにいつでも遊びにいけるスペースがなかったため、近隣の親子さんが徒歩や自転車で遊びに来れる場所として喜ばれた。
- 区の保健師さんや助産師さん、他のOSとの連携がはかれ、地域の子育てセーフティネットづくりに貢献できている
- お父さんスタッフもいて、お父さんが子育てに関心を持ってもらえるセミナーを開催できた。

【課 題】

- 予算が少なく、広報活動が十分にできなかったため、もっと早く知りたかったと言われる利用者が複数あった。利用者が少ない分利用料収入も予算通りとならなかった。

④広島市公募型常設オープンスペース「いいね（南区）」

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	広島市公募型常設オープンスペースいいね
担当責任者	香川恭子
担当スタッフ	三宅由紀子、鹿江幸枝、北博子、高橋知子、中村華那、沖本純子、野原千秋、多賀谷美絵子
契約先等	広島市こども未来局こども・家庭支援課
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	自主事業・補助金・利用料
収益金額	補助金 6,936,000 円、利用料 420,100 円
目的・内容	子育て中の親子が、自由に集い遊び、学び、健やかに成長できる場の提供。 子育てオープンスペースの運営、講習会・交流会の実施、相談事業、情報提供など 月曜日～土曜日の 10:00～16:00、1 回の利用料 100 円、年間登録料 100 円

2) 実施内容

■子育て親子の交流の場の提供

開設日数	217日
延利用者数	大人：3,739人（男性：188人、女性：3,551人） 小人：4,002人（0歳児：1,002人、1歳児：1,783人、2歳児：768人、3歳児：269人、その他：180人）
子育てアドバイザーの雇用実績	10名（他施設からの応援を除く）

■子育てに関する相談・助言の実施

相談対応件数	生活に関すること	131件	育児等に関すること	5件
--------	----------	------	-----------	----

	発育・発達に関すること	122件	その他	60件
--	-------------	------	-----	-----

■地域の子育てに関する情報提供

提供を行った情報の内容等	園庭開放、保育園や幼稚園の入園や入所の手続きについて。公民館の子育て事業の案内。サークル活動の情報など。
主な提供方法	資料を集めて、OS内に掲示。必要に応じて説明。

■子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

実施実績	講演会	0回	交流会	15回	延利用者数	大人：1,664人
	講習会	82回	その他	0回		小人：1,716人

■その他子育て支援に関すること

商業施設内のオープンスペースであるため、気軽に利用していただきやすい。

■付加価値事業の実施

実施内容	南区・安芸区においてホームスタートによる訪問支援活動を行った。
利用者数	大人：56人 小人：86人

3) 事業総括

【成 果】

- 買い物がてら立ち寄られる方も多く、お母さんの買い物中にお父さんが親子で過ごすケースも多くみられた。家庭内での親子や夫婦の抱えている問題についての相談も多くあり関係機関へつなげることができた。
- 区の保健師さんや助産師さん、他のOSとの連携がはかれ、地域の子育てセーフティネットづくりに貢献できている。

【課 題】

- 予算が少なく、広報活動が十分にできなかったため、もっと早く知りたかったと言われる利用者が複数あった。年度末にHPも完成し、インスタやブログでの発信もできるようになった。

(6) その他目的を達成するために必要な事業

①委員・講師等の派遣

担当者	実 績
安藤 周治	【理事長】 特定非営利活動法人ひろしまね 【理事】 作木観光協会副会長 【理事】 三次広域商工会 【理事】 一般社団法人 みよし観光まちづくり機構 【評議委員】 公益財団法人マツダ財団 【評議委員】 公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしま 【委員】 広島県河川整備基本方針等検討委員会

	<p>【幹事】ひろしま国際交流サミット</p> <p>【委員】さとやま未来円卓会議</p> <p>【就任】山口県 中山間地域コーディネーター&アドバイザー</p> <p>【副会長】ローカルマニフィスト中国運営委員</p> <p>【大使】北海道むかわ町大使</p> <p>【就任】総務省地域力創造アドバイザー</p> <p>【評価委員】総務省 過疎地域等自立活性化交付金事業</p> <p>【座長】国土交通省 水源地域支援ネットワーク運営会議</p> <p>【審査委員長】国土交通省 水の里の旅コンテスト</p> <p>【理事】コミュニティ政策学会</p> <p>【認定】内閣府地域活性化伝道師</p> <p>【評価委員】総務省集落ネットワーク圏形成事業</p> <p>【委員】国土交通省新たな担い手等による水源地域在り方検討会</p> <p>【就任】公益社団法人青少年育成広島県民会議 青少年育成指導者</p>
中村 隆行	<p>【委員】広島市男女共同参画推進センターゆいぽーと</p> <p>【運営委員】広島市ボランティア情報センター</p> <p>【委員】呉市市民協働推進委員会</p> <p>【委員】江田島市まちづくり助成金審査委員会</p> <p>【審査委員】JICA 草の根事業外部審査委員会</p> <p>【副理事長】自治労 自治研究センター</p> <p>【委員】三原市空き家対策審議会</p> <p>【委員】三原市文化芸術未来検討委員</p> <p>【共同代表】日本ファンドレイズ協会中国チャプター</p> <p>【評議員】公益財団法人広島県男女共同参画財団</p> <p>【委員】第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会</p> <p>【委員】広島県共同募金会社会課題解決プロジェクト広域テーマ募金検討委員会</p> <p>【評議員】広島県社会福祉協議会</p> <p>【評議員】広島市社会福祉協議会</p> <p>【副会長】広島県障がい（児）者と手をつなぐ県民会議</p> <p>【幹事】中国地域コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス協議会</p> <p>【評価委員】岡山県NPOボランティア支援センター（ゆうあい）</p> <p>【認定】内閣府地域活性化伝道師</p>
三好 久美子	<p>【理事長】公益財団法人ひろしまこども夢財団 理事長</p> <p>【委員】広島県国土利用計画審議会 委員</p> <p>【委員】尾道市協働のまちづくり委員会 委員</p> <p>【監事】公益社団法人青少年育成広島県民会議 監事</p> <p>【委員】広島県食育推進会議 委員</p> <p>【副会長】広島県博物館協議会 副会長</p>

	【委員】 広島県農村環境情報協議会 委員
児玉 宏	【役員】 広島県プラチナ世代支援協議会 【委員】 広島市共同労働審査委員会
松原 裕樹	【認定】 内閣府地域活性化伝道師 【理事】 特定非営利活動法人岡山 NPO センター 【監事】 特定非営利活動法人環境パートナーひろしま 【委員】 広島県環境審議会 委員 【委員】 広島県地域福祉支援計画策定委員会 【登録】 広島県環境保全アドバイザー 【登録】 ひろしま里山チーム 500 【委員】 広島県社会福祉協議会ボランティア活動・福祉教育推進委員会／委員 【副議長】 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議／副議長 【副本部長】 広島市市災害ボランティア本部／副本部長 【委員】 三原市市民協働推進委員会／委員 【審査員】 イオンチアーズクラブサミット中四国大会／審査員 【実行委員】 全国自然体験活動指導者集会 2019 (全国キャラバン) 自然体験活動フォーラム in 江田島／実行委員 【講師】 広島青年会議所講演会／(一社) 広島青年会議所 【講師】 2019年度初級職員研修会／広島県生活協同組合連合会 【講師】 岡山県環境学習次世代指導者発掘・育成事業／岡山県 【寄稿】 VOLUNTEERS 2019 Summer Vol.23／市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい・藤沢市 【講師】 災害時の連携を考える全国フォーラム／(特非) 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 【講師】 大学行政管理学会特別シンポジウム／大学行政管理学会 中国・四国地区研究会 【寄稿】 市民活動総合情報誌「ウォロ」／(社福) 大阪ボランティア協会 【講師】 環境を考える講演会 2019／くれ環境市民の会 【講師】 介護事業所職員研修／(医) 好縁会 【講師】 広島県中小企業家同友会 SDGs セミナー／広島県中小企業家同友会 【講師】 地域課題探究活動 (1年生)／広島県立三次高等学校 【講師】 環境保健夏季大学／(一財) 環境保健協会 【講師】 呉青年会議所 SDGs 研修会／(一社) 呉青年会議所 【講師】 ONE DREAM2019／(一社) ONE DREAM 【講師】 高校生のための ESD ユースワークショップ／中国地方 ESD 活動支援センター 【講師】 京都地域未来創造センター連続セミナー／京都府立大学 【審査委員】 2019年こくみん共済 coop 地域貢献助成事業審査委員／全国労働者

	<p>共済生活協同組合連合会</p> <p>【講師】地球環境フォーラム SDGs 勉強会／ひろしま地球環境フォーラム</p> <p>【審査委員】国際平和のための世界経済人会議 広島県 SDGs ビジネスプランコンテスト／広島県</p> <p>【実行委員】たちまち全員集合実行委員会／広島県・NPO・企業等</p> <p>【講師】探究活動（1・2年生）／広島県立安西高等学校</p> <p>【講師】新庄学園 PTA 講演会／新庄学園 PTA</p> <p>【講師】地域循環共生圏創造のための意見交換会／中国四国地方環境事務所</p> <p>【講師】広島工業大学地球環境学科ご近所ゼミ／広島工業大学地球環境学科</p> <p>【審査委員】第5回全国ユース環境活動発表大会中国地方大会／（独法）環境再生保全機構</p> <p>【講師】令和元年度プラチナ大学（呉校）／広島県・（社福）広島県社会福祉協議会</p> <p>【講師】広島中央ロータリークラブ例会卓話／広島中央ロータリークラブ</p> <p>【講師】岡山県地球温暖化防止活動推進員研修／岡山県</p> <p>【講師】レジリナイト Hiroshima 例会／レジリナイト Hiroshima</p> <p>【講師】竹原市職員 SDGs 研修会／竹原市</p> <p>【講師】ESD 推進ネットワーク全国フォーラム／全国 ESD 活動支援センター</p> <p>【講師】職員研修会／一般財団法人環境保健協会</p> <p>【講師】地域貢献応援セミナー／（社福）広島市社会福祉協議会</p> <p>【講師】企業とNPOの協働促進マッチングフォーラム／山口県</p> <p>【講師】山口県企業等社会貢献活動セミナー／（社福）山口県社会福祉協議会</p>
山本 祐二	<p>【委員】広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会／広島市</p> <p>【委員】広島県社会福祉協議会地域福祉部会常任委員会／広島県社会福祉協議会</p> <p>【委員】広島県医療費適正化計画検討委員会／広島県</p>
増田 勇希	<p>【委員】広島県被災者生活サポートボラネット推進会議委員会／広島県社会福祉協議会</p> <p>【講師】災害ボランティアセンター運営者研修／広島県社会福祉協議会</p> <p>【講師】災害ボランティアセンター運営者研修／佐賀県社会福祉協議会</p> <p>【講師】災害ボランティアセンター振返り会／三原市社会福祉協議会</p> <p>【就任】JICA 青年海外協力隊相談役</p>
香川 恭子	<p>【講師】広島県子育て支援員研修</p> <p>【講師】ホームスタートホームビジター養成講座</p> <p>【講師】広島市安佐南区防災リーダー研修</p> <p>【委員】広島市社会福祉協議会第8次計画策定委員会</p> <p>【委員】広島市社会福祉協議会ボランティア情報センター運営委員会</p>
松村 涉	<p>【理事】認定NPO法人陽だまり 組織基盤担当理事</p> <p>【講師】ICTを活用した情報発信力強化事業／公益財団法人とっとり県民活動活性</p>

	化センター
--	-------

②中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業

1) 事業概要

事業種別	新規
事業名	中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業
担当責任者	松村渉
担当スタッフ	松原裕樹、山本祐二
契約先等	一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)
事業期間	令和元年 11 月 26 日～令和 2 年 3 月 31 日
収益形態	助成金
収益金額	5,407,529 円
目的・内容	中国 5 県の間接支援組織で構成するコンソーシアムが、休眠預金等を活用し、そのノウハウや知見、ネットワークを共有するとともに、各県で活動する NPO 等（実行団体）への助成金の配分と伴走支援を実施し、地方のくらしの崩壊・消滅につながる課題を解決することを目的とする。

2) 実施内容

■応募期間

令和 2 年 1 月 27 日～2 月 28 日

■選考審査会

【日 時】 令和 2 年 2 月 24 日

【場 所】 広島オフィスセンター（広島市南区東荒神町 3-35）

【審査委員】 条件付き非公開（2020 年 6 月以降公開予定）

■助成団体（内定）

NO	団体名	所在地	助成額
1	たすき株式会社	鳥根県雲南市	20,000,000 円
2	NPO 法人子どもシェルターモモ	岡山県岡山市	20,000,000 円
3	NPO 法人湯来観光地域づくり公社	広島県広島市	10,000,000 円
4	NPO 法人 NPO 狩留家	広島県広島市	10,000,000 円

3) 事業総括

【成 果】

○中国 5 県の間接支援組織によるコンソーシアムでの休眠預金事業の実施

○広島県の NPO 法人に 2,000 万円の助成

【課 題】

○県内の社会課題のさらなる把握

○社会的インパクト評価や組織ガバナンス・コンプライアンス整備の支援

③平成30年7月豪雨災害復興支援活動

1) 事業概要

事業種別	継続
事業名	平成30年7月豪雨災害復興支援活動
担当責任者	松原裕樹
担当スタッフ	松原裕樹、松村渉、増田勇希、岡本泰志、井上圭太、横山ゆかり
契約先等	—
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
収益形態	自主財源・寄付金・受託料
収益金額	—
目的・内容	県内の行政・社協・NPOや県外のJVOAD等の関係機関と連携して、西日本豪雨災害の復旧・復興のための活動支援や協働事業を展開すると共に、広島県生活協同組合連合会・Yahoo!基金・Yahoo!ネット募金からの寄付金を活用した基金を設立し、NPOや地域の自治組織等の支援団体に助成金を配分する。

2) 実施内容

■坂町ボランティアセンター運営支援・自治会支援

【日時】平成31年4月1日（月）～令和2年3月31日（土）

【場所】坂町

【内容】○ボランティアセンター運営支援
○各種外部支援団体のコーディネート
○被災自治会等支援
○その他、復興に必要とされる業務全般

【結果】坂町では仮設住宅の設置後、仮設住宅、みなし仮設住宅に生活する住民への生活支援が必要とされており、坂町社会福祉協議会も支援の一翼を担っている。当事業では、坂町社会福祉協議会が運営するボランティアセンターの運営支援を行うとともに、活動を通して繋がりのできた各自治会の支援等、継続的に実施した。

■企業ボランティアの受入れと中高生の受入れコーディネート

【日時】平成31年9月6日（金）～9月7日（土）、令和元年11月6日（土）～11月7日（日）

【場所】坂町、安浦町

【連携先】公益財団法人日本フィランソロピー協会

【内容】○坂町仮設住宅における花壇の作成、換気扇・エアコン等清掃活動
○安浦町被災地における農地復旧活動
○坂町小屋浦地区における講和
○被災地中高生によるワークショップの実施、平和学習の実施

- 【結果】** 企業ボランティアの受入れ、中高生の受入れともに、被災者との交流を通じた災害記憶の伝承、また、直接的な活動を通じた地域貢献に繋がった。
- 企業ボランティアでは、仮設住宅、安浦地区での活動を通しボランティア自身が防災、災害ボランティアについて考える契機となった。
- 中高生受け入れでは、広島被災地からの小中高生も参加したワークショップを実施。「若い世代にできること」というテーマのワークショップでは、互いに刺激を受ける内容となった。

■平成30年7月豪雨災害支援ひろしまネットワーク会議

- 【日時】** 平成31年4月1日～令和2年3月31日／毎月1回開催（18:00～20:00）
- 【場所】** ひろしまNPOセンター会議室（広島市中区大手町1-5-3 広島県民文化センター6階）
- 【目的】** 被災された方々の生活再建や地域の復興に向け、団体間の垣根を越えて顔の見える関係を構築し、地元との連携を図りながら取り組みを進めるため、情報交換やネットワークづくりを行う。
- 【対象】** 西日本豪雨災害の支援活動を行う団体・個人の方（NPO/NGO、社会福祉協議会、行政、企業、関係機関、個人など）
- 【主催】** ひろしまNPOセンター、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
- 【協力】** 広島県、広島市、広島県社会福祉協議会、広島市社会福祉協議会、日本ファミリーテーション協会
- 【内容】**

開催日	参加人数	意見交換のテーマ
第22回 (2/25)	12	①団体活動に関するイベント等の告知
第23回 (3/20)	15	①坂町の被災者アセスメント調査／②子育て家庭を対象とした災害に関するアンケート調査／③行政担当者の人事異動への対応／④「体験談集」発刊のお知らせ
第24回 (4/15)	19	①被災地における危険地域の把握／②障がい者の子ども向けカード／③田畑への支援／④公費解体と修繕の判断／⑤九州北部豪雨（福岡県朝倉市）の事例
第25回 (5/17)	10	①子育て支援アンケート／②子育て世帯の困りごと／③障がい者の避難／④避難と避難所の受入体制／⑤街頭募金の実施場所／⑥被災者のカーブ観戦招待

第26回 (6/19)	20	①大学生ボランティアの交通手段／②土囊づくり／③広島市内のみなし仮設への支援状況／④下の世代の育て方／⑤1年を迎える時期の報道のあり方
第27回 (7/24)	17	①お店の再建／②ボランティア保険／③子育て支援活動に関する保険／④被災地域以外での避難訓練における障がい者の参加状況
第28回 (8/22)	13	①生協ひろしまへの相談
第29回 (9/27)	9	①ボランティア活動保険のIT化／②これまでの経験をこれからの防災・減災につなげるフォーラム企画案
第30回 (10/29)	9	①2月2日(日)「ボランティア交流サミットひろしま2019」／②ひろしまネットワーク会議の振り返り／③防災・減災の取組に／④行政の動きに
第31回 (11/21)	8	①2020年2月2日(日) ボランティア交流サミットひろしま2019
第32回 (12/18)	9	①複雑な被災者支援制度の理解・伝達方法
第33回 (1/23)	11	①女性のエンパワメント／②災害を契機とした広島のパテンシャル／③今後、大きな災害が起きることを想定した備えや課題
第34回 (2/19)	9	①全社協からの情報／②新型コロナウイルス等の感染症
第35回 (3/25)	—	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。

■平成30年7月豪雨災害ひろしま復興支援基金

【実施概要】平成30年7月豪雨災害ひろしま復興支援基金は、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興を目的とする、ひろしまNPOセンターと公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまの協働事業です。この基金は、復旧・復興を願う市民の皆様からのご寄付に加え、Yahoo!基金様において実施されたみんなのチャリティー募金『【支援金が2倍に】平成30年7月豪雨緊急災害支援募金』からのご寄付、広島県生活協同組合連合会様からのご寄付、公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまにおいて実施された「平成30年7月豪雨災害支援基金」へのご寄付を基に実施した。

【応募期間】2019年3月18日～4月18日

【応募結果】応募件数：89件／応募総額：37,430,000円

【選考結果】 61 プロジェクト／総額：15,470,000 円

コース	応募件数	応募総額	採択件数	採択総額
(A)ありがとうコース	28 件	2,620,000 円	26 件	2,420,000 円
(B)これからもコース	33 件	14,840,000 円	17 件	6,380,000 円
(C)そなえるコース	28 件	19,970,000 円	18 件	6,670,000 円
合 計	89 件	37,430,000 円	61 件	15,470,000 円

< (A) ありがとうコース採択結果 >

団体名	活動名（一部省略）	採択金額
災害で生活が変わった子供を支援する会	こども無料フリーマーケット	100,000 円
小谷小学校区市民協働まちづくり協議会 志村地区	志村地区 7 月豪雨復旧、復興応援活動	100,000 円
三原市防災士ネットワーク	防災士による各地域に於ける支援活動	100,000 円
ピアサポート子育て相談センター	足裏マッサージとスイーツを食べながらの傾聴	90,000 円
大原ハイツ復興の会	大原ハイツ復興の会	100,000 円
NPO 法人アニマルセラピー協会	仮設住宅に 笑顔と温もりを届けに	80,000 円
ボラ写 PROJECT	ボラ写 PRPJECT	100,000 円
八本松住民自治協議会	土石流による二次災害防止対応	80,000 円
三原継ぎの輪会	西日本豪雨災害市民ボランティア活動	100,000 円
安芸区を支える会	安芸区災害ボランティアセンターを支える活動	100,000 円
ひろしま避難者の会「アスチカ」	西日本豪雨災害の支援物資コーディネート活動	100,000 円
広島市防災士ネットワーク	平成 30 年 7 月豪雨災害（広島県版）体験談集の発刊	100,000 円
川上小学校区住民自治協議会	平成 30 年 7 月豪雨災害による農業用水路の復旧作業	100,000 円
NPO 法人セトラひろしま	被災地遊び場開催支援事業	70,000 円
NPO 法人 Heart of Peace ひろしま	西日本豪雨災害避難所支援活動	100,000 円

菅田区	7月豪雨菅田区復旧活動	100,000円
菅田東水利組合	7月豪雨菅田東水利組合復旧活動	100,000円
チーム踏ん張る	H30年7月豪雨における三原市本郷町船木地区の復旧作業	100,000円
NPO法人宅老サービス事業所ぴっぴら	講演独演会～元気いっぱい大笑い～	90,000円
みやじま未来ミーティング	土砂かき復旧支援活動&宮島の海岸調査・清掃活動	100,000円
一般財団法人パパフレンド協会	『子ども達の笑顔を守る』の延長戦!	100,000円
えがおのまちづくりステッキ	「被災地の子どもたちに大道芸で笑顔を!」	100,000円
広島大学ボランティア団体 アイリス	広島県呉市安浦町を中心とした大学生によるこころの支援	30,000円
沼田東連合町内会	豪雨災害避難所支援及びボランティア支援活動	80,000円
遊ぼう会ぷらす	被災者の心のケアを目的とした交流ルームの整備	100,000円
三原アレルギーの会ひだまり	災害を生き抜くアレルギー講演会	100,000円

< (B) これからもコース採択結果 >

団体名	活動名 (一部省略)	採択金額
災害で生活が変わった子供を支援する会	ぼうさいひろば	500,000円
ピアサポート子育て相談センター	Smile Again プロジェクト～笑顔で見送れる日まで～	490,000円
NPO法人アニマルセラピー協会	仮設住宅の方に笑顔を 災害が起こった時のペットの避難所に	90,000円
NPO法人ANT-Hiroshima	尾道市吉和町西迫地緑化活動	450,000円
安浦夏祭り実行委員会	やすうらワクワク夏祭り2019	400,000円
広島市防災士ネットワーク	わが町防災マップを携行する避難システムの構築	500,000円
ひろしま女性防災会	早期避難を学ぶ、出張そなえてげんさい教室	490,000円
NPO法人宮島ネットワーク	宮島・アサリ浜の再生復旧事業	500,000円

学生ボランティア団体 OPERATION つながり	農地復旧ボランティア及び仮設 住宅支援	360,000 円
一般財団法人パパフレンド協会	木と親しみ保護者と子ども達の 笑顔を守るプロジェクト	500,000 円
Japanese Drum 和☆Rock	復興応援ファイト！安浦！和太 鼓フェス-呉市春の文化祭-	100,000 円
NPO 法人日本タッチ・コミュニケー ション協会	災害ストレスからの心の復興支 援事業	250,000 円
重兼を住みよくする会	重兼 みんなで減災活動	200,000 円
遊ぼう会ぷらす	遊びを通して災害後の子どもの 心のケアを行う	500,000 円
船木地域支援センター	災害後の生活再建と地域コミュ ニティ再生のための支援	500,000 円
三原アレルギーの会ひだまり	災害時の食の安全と命を守る自 助・共助を進める活動	430,000 円
広島大学大学院 心理支援プロジェク トチーム	ほっと・ゆるっと・のびのびと ～皆さんの生活を応援します～	120,000 円

< (C) そなえるコース採択結果 >

団体名	活動名 (一部省略)	採択金額
NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima	倒木・流木処理活動	100,000 円
三原ダイヤハイツ自治会	ダイヤハイツ自主防災会 (自治 会) 給水活動	360,000 円
川西上町内会	船木地区の防災拠点としての整 備と自主防災組織強化	150,000 円
平坂集会所	平坂集会所を再建し盆踊り大会 を復活させる	130,000 円
うららサロン	地域コミュニティうららサロンの 活動継続のための整備	150,000 円
大原ハイツ復興の会	大原ハイツ復興の会	500,000 円
NPO 法人広島県森林管理協会	災害対応資機材及び防災用具準 備	500,000 円
兼広町内会	兼広集会所を再建し地域力を強 める活動	120,000 円
三原市小坂町防災会	避難所充実事業・避難者誘導安 全確保事業	330,000 円
川上小学校区住民自治協議会	防災用具備品の整備	500,000 円
NPO 法人きらら会	非常災害時の受入設備の充実	500,000 円

市飯田区	災害対応必要資機材の整備	100,000 円
和木 自主防災協議会	そなえるコース	1,000,000 円
広島市防災士ネットワーク	今年の土砂災害・南海地震に備える	350,000 円
社会福祉法人 尾道市社会福祉協議会	災害に備えた資機材の保管	300,000 円
NPO 法人障害者生活支援センター・てごーす	防災対策用品整備事業	660,000 円
船木地域支援センター	船木地区の防災拠点としての整備と自主防災組織強化	500,000 円
社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会	教訓と経験を活かして備える事業	420,000 円

■平成 30 年 7 月豪雨災害ひろしまコミュニティ支援基金

【応募期間】 2019 年 12 月 1 日～2020 年 1 月 31 日

【応募結果】 応募件数：74 件／応募総額：36,100,000 円

【選考結果】 67 プロジェクト／総額：3,250,000 円

コース	応募件数	応募総額	採択件数	採択総額
(A) 常日頃の活動 応援コース	40 件	1,950,000 円	36 件	1,750,000 円
(B) 災害に そなえるコース	34 件	1,660,000 円	31 件	1,500,000 円
合計	74 件	3,610,000 円	67 件	3,250,000 円

■その他の支援活動等

- 県内 NPO 団体の安否確認、災害支援関連情報の収集・発信
- 岡山県・愛媛県の関係団体との連携（支援活動、支援金募集）
- 活動団体の支援を行う関係機関（JVOAD、JPF、全国社会福祉協議会、中央共同募金会ほか）との連携
- NPO・企業・市民と連携した物資支援（幼児服、女性用衣類、食品ほか）
- ジャパン・プラットフォーム（JPF）および全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）との協働事業「西日本豪雨被災者に対する支援調整と 3 県地域災害ネットワーク構築・強化」の締結。
- ボラ写 PROJECT との連携、「ボラ写展 in 広島」の開催協力。
- 各地域の復興活動の支援（仮設住宅、安浦町夏祭りほか）
- 行政有志職員勉強会（熊野町、坂町、広島市安芸区）、板書ボランティア養成講座、地域支え合いセンタースタッフ向け研修等の開催。

3) 事業総括（今後の課題）

○自助・共助・公助の見直しと再構築

- * 行政が新しくできたこと（民地の土砂撤去）と限界（行政の受援力）
- * 自律型の地域ボランティアセンター
- * 民間の力でどこまでやるのか（地域やNPOの疲弊、アドボカシー）

○実践（復旧・復興支援、平時の活動）を通じたネットワーク構築

- * 復旧・復興支援を通じた関係構築と経験知の伝承
- * 災害分野の関係者だけではないネットワーク
- * 平時の様々な機会における関係構築や学習機会
- * これまでの経験を今後の防災・減災につなげる取組

○中間支援組織・機能の拡充

- * 三者連携（行政、社協、民間）の推進
- * 中間支援“組織・機能”への支援
- * 国・広域エリア・県・市町レベルの中間支援組織・機能の連携

2020年度 事業報告書

<目次>

2020年度事業報告及び決算報告	・・・	1
Ⅰ トピック	・・・	1
Ⅱ 組織運営	・・・	8
Ⅲ 事業運営	・・・	11
Ⅳ 決算報告	・・・	38



2020 年度事業報告及び決算報告

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

I トピック

1. 重点事業

(1) 新型コロナウイルス対策支援事業

【実施結果】

NPO のための新型コロナウイルス対策に係る各種業務…

情報収集：**89** 件／支援施策、自治体からのお知らせ、助成金等

アンケート調査：**2** 件／広島県、全国

情報発信：**93** 件／ホームページ、Facebook、メール案内等

相談対応：**112** 件／専用電話、FAX、メール、面談等

ネットワーク：**71** 団体／CIS（「新型コロナウイルス」NPO 支援組織社会連帯）

政策提言：**3** 件／広島県、広島市、NPO 議員連盟

助成金配分：**50,000,000** 円／中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金等活用事業 2020 年度コロナ枠、17 団体（うち広島県 3 団体）50,000,000 円（うち広島県 10,500,000 円）

資金調達：**280,900** 円／47 都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金

メディア掲載：**5** 件／中国新聞、四国新聞

【実施内容】

①NPO 向けの感染対策や支援に関する情報の収集・発信

省庁・自治体・助成財団等から NPO 向けの支援施策や助成金等の情報を収集し、ホームページ・Facebook・メール案内を通して発信した。

<ひろしまNPOセンターのホームページに設置した特設ガイド（下記太枠部分）>

特定非営利活動法人
ひろしまNPOセンター

ひろしまNPOセンターとは ▶ 入会案内 ▶ 総合お問合せ

NPOとは NPOの皆様へ 企業/団体の皆様へ 社会貢献に興味のある皆様へ 大学/教育関係の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策 NPO向け情報 *ここをCLICK!*

**NPO法人のための
新型コロナウイルス感染症対策
相談窓口のご案内**

TEL **090-3372-2149** (平日 9:00~18:00)

FAX **082-511-3179**

E-mail **info@npoc.or.jp**

来訪 **ひろしまNPOセンター** (平日 9:00~18:00/要予約)

広島市「NPO法人の相談・支援事業」 受託運営:特定非営利活動法人NPOセンター

企業/団体の皆様へ 地域/社会貢献に興味のある皆様へ 大学/教育関係の皆様へ

ひろしまNPOセンターの取り組み 県内NPO法人データ検索

「活動分野」や「地域」など

CANPAN
もみじコミュニティ認証団体プロダクト一覧
CANPANに登録し、もみじコミュニティの認証マークを付与された団体のブログを紹介しています。

2020/12/07 [NPO法人 さとうみね協会]
大島干潟生き物調査隊を開催しました!

2020/12/04 [広島のフリースクール木のねっこ]
想いで繋ぐ共生

2020/12/03 [広島のフリースクール木のねっこ]
12/20(土)12/21(日)木のねっこ冬ふえす。共生カ
ラブル町内会

2020/12/03 [広島のフリースクール木のねっこ]
多様なお客さま

2020/12/02 [広島のフリースクール木のねっこ]
師走のミーティング

イベント・セミナー情報

地域・分野から調べる カレンダーから調べる

新着情報

- 市民活動団体運営支援講座「紙とペンを使って伝えてみよう」
- ひろしまSDGs交流会(第6回)
- 2021年度地球環境基金助成金説明会 for中国地方
- ぼうさいくたい2020セッション

②アンケート調査

□2020年3月31日(火)~2020年4月10日(金)に、広島県内のNPOを対象として、「新型コロナウイルス感染症対策に係るNPO等支援のための緊急アンケート調査」を実施し、132件(うちNPO法人は91団体)の回答を得た。調査結果から、新型コロナウイルス感染症がNPOや地域等に大きな影響を及ぼしていることと、「団体・法人の経営」「事業・活動の運営」「地域・住民」の課題を把握した。

□全国のNPO支援センターと連携して、2020年6月30日~8月14日に全国のNPO向けのオンライン調査「新型コロナウイルス感染拡大への対応及び支援に関するNPO緊急アンケート」を行い、569組織から回答を得た。とりまとめた報告書を基にNPO議員連盟や関係省庁に制作提言すると共にマスコミに情報提供した。

③相談対応

□広島市からの委託事業「NPO法人の相談・支援事業」を通して、専用の相談窓口を設置し、情報収集・発信や相談対応を実施した。

<コロナの影響を受けたNPO法人(法人格の有無や市内外の団体問わず)の相談対応実績>

時期	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
相談数	19	17	10	11	15	9	7	10	10	108

④ネットワーク

□松原が呼びかけ人の一人として、全国の NPO 支援センターと連携して CIS（「新型コロナウイルス」NPO 支援組織社会連帯）を立ち上げ、毎月の定例オンライン会議を通して全国各地の情報交流や支援策の検討等を行い、アンケート調査や政策提言等を実施した。

⑤政策提言

□アンケート調査結果を基に、「新型コロナウイルスの影響による NPO 及び多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書」を 4 月 21 日（火）に広島県知事に提言し、その結果として補正予算で「NPO 法人等活動継続支援金」が創設され、活用のための周知に協力した。また、4 月 30 日（木）に広島市長に提言し、市民活動推進課と協議の上、補正予算で「NPO 法人の相談・支援事業」を創設し、委託事業としてひろしま NPO センターが受託し、NPO への相談対応や支援を実施した。

□全国アンケート調査を基に、NPO 議員連盟や関係省庁に政策提言した結果、持続化給付金について NPO を対象とすることや寄付型 NPO の枠組み設置等、NPO 向けの支援施策の拡充を図った。

⑥資金調達

□全国のコミュニティ財団や NPO 支援センターと連携して、「47 コロナ基金（47 都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金）」を立ち上げ、コロナ禍による課題解決に取り組む NPO に助成するための資金調達を行っている。

⑦メディア掲載

□中国新聞（5/20）：新型コロナウイルスによる NPO の影響及び対応に係る取材記事新聞



□中国新聞（6/9）：広島県・広島市に要望書を提出した際の共同通信社配信記事



□四国新聞（10/21）：CIS全国アンケート結果の発信に係る取材記事



□中国新聞（11/3）：広島県の「NPO 法人等活動継続支援金」に係る取材記事

NPOなどに支援金 広島県、申請を受け付け

広島県は2日、新型コロナウイルスの影響で寄付金収入などが減ったNPO、一般社団、一般財団各法人に給付する活動継続支援金の申請を受け付け始めた。県内に事務所があり、社会貢献をしている団体が対象。2020年の1年間か任意の半年間の、寄付金や会費、助成金などの事業外収入について、前年同期比で50%以上減った場合に減少額を支給する。上限は30万円。

対象期間が始まった時点で設立から一年以上経っているのを条件とし、寄付金などを対象に加えられるようになった後の国の持続化給付金を受け取った団体は除く。県ホームページ（HP）内の専用ページなどにある申請書に、減額が分かる書類などを添えて、来年1月20日（消印有効）までに事務局へ郵送する。

NPO法人ひろしまNPOセンター（広島市中区）が県内のNPO法人を対象にした今春の調査では、回答団体の9割に当たる126団体が、収入減など新型コロナウイルスの影響を受けたと答えた。県民生活動課は「日頃から地域の課題解決に取り組む団体に活動を続けてもらう一助にしたい」としている。

事務局 ☎082(208)3210 平日午前9時～午後5時。
（赤江裕紀）

□中国新聞（11/21）：CIS 全国アンケート結果の発信に係る取材記事

NPOの経営苦境 コロナ禍 全国56%影響

新型コロナウイルス感染拡大のため、全国のNPO法人などの団体の約56%が経営に影響が出ていることが、団体を支援する各地のNPOセンターなどが合同で実施した緊急アンケートで分かった。約5%の団体が解散や活動休止を検討していることも判明。調査を呼び掛けた一人、「ひろしま」が回答した。

経営への影響が「出ている」と回答したのは319団体（56・1%）。「今後出ると思う」120団体（21・1%）▽「当面出ない」と思う49団体（8・8%）

影響が最も深刻な「収入の減少」は242団体、顧客や利用者たちの減少は117、会費・会員の減少は81、委託費など行政資金の減額は78、寄付金の減少は67

「当面影響は出ないと思う」17.9%、今後影響が出ると思う56.1%、分からない4.9%

新型コロナウイルス感染拡大によるNPOなどへの影響を説明する松原事務局長

松原事務局長は「NPOなどの団体は行政の手が届きにくい課題に向き合っており、地域社会のセーフティネットの役割がある。団体の窮状を多くの人に知ってもらうとともに、困っている団体は声を寄せてほしい」と話している。ひろしまNPOセンターの相談窓口 ☎090(3372)2149 平日午前9時～午後6時。（小林可奈）

【成果と課題】

成 果	<p>○情報発信や相談対応等によって、コロナ禍における会議や行事の運営方法、省庁・自治体の支援制度の創設や改善、NPO による支援制度の活用や資金獲得に繋がった。</p> <p>○アンケート調査やネットワークを通じて政策提言を実施し、その結果として NPO を対象とした支援施策が整備された。</p> <p>○一連の取組がメディアに多く掲載され、コロナ禍における NPO の状況について幅広く発信することができた。</p>
課 題	<p>○支援制度の対象とならない団体、活動自粛による社会サービスの停止、長引くコロナ禍の影響等から、多面的な支援制度や継続的な支援が必要である。</p> <p>○特に、IT 活用のためのノウハウや整備に係る資金調達、コロナ禍における災害対応への備え、NPO の置かれた状況に対するステークホルダーの理解等が求められている。</p>

(2) 新ビジョン・中長期計画づくり

【実施結果】

年間を通じて、事務局定例ミーティングや理事会、各事業所のスタッフとの協議を重ねて、新ビジョン・中長期計画（案）の構成や内容を作成した。

<新ビジョン・中長期計画（案）の構成>

- (1) 新ビジョン・中長期計画づくりにあたって
 - ①はじめに
 - ②ひろしま NPO センターのあゆみ
 - ③市民社会づくりの過去・現在・未来を見据えて
- (2) 新ビジョン・中長期計画
 - ①新ビジョン・中長期計画の枠組み
 - ②新ビジョン
 - ③中長期計画

【成果と課題】

成 果	<p>○ひろしま NPO センター及び全国の市民セクターのこれまで経緯や実績を整理しながら、課題の抽出や分析を行い、今後目指したいビジョンや具体的な中長期計画の概要を作成した。</p> <p>○組織内部の関係者で議論を重ねることを通して、組織運営する上での共通認識や相互理解、今後に向けた目標形成を育むことができた。</p>
課 題	<p>○当初は 2020～2029 年度を計画期間として設定していたが、今年度は新型コロナウ</p>

	<p>イルスの対応への業務を優先したため、計画期間を2021～2030年度に変更して検討を進めた。</p> <p>○また、組織内部で検討した内容について、年度後半に広島県で新型コロナの感染状況が悪化したことから、組織外部と協議する機会を設けることが難しかったため、計画（案）を基に2021年度にステークホルダーとの協議・検討の機会を設けてブラッシュアップと運用を図る。</p>
--	--

（3）新事務所・拠点整備事業

【実施結果】

広島市市民局市民活動推進課と協議を行い、広島市の方針やコロナ禍等の事情をふまえて、職会館共同事務所について1年間の延長を判断し、今年度も継続して運営を行った。ただし、2022年3月末を以って完全退去する予定。

また、一般社団法人教育ネットワーク中国や広島県等との連携事業によって運営している広島県民文化センターの「サテライトキャンパスひろしま」について、特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・広島からの相談により、2022年11月に広島で開催される「スペシャルオリンピックス2022広島」の大会事務局を共同運営する活用方法を検討した。

【成果と課題】

<p>成 果</p>	<p>○新ビジョン・中長期計画づくりと合わせて、新事務所・拠点整備の課題や構想について時間をかけて情報整理を行うことができた。</p> <p>○広島県民文化センターの大学連携室（サテライトキャンパスひろしま）について、当初は新事務所・拠点整備のために事業終了を検討していたが、スペシャルオリンピックス2022広島との連携により、大会事務局として活用する方針が決まった。</p>
<p>課 題</p>	<p>○中心市街地は家賃が高いが、コロナ禍の影響で空き物件が多く出てきているため、2021年度前期には具体的な移転先や機能について検討を行う必要がある。</p>

II 組織運営

1. 組織体制

(1) 会 員

正 会 員：58名・団体・社（個人・NPO：57名・団体、企業：1社）

協力会員：93名・団体（個人・NPO：97名・団体）

※2021年3月末時点

(2) 事務局

【職員数】

28名（常勤11名、非常勤17名）

【事務局運営スタッフ】

NO	氏 名	勤務形態	役 職	役 割
1	松原 裕樹	常勤	専務理事、事務局長	事務局統括、業務運営責任者
2	山本 祐二	常勤	常務理事	総務・経理、業務運営責任者
3	増田 勇希	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
4	香川 恭子	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
5	松村 涉	常勤	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者

【業務運営スタッフ】

NO	事業名	事業所	スタッフ数
1	令和2年度中国環境パートナーシップオフィス（EPOちゅうごく）管理運営等業務	広島市	常勤：4名、非常勤1名
2	JICA中国 開発教育支援事業	東広島市	非常勤1名
3	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業（中区、南区）	広島市	常勤2名、非常勤15名

(3) 役 員

役 職	氏 名	所 属	区 分
代表理事	安藤 周治	特定非営利活動法人ひろしまね 理事長	県北部
	中村 隆行	広島経済大学 スポーツ経営学科 准教授、興動館プロジェクトセンター長	NPO
副代表理事	三好 久美子	公益財団法人ひろしまこども夢財団 理事長	県東部

	山本 一隆	中国新聞社会事業団 理事長	県西部
専務理事	松原 裕樹	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 事務局長	NPO
常務理事	山本 祐二	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
理事	金谷 信子	広島市立大学国際学部 教授	学識経験者
	児玉 宏	特定非営利活動法人コーチズ 理事	NPO
	西本 尚士	広島商工会議所 総務部長	経済団体
	茶山 ちえ子	特定非営利活動法人 WAC 広島ふれあいセンター 理事長	NPO
	平尾 順平	特定非営利活動法人ひろしまジン大学 代表理事	NPO
	遠山 勇希	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
監事	久笠 信雄 赤羽 克秀	弁護士 公認会計士・税理士	

2. 通常総会の開催

(1) 第21回通常総会

日 時	令和元年6月13日(土) 10:00~12:00
場 所	ひろしまオフィスセンター (広島市南区荒神町3-35)
出席者	正会員：77名(うち、会場：9名、オンライン：2名、書面評決：56名、議長等への委任：13名)
議 題	1) 2019年度事業報告及び決算報告(案) 2) 2020年度事業計画及び活動予算(案) 3) 役員を選任 4) 新ビジョン・中長期計画
備 考	オンライン会議システム「Zoom」を併用した開催

3. 理事会の開催

(1) 第1回理事会

日 時	令和2年5月29日(金) 16:00~18:00
場 所	ひろしまNPOセンター

	(広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2F 会議室)
出席者	理事：8名、監事：1名
議題	1) 2019年度事業報告及び決算報告 2) 2020年度事業計画及び活動予算 3) 役員を選任 4) 新ビジョン・中長期計画の検討

(2) 第2回理事会

日時	令和2年12月8日(火) 16:30~18:00
場所	ひろしまNPOセンター (広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2F 会議室)
出席者	理事：7名、監事：1名
議題	1) 2020年度事業の進捗報告及び決算予測

(3) 第3回理事会

日時	令和3年3月26日(金) 16:30~18:00
出席者	理事：7名、監事：2名
場所	ひろしまNPOセンター (広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2F 会議室)
議題	1) 2020年度事業の進捗報告及び決算予測 2) 会員規程(案) 3) 就業規則及び賃金規程(案)

4. その他

(1) 認定NPO法人の認定申請

認定NPO法人の認定申請に係る書類を所轄庁である広島市に提出し、審査が行われている。

III 事業運営

1. 事業概要

区分	事業名	事業内容	事業期間	実施場所	収益形態
(1) 情報収集提供事業					
継続	情報収集・発信	NPO 支援に関するイベント・助成金・施策等の情報収集や、ホームページ・Facebook・ニュースレター等を通じた発信。	年間	全国	自主財
継続	データベース構築・活用	各地の団体・取組・課題等の情報の記録・整理や、事業推進のためのデータ活用。	年間	全国	自主財
(2) 各種団体の運営支援事業					
①資金循環システムの構築					
継続	市民ファンドとの連携	公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしまと連携した NPO の資金調達支援。	年間	県内	自主財
継続	ひろしま NPO サポート倶楽部	ゆうちょ銀行の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
継続	ろうきん NPO 寄付システム	中国労働金庫の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
新規	FAAVO 広島	購入型クラウドファンディングを株式会社エネルギア・コミュニケーションズと共同運営。	年間	県内	自主財
②組織基盤強化					
継続	イーパーツリユース PC 寄贈プログラム	認定 NPO 法人イーパーツと連携した、企業リユース PC の NPO への寄贈仲介。	年間	県内	自主財
継続	NPO 事務局センター・NPO 事務支援カンファレンス	全国の NPO 支援センターと連携した、NPO の事務・経営支援。	年間	全国	自主財・利用料
継続	什器備品等の寄贈プログラム	県内企業等から寄贈された什器備品等の NPO への寄贈仲介。	年間	全国	自主財
③人材育成・ノウハウの提供					
継続	課題解決型長期インターンシップ「ネルコラボ」	有限会社 S-Produce. と連携した、大学生の長期インターンシップや企	年間	県内	自主財

		業・社会人との交流機会の創出。			
継続	ソーシャルビジネス支援ネットワークひろしま	日本政策金融公庫・広島銀行と連携したソーシャルビジネス推進のための相談対応・セミナー等の実施。	年間	県内	自主財
継続	地域課題解決ネットワーク	広島市・経済団体等と連携した、UIJターン・創業・事業継承の支援。	年間	県内	自主財
継続	廿日市市市民活動相談業務	廿日市市市民活動センターの相談窓口業務の支援。	年間	廿日市市	受託料
継続	「福山市まちづくりサポートセンター」ボランティア・NPO等相談業務	福山市まちづくりサポートセンターの相談窓口業務の支援。	年間	福山市	受託料
新規	SDGs 体験プログラムメニュー開発業務委託	体験型教育旅行におけるSDGsプログラムの開発及び民泊家庭の人材育成。	9～3月	庄原市	受託料
④拠点提供					
継続	NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業	広島市と連携した職会館の共同事務所の運営やNPOのインキュベーション支援。	年間	広島市	自主財・利用料
継続	サテライトキャンパスひろしま	教育ネットワーク中国と連携したサテライトキャンパスひろしまの運営や会議室を活用した交流支援。	年間	広島市	自主財
(3) 調査・研究・政策提言事業					
継続	中国5県中間支援組織連絡協議会	中国5県のNPO支援センターと連携した情報・ノウハウ・人材交流や、中国5県の共通課題を解決するための協働取組の展開。	年間	中国地方	自主財
(4) 啓発・研修事業					
継続	JICA 中国開発教育支援事業	JICA 中国と連携した国際協力の担い手育成のためのプログラム企画や施設展示、広報等。	年間	中国地方	受託料
継続	Green Gift 地球元気プログラム2019-2020	東京海上日動火災保険株式会社・日本NPOセンター等と連携した、親子向けの環境保全活動の伴走支援。	4～9月	中国地方	受託料
継続	Green Gift 地球元気プログラム2020-2021	東京海上日動火災保険株式会社・日本NPOセンター等と連携した、親子向けの環境保全活動の伴走支援。	10～3月	中国地方	受託料
新規	JICA 中国青年研修「ミャンマーコース」	JICA 中国と連携したミャンマーの青年行政官の訪日研修の企画運営。	冬時期	中国地方	受託料

継続	令和2年度中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）管理運営等業務	環境省との協働による、中国地方の環境パートナーシップ拠点・中国地方ESDセンターの運営や協働取組・ESDに関する事業の推進。	年間	中国地方	受託料
継続	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局	広島県・市町・環境団体等と連携した県民参加の森づくり運動の実行委員会事務局。	年間	県内	受託料
継続	2021年度地球環境基金助成金説明会の開催に係る業務（中国地区）	地球環境基金の助成金説明会（中国地区）の開催及び助成金審査に係る情報提供等。	年間	中国地方	受託料
（5）ネットワーク・連携推進事業					
継続	相談対応業務	NPO・ボランティア・市民活動に関する各種相談の対応。	年間	全国	自主財
継続	中国 NGO ネットワーク	中国地方の NGO の活動発展や連携促進のための事業やネットワーク事務局の運営。	年間	中国地方	自主財
継続	広島 NGO ネットワーク	広島県の NGO の活動発展や連携促進のための事業やネットワーク事務局の運営。	年間	県内	自主財
継続	ひろしま未来交流会	立場・分野・地域・世代をこえて広島を語り合う交流会の企画運営。	年間	県内	自主財
継続	東日本大震災県外自主避難者等への情報支援事業	中国5県のNPO支援センターやひろしま避難者の会アスチカと連携した避難者への支援活動。	年間	中国地方	自主財
（6）子育て・子育て支援に関する事業					
継続	広島市公募型常設オープンスペース「つばさ（中区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（中区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財・補助金・利用料
継続	広島市公募型常設オープンスペース「いいね（南区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（南区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財・補助金・利用料
（7）その他目的を達成するために必要な事業					
継続	委員・講師等の派遣	各主体から依頼のある委員会・協議会・セミナー等への委員・講師派遣。	年間	全国	自主財・謝礼金
新規	SDGs 推進のための事業	広島県（SDGs 未来都市）や各主体と連携した SDGs 推進のためのネッ	年間	全国	自主財

		トワーク形成や交流機会、協働取組等の実施。			
継続	協力・後援・連携事業の推進	各主体から依頼のある会議・行事等への参加や開催協力。	年間	全国	自主財 ほか
新規	新型コロナウイルス対策支援事業	新型コロナウイルスの影響にあるNPOの支援に係る調査・情報発信・相談対応・政策提言、全国や県内の各主体と連携した支援の実施。	年間	全国	自主財・ 寄付金
継続	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2019年度通常枠	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
新規	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2020年度コロナ枠	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
新規	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2020年度通常枠	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
新規	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2020年度コロナ枠(2期)	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
継続	平成30年7月豪雨災害支援活動	行政・社協・NPO等と連携した西日本豪雨災害の復旧・復興のための活動支援や関係機関との協働事業の展開。	年間	県内	自主財・ 寄付金
新規	令和2年度熊本豪雨災害支援活動	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議等と連携した、令和2年度熊本豪雨災害の支援活動。	年間	県外	自取材・ 助成金

2. 実施内容

(1) 情報収集提供事業

①情報収集・発信

NPOに係る活動や支援の状況、主体間ネットワークの形成に資する情報等を収集した。収集にあたっては、NPO・行政（国、県、市町村）・企業等の報道発表資料・関連刊行物・報告書、必要に応じマスコミやインターネットの情報、メルマガ等を活用するとともに、関係団体・機関との情報交流を実施した。

また、ホームページを通して、広島県内で実施される各主体の行事、補助金・助成金情報等、NPO活動に関わる団体等の基盤強化、連携強化に資する情報を発信すると共に、Facebookページを活用して主催行事や協力事業、活動状況を中心に情報発信を展開した。

<ホームページ (<http://npoc.or.jp/>) > <Facebookページ (<https://www.facebook.com/hiroshima.npoc>) >



<ニュースレター等の発行>

区分	発行時期	掲載内容
ニュースレター -4月号	2020年4月	○新型コロナウイルス感染症対策に関するNPO向け情報 ○緊急アンケートのお願い
お知らせ	2020年6月	○NPO法人向けQ&A集（新型コロナウイルス感染症の影響に伴うよくある質問） ○2020年度ひろしまNPOセンター子育て部門のご案内 ○家庭訪問型子育て支援ホームスタート
ニュースレター -8月号	2020年8月	○NPO法人のための新型コロナウイルス感染症の相談窓口 ○国・自治体の支援施策 ○助成金情報 ○認定NPO法人等の制度情報

		○コロナにおける災害支援 ○NPO 寄付募集お役立ち情報「つながる募金」
ニュースレター ー11月号	2019年11月	○事務局長あいさつ * 全国の被災状況 * ボランティア不足に対して * 広島から全国への恩送り ○災害復興活動のご報告 ○書籍のご紹介 ○安全点検のご案内
お知らせ	2021年1月	○新型コロナウイルス感染症対策 NPO 向け情報 ○中国5県休眠預金等活用事業2020 オンライン公募説明会 ○中国ろうきん NPO 寄付システム 2020年度寄付金配分団体募集要綱 ○2020年度ひろしま NPO サポート倶楽部 寄付金配分団体募集のご案内 ○KOSODATE NPO TIMES
お知らせ	2021年3月	○中国5県コロナ対応緊急支援助成(第2期) オンライン公募説明会 ○新年度(2021年度)以降の広島県民文化センター6F 会議室の貸出終了について

(2) 各種団体の運営支援事業

《資金循環しいシステムの構築》

①ひろしま NPO サポート倶楽部

郵便貯金と連携した寄付募集及び NPO 法人への助成金配分を行った。

助成団体：7 団体

助成総額：650,000 円

<助成団体>

NO	団体名	所在地	助成額
1	NPO 法人アニマルセラピー協会	東広島市	100,000 円
2	NPO 法人ひろしまレクリエーション協会	広島市	100,000 円
3	NPO 法人広島水球クラブ	広島市	50,000 円

4	NPO 法人コーチズ	広島市	100,000 円
5	NPO 法人広島県森林管理協会	三次市	100,000 円
6	NPO 法人らぼーる	呉市	100,000 円

②ろうきん NPO 寄付システム

中国労働金庫の NPO 寄付システムと連携した寄付募集及び NPO 法人への助成金配分を行った。

助成団体：6 団体

助成総額：300,000 円

<助成団体>

NO	分野	団体名	所在地	助成額
1	保健・医療・福祉	NPO 法人 nicoloop	広島市	50,000 円
2	保健・医療・福祉	NPO 法人ひろしまピンクリボンプロジェクト	広島市	50,000 円
3	学術・文化・芸術・スポーツ	NPO 法人福山ブルガリア協会美術館	福山市	50,000 円
4	子どもの健全育成	NPO 法人いきいきアクティビティサービス	安芸郡	50,000 円
5	子どもの健全育成	NPO 法人はびままクローバー	尾道市	50,000 円
6	環境保全	NPO 法人グリーンラインを愛する会	福山市	50,000 円

③FAAVO 広島

「FAAVO 広島 by CAMPFIRE」を株式会社エネルギア・コミュニケーションズと共同運営。3 件のプロジェクトについてクラウドファンディングの伴走支援を行った。

クラウドファンディング伴走支援：3 件

支援プロジェクト金額：2,557,209 円

<FAAVO by CAMPFIRE の Web サイト (<https://camp-fire.jp/faavo>)>

 <p>【TJ Hiroshima特別号】地元誌だから出来る！流川エリア大特集を作りたい</p> <p>まちづくり・ TJ Hiroshima</p> <p>SUCCESS</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現在</th> <th>支援者</th> <th>残り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,107,000円</td> <td>165人</td> <td>終了</td> </tr> </tbody> </table>	現在	支援者	残り	1,107,000円	165人	終了	 <p>【広島発のインターンシップ】就活をもっと楽しく、成長できる場所に！ネルコラゴ</p> <p>まちづくり・ hagii</p> <p>SUCCESS</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現在</th> <th>支援者</th> <th>残り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>501,209円</td> <td>49人</td> <td>終了</td> </tr> </tbody> </table>	現在	支援者	残り	501,209円	49人	終了	 <p>被爆ポンプを守りたい～絵本「hibakopon」をこどもたちへ～</p> <p>書籍・雑誌出 kodamahitomi</p> <p>SUCCESS</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現在</th> <th>支援者</th> <th>残り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>949,000円</td> <td>88人</td> <td>終了</td> </tr> </tbody> </table>	現在	支援者	残り	949,000円	88人	終了
現在	支援者	残り																		
1,107,000円	165人	終了																		
現在	支援者	残り																		
501,209円	49人	終了																		
現在	支援者	残り																		
949,000円	88人	終了																		

《組織基盤強化》

①NPO 事務局センター・NPO 事務支援カンファレンス

全国のNPO支援センターと連携したNPOの事務・経営支援。新型コロナウイルス対応に係るNPOの総会や事業報告、定款変更の解説動画を発信した。

<NPO 事務局センターの Web サイト (<https://npo-office-support.jp/>)>



NPOの事務を交えます コロナ対策 全国NPO事務局センター 活動支援 NPO事務局センター NPMO(株)設立

NPO経営の頼れる味方。
全国NPO事務支援カンファレンス

全国各地の「NPO事務局センター」が、それを支える「NPO事務支援カンファレンス」が、全国のNPOの事務や経営をサポートします。

NPOで働く人の会（共済制度）、会員登録中

地域での活動のサポートは、地域事務局センターの協力を得て行っています。

地域のNPO事務支援センターを探す

【緊急公開】Covid-19（新型コロナウイルス感染症）対応
の総会 ①事業報告 ②定款変更 の動画を公開しています。

《人材育成・ノウハウの提供》

①廿日市市市民活動相談業務

廿日市市市民活動センターの相談業務の支援。団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活

動運営等の相談対応を行った。

実施概要：毎月第2・4木曜日

②「福山市まちづくりサポートセンター」ボランティア・NPO等相談業務

福山市まちづくりサポートセンターの相談業務の支援。団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応を行った。

実施概要：毎月第3木曜日

《拠点提供》

①NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業

広島市と連携した幟会館の共同事務所の運営。7団体の入居及び3団体のレターボックスの管理運営を行った。

共同事務所入居団体：7団体

レターボックス利用団体：3団体

<入居団体>

NO	団体名
1	中国留学生会
2	企業経営研究塾（2020年12月退去）
3	ピアサポート子育て相談センター（2020年11月退去）
4	one dream
5	特定非営利活動法人 I PRAY
7	日韓企業・文化研究所

<レターボックス利用団体>

NO	団体名
1	特定非営利活動法人障害者年金ヘルプデスク
2	特定非営利活動法人日本インクルーシブ教育研究所
3	一般社団法人百人邑

(3) 調査・研究・政策提言事業

※新型コロナウイルス対策支援事業を含む。

(4) 啓発・研修事業

①Green Gift 地球元気プログラム

東京海上日動火災保険株式会社のCSR事業と連携した親子向けの環境保全活動(2団体)の伴走支援。ミズシマ・パークマネジメント・ラボラトリー(岡山県倉敷市)では未利用の商業施設跡地の空間再生、特例認定特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会(広島県安芸太田町)では、三段峡と体験活動の魅力を発信するPR動画制作(7本)を行った。

<ミズシマ・パークマネジメント・ラボラトリーの取組>



<三段峡-太田川流域研究会の取組>



②JICA 中国開発教育支援事業

本事業は、地域・市民の異文化理解、国際理解を高めるとともに、国際協力の担い手の育成を目的として、業務従事者1名がJICA中国内にデスクを構え、JICA中国を訪問する教育機関、市民団体向けの訪問プログラムの企画運営、高校生対象の夏季プログラム、管内展示等を実施した。

年間施設訪問数：約 **20** 件／小中高大学、社会人

高校生プログラム参加数：約 **40** 名／オンライン実施

館内展示内容：4半期ごとに展示更新を実施

広報事業：教育機関向けパンフレットの作成

③令和2年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務

環境省等との協働による中国地方の環境パートナーシップ拠点及び中国地方ESD活動支援センターの業務運営。SDGs未来都市である広島県と連携し、大学生が企業等を訪問してSDGsビジネスを可視化し発信するプロジェクト等をコーディネートした。

<広島県SDGsビジネスセレクトブック2020「Withコロナの社会へ向けたSDGsとビジネス～広島県における企業等のトランスフォーム～」>



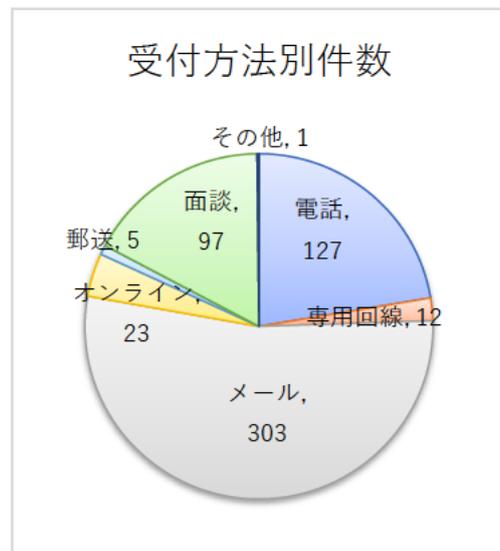
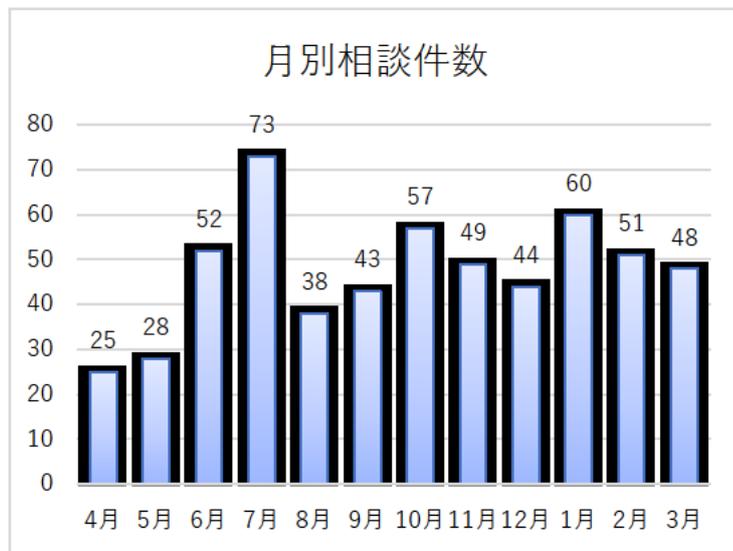
(5) ネットワーク・連携推進事業

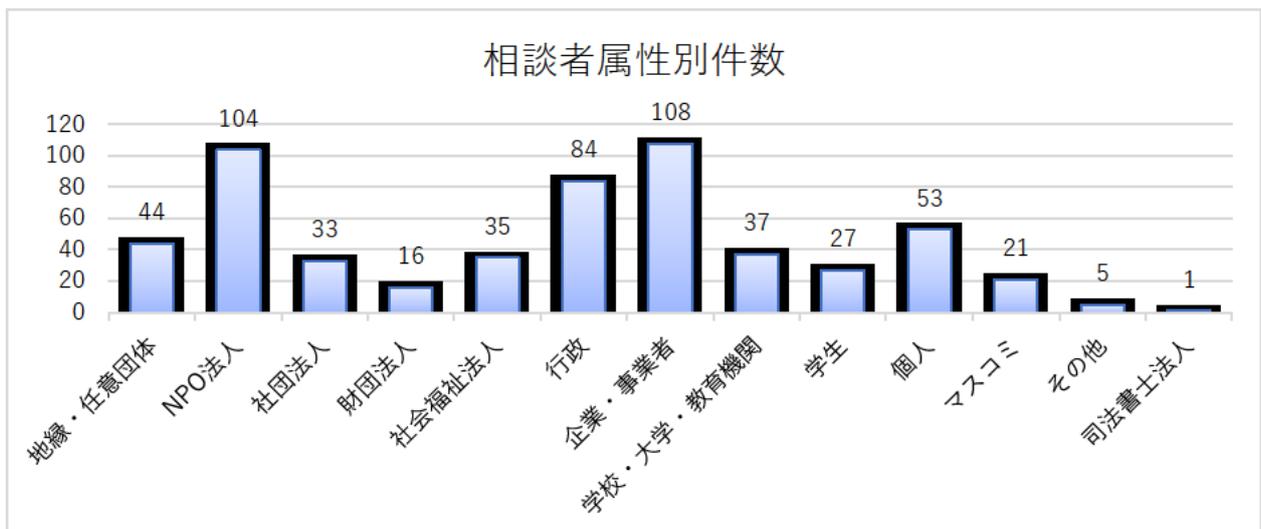
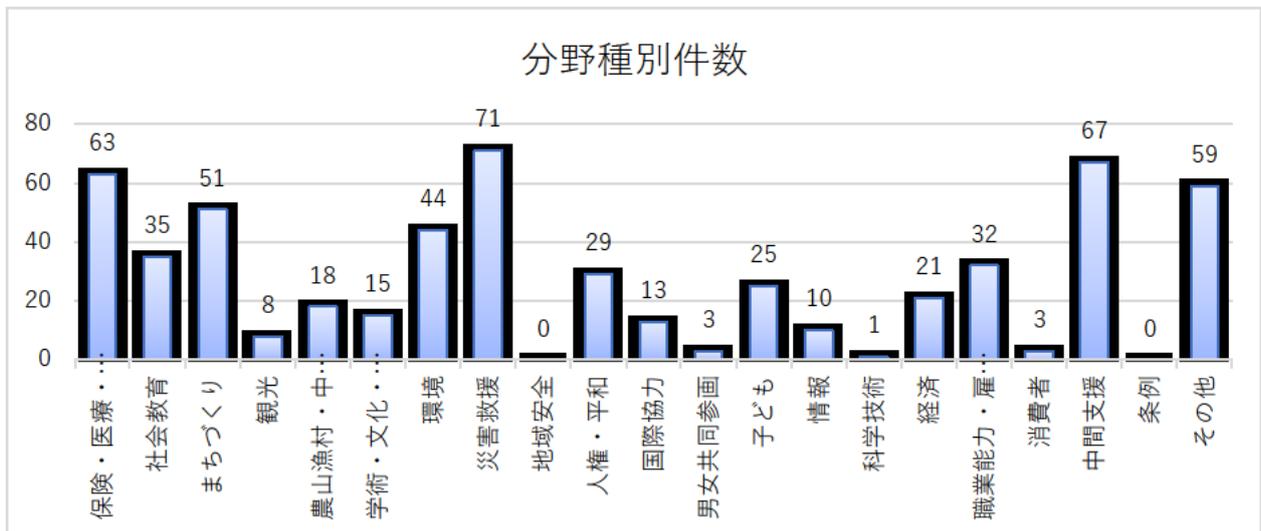
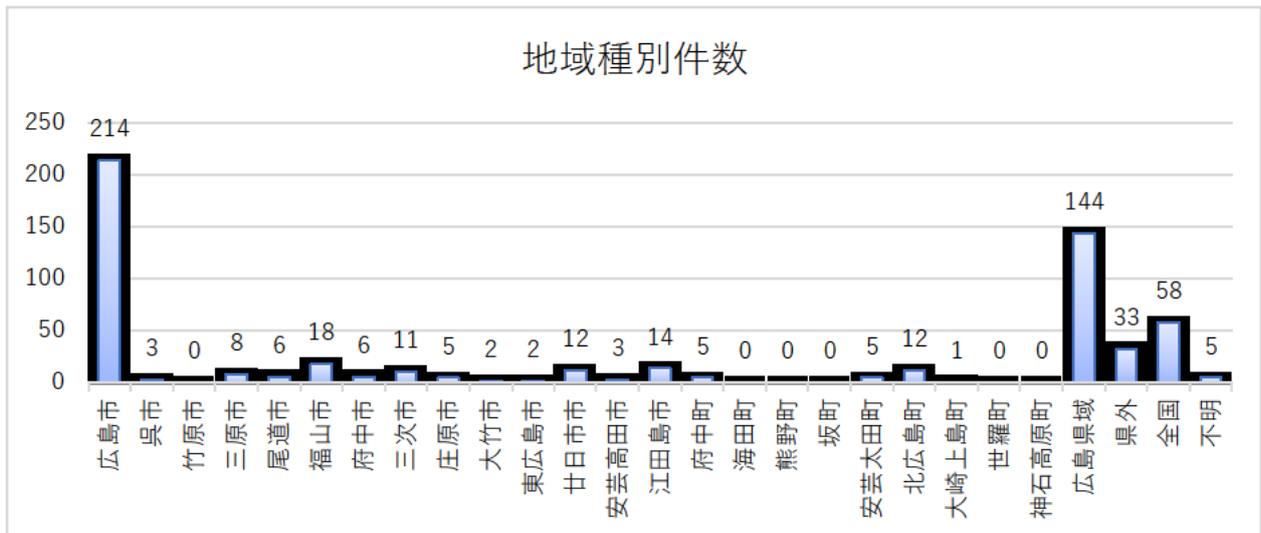
①相談対応業務

NPO・ボランティア・市民活動等に関する各種相談に対応した。

相談件数：568件

<相談対応の内訳>





②ひろしま未来交流会

立場・分野・地域・世代をこえて広島を語り合う交流会を開催（毎月第2金曜日）した。

実施回数：**10**回

参加者数：延べ**122**名

<実施概要>

回	日程	参加者数	おしゃべりテーマ
第70回	2020年 6月12日（金） 19:00～21:00	12名	コンビニ袋いくらなら買わないか？／広島の若者文化／コロナ後の広島×SDGs／非難されない飲み歩き方／熱中症対策
第71回	7月10日（金） 19:00～21:00	7名	マスクの日／オススメの本・映画／平和公園のレストハウス／夏を涼しく感じる方法／
第72回	8月7日（金） 19:00～21:00	10名	福山の名物／オンライン飲み会／広島の中山間地域／広島の人口減少／SDGs×税理士の裏話
第73回	9月11日（金） 19:00～21:00	13名	豊かな広島湾を残すために、人口ゴミを減らすには？／広島の原点／意外に知らない広島／Zoomの楽しさ／Zoomなどのオンライン面接・会議のトラブル／住んでみたい広島の土地
第74回	10月9日（金） 19:00～21:00	14名	広島のおいしい喫茶店・カフェ／本屋が成り立つには／コロナ禍における広島中心部の活性化／広島陸軍被服支廠跡地の活用／Zoomのできる新しいこと／新卒に求めること／県民性
第75回	11月13日（金） 19:00～21:00	13名	子どもがより本を読んでもらうために／100年後の広島の平和の話／にぎわいの活性化／中国地方の温泉／新卒の職員に与えられるもの／STU48の活用方法
第76回	12月11日（金） 19:00～21:00	12名	ソーシャルディスタンスのクリスマス会／西部リサイクルセンターに聞きました／移住したいランキング2位／GoToを使わずに賑わうまち・お店／カープの復活
第77回	2021年 1月15日（金） 19:00～21:00	8名	日赤の運営／オンラインクリスマス会の報告／コロナ後どうしたいか＋ベーシックインカム／コロナで儲ける方法／コロナ禍の広島の遊び／日米のAI+教育
第78回	2月12日（金） 19:00～21:00	15名	データサイエンスとヘルスケア／広島の本屋さんをどうにかしたい／福山市のイベントで販売するドリンクのアイデア募集／結婚式のあり方をどうするか／黒瀬

			の交通手段／商店街の活性化
第79回	3月12日（金） 19:00～21:00	18名	和紙ちぎり絵の伝承／高齢化社会におけるペット／新しい本屋の形／広島のカフェ事情／日用品が環境に及ぼす影響／地域活性化研究会／コロナ禍における本通りの治安の悪化／ペット×SDGs×災害

※2020年4・5月は新型コロナウイルス感染拡大に係る緊急事態宣言が発令されたため延期。

③東日本大震災県外自主避難者等への情報支援事業

ひろしま避難者の会「アスチカ」が実施する福島県外避難者生活再建支援拠点事業の「くらしによりそう情報マップ（広島版）」の制作協力を行った。

（6）子育て・子育て支援に関する事業

①広島市公募型常設オープンスペース「つばさ（中区）」

広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（中区）の運営や親子の交流機会等の支援を行った。

<子育て親子の交流の場の提供>

開設日数：156日

利用者数：3,640名

大人：1,794名／男性：70名、助成：1,724名

小人：1,846名／0歳児：587名、1歳児：876名、2歳児：295名、3歳児：68名、その他：20名

<子育てに関する相談・助言の実施>

相談対応件数：114件

生活に関すること：52件、育児等に関すること：21件、発育・発達に関すること：33件、その他：8件

<地域の子育てに関する情報提供>

提供方法：スペース内に掲示、配架、ホームページへの掲載、LINE、インスタグラムなど

提供内容：中区の子育てサークル、健康相談、幼稚園・保育所の情報、マザースハローワーク、助

産師会のオンライン相談、新型コロナに関する情報、市民と市政に掲載されている情報、防災に関する情報（備蓄、避難、避難場所など）

<子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施>

実施実績：43 回

講習会：43 回

利用者数：894 名／大人：435 名、小人：459 名

<ホームスタートによる訪問支援活動>

利用者数：322 名／大人：145 名、小人：177 名

<出張ひろばの実施>

開設日数：17 日

利用者数：370 名

大人：186 名（男性：4 名、女性：182 名）

小人：184 名（0 歳児：112 名、1 歳児：68 名、2 歳児：4 名）

<一時預かり事業の実施>

実施日数：178 日

預かり児童数：337 名

②広島市公募型常設オープンスペース「いいね（南区）」

広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（南区）の運営や親子の交流機会等の支援を行った。

<子育て親子の交流の場の提供>

開設日数：172 日

利用者数：5,581名

大人：2,692名（男性：148名、助成：2,543名）

小人：2,889名（0歳児：1,071名、1歳児：1,277名、2歳児：407名、3歳児：88名、その他：46名）

<子育てに関する相談・助言の実施>

相談対応件数：149件

生活に関すること：70件、育児等に関すること：19件、発育・発達に関すること：42件、その他：18件

<地域の子育てに関する情報提供>

提供方法：スペース内に掲示、配架、ホームページへの掲載、LINE、インスタグラムなど

提供内容：南区の子育てサークル、健康相談、幼稚園・保育所の情報、マザースハローワーク、助産師会のオンライン相談、新型コロナに関する情報、市民と市政に掲載されている情報、防災に関する情報（備蓄、避難、避難場所など）

<子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施>

実施実績：52回／交流会：3回、講習会：49回

利用者数：925名／大人：455名、小人：470名

<ホームスタートによる訪問支援活動>

利用者数：72名／大人：38名、小人：34名

(7) その他目的を達成するために必要な事業**①委員・講師等の派遣**

担当者	実績
安藤 周治	【理事長】 特定非営利活動法人ひろしまね 【理事】 作木観光協会副会長 【理事】 三次広域商工会 【理事】 一般社団法人 みよし観光まちづくり機構

	<p>【評議委員】公益財団法人マツダ財団</p> <p>【評議員】公益財団法人コミュニティ未来創造基金ひろしま</p> <p>【委員】広島県河川整備基本方針等検討委員会</p> <p>【幹事】ひろしま国際交流サミット</p> <p>【委員】さとやま未来円卓会議</p> <p>【就任】山口県 中山間地域コーディネーター&アドバイザー</p> <p>【副会長】ローカルマニフィスト中国運営委員</p> <p>【大使】北海道むかわ町大使</p> <p>【就任】総務省地域力創造アドバイザー</p> <p>【評価委員】総務省 過疎地域等自立活性化交付金事業</p> <p>【座長】国土交通省 水源地域支援ネットワーク運営会議</p> <p>【審査委員長】国土交通省 水の里の旅コンテスト</p> <p>【理事】コミュニティ政策学会</p> <p>【認定】内閣府地域活性化伝道師</p> <p>【評価委員】総務省集落ネットワーク圏形成事業</p> <p>【委員】国土交通省新たな担い手等による水源地域在り方検討会</p> <p>【就任】公益社団法人青少年育成広島県民会議 青少年育成指導者</p>
中村 隆行	<p>【委員】広島市男女共同参画推進センターゆいぽーと</p> <p>【運営委員】広島市ボランティア情報センター</p> <p>【委員】呉市市民協働推進委員会</p> <p>【委員】江田島市まちづくり助成金審査委員会</p> <p>【審査委員】JICA 草の根事業外部審査委員会</p> <p>【副理事長】自治労 自治研究センター</p> <p>【委員】三原市空き家対策審議会</p> <p>【委員】三原市文化芸術未来検討委員</p> <p>【共同代表】日本ファンドレイズ協会中国チャプター</p> <p>【評議員】公益財団法人広島県男女共同参画財団</p> <p>【委員】第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会</p> <p>【委員】広島県共同募金会社会課題解決プロジェクト広域テーマ募金検討委員会</p> <p>【評議員】広島県社会福祉協議会</p> <p>【評議員】広島市社会福祉協議会</p> <p>【副会長】広島県障がい（児）者と手をつなぐ県民会議</p> <p>【幹事】中国地域コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス協議会</p> <p>【評価委員】岡山県NPO ボランティア支援センター</p> <p>【認定】内閣府地域活性化伝道師</p>
三好 久美子	<p>【理事長】公益財団法人ひろしまこども夢財団</p> <p>【委員】広島県国土利用計画審議会</p> <p>【委員】尾道市協働のまちづくり委員会</p>

	<p>【監事】公益社団法人青少年育成広島県民会議</p> <p>【委員】広島県食育推進会議</p> <p>【副会長】広島県博物館協議会</p> <p>【委員】広島県農村環境情報協議会</p>
児玉 宏	<p>【役員】広島県プラチナ世代支援協議会</p> <p>【委員】広島市共同労働審査委員会</p>
松原 裕樹	<p>【認定】内閣府地域活性化伝道師</p> <p>【顧問】特定非営利活動法人岡山NPOセンター</p> <p>【監事】特定非営利活動法人環境パートナーひろしま</p> <p>【監事】一般社団法人 Hello Hiroshima</p> <p>【幹事】ひろしま平和推進ネットワーク協議会</p> <p>【登録】広島県環境保全アドバイザー／広島県</p> <p>【登録】ひろしま里山チーム500／広島県</p> <p>【副議長】広島市災害ボランティア活動連絡調整会議／広島市</p> <p>【審査員】RCCラブ・グリーン賞／中国放送</p> <p>【審査員】2020年こくみん共済coop地域貢献助成／全国労働者共済生活協同組合連合会</p> <p>【サポーター】SOERU第4回中国地域女性ビジネスプランコンテスト／一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会</p> <p>【委員】広島県環境審議会／広島県</p> <p>【委員】三原市市民協働推進委員会／三原市</p> <p>【委員】広島県社会福祉協議会ボランティア活動・福祉教育推進委員会／（社福）広島県社会福祉協議会</p> <p>【委員】地域の教育的課題に対応するプログラム実行委員会／（独法）国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家</p> <p>【実行委員】自然体験活動フォーラム in 江田島実行委員会</p> <p>【講師】ぼうさいこくたい2020セッション／広島県災害復興支援始業連絡会</p> <p>【講師】福山未来共創塾2020／福山市</p> <p>【講師】ボランティア論／広島市立大学</p> <p>【講師】国立江田島青少年交流の家職員SDGs研修／（独法）国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家</p> <p>【講師】熊野町・坂町有志職員SDGs勉強会／自治体有志職員</p> <p>【講師】企業向けSDGsWEBセミナー／（公社）日本青年会議所 中国地区 広島ブロック協議会</p> <p>【講師】シニアライフコーチャー養成講座／（特非）中国シニアライフアドバイザー協会</p> <p>【講師】広島発の次世代型インターンシップ「ネルコラボ」（第2回）／（有）S-Produce.</p>

	<p>【講師】 プラチナ大学（三原市校）／（社福）広島県社会福祉協議会</p> <p>【講師】 中海の自然再生と循環社会の再構築／（特非）自然再生センター</p> <p>【講師】 総合的な探究の時間（1・2年生）／広島県立安西高等学校</p> <p>【講師】 ボランティア論／安田女子大学</p> <p>【講師】 探究活動（中学2・3年生、高校1年生）／安田女子中学・高等学校</p> <p>【講師】 MIC 座談会／広島県立三次高等学校</p> <p>【講師】 総合的な探究の時間（1年生）／広島県立三次高等学校</p> <p>【講師】 SDGs 授業（1年生）／広島県立賀茂高等学校</p> <p>【講師】 心理学科コミュニケーション実習 SDGs セミナー／広島国際大学</p> <p>【講師】 防災士養成講座／広島工業大学</p> <p>【講師】 家庭科授業（6年生）／広島市立比治山小学校</p> <p>【講師】 府中商工会議所 SDGs セミナー／府中商工会議所</p> <p>【講師】 みずしま滞在型環境学習コンソーシアムシンポジウム／公益財団法人水島地域環境再生財団</p> <p>【講師】 SDGs セミナー／広島青年印刷研究会</p> <p>【講師】 江田島市教育旅行インストラクター研修／江田島海生体験交流協議会</p> <p>【出演】 RCC ラジオ「おひるーな」／（株）中国放送</p> <p>【寄稿】 岡崎純也税理士事務所 HP インタビュー／岡崎純也税理士事務所</p>
山本 祐二	<p>【委員】 広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会／広島市</p> <p>【委員】 広島県社会福祉協議会地域福祉部会常任委員会／（社福）広島県社会福祉協議会</p> <p>【委員】 広島県医療費適正化計画検討委員会／広島県</p>
遠山 勇希	<p>【委員】 広島県被災者生活サポートボラネット推進会議委員会／（社福）広島県社会福祉協議会</p> <p>【講師】 木ノ庄地区区住民懇談会／（社福）尾道市社会福祉協議会</p> <p>【講師】 災害ボランティア養成講座／（社福）尾道市社会福祉協議会</p> <p>【講師】 災害ボランティア連携協働会議／（社福）福山市社会福祉協議会</p> <p>【講師】 広島県被災者生活サポートボラネット運営者研修（第1回）／（社福）広島県社会福祉協議会</p> <p>【講師】 広島県被災者生活サポートボラネット運営者研修（第2回）／（社福）広島県社会福祉協議会</p> <p>【講師】 入門講座／福山市立大学</p>
松村 渉	<p>【理事】 認定 NPO 法人陽だまり（組織基盤担当理事）</p> <p>【評価員】 アドバンス評価評／（一財）非営利組織評価センター</p>

②SDGs 推進のための事業

SDGsの達成を目指す様々な立場や世代が情報交流することを通して、それぞれの取組での活用やSDGsの推進につなげることを目的として「ひろしまSDGs交流会」を開催した。広島県等と連携して2020年5月からスタートした。また、日常的に情報交換できるメーリングリスト「ひろしまSDGsプラットフォーム」を立ち上げた。

<ひろしまSDGs交流会>

実施回数：10回

参加者：延べ133名

メーリングリスト登録者：74名

<実施概要>

回	日 時	参加者
第1回	5月20日(水) 15:00~16:30	12名
第2回	6月17日(水) 15:00~16:30	11名
第3回	7月21日(火) 15:00~16:30	15名
第4回	8月26日(水) 15:00~16:30	14名
第5回	9月30日(水) 15:00~16:30	12名
第6回	10月23日(金) 15:00~16:30	14名
第7回	11月25日(水) 15:00~16:30	9名
第8回	12月21日(月) 15:00~16:30	10名
第9回	2月26日(金) 15:00~16:30	18名
第10回	3月24日(水) 15:00~16:30	18名

③新型コロナウイルス対策支援事業

※重点事業に係る報告にて掲載。

④中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金等活用事業

中国5県のNPO支援センターと連携したコンソーシアムにより、休眠預金等活用事業の資金分配団体を運営し、2019年度通常枠募集(2020年に採択決定及び契約)は3県(島根県、岡山県、広島県)で4団体、2020年度コロナ枠募集(2020年に採択決定及び契約)5県で17団体に助成金を配分し伴走支援を行っている。

助成団体：21 団体（うち広島県は 5 団体）

助成総額：118,382,160 円（うち広島県は 34,500,000 円）

<2019 年度通常枠の実施概要>

4 団体（うち広島県 2 団体）

68,382,160 円（うち広島県 24,000,000 円）

テーマ：中国 5 県における地域格差及び所得格差による課題を解決し、暮らし続けられる事業をつくる事業

<助成団体の事業概要>

NO	対象県	団体名	助成総額	実施期間
1	島根県	たすき株式会社	¥22,602,160	2020 年 6 月～2023 年 3 月
	事業概要	<p>まちをつなげる取り組みの第一弾として、地域自主組織と連携しながら三新塔地区の商店街にある隣接する 2 棟の空き家を改修し、「働く」「泊まる」の機能を持つ施設と「食べる」「集う」の機能を持つ施設を運営。「まちの縁側をつなげる」というテーマをもとに、ハード・ソフト両面で境界を緩やかに共有できる工夫を仕掛けていく。</p> <p>地域住民によるチャレンジが盛んに行われ、地域内だけでなく市外からも多くの企業・学生が訪れる雲南市において、本施設をひとつのきっかけとして、住民・行政・企業／大人・子ども／域内・域外、内外の垣根を超えた多様な交流を促し、人とチャレンジの行き交う拠点を創出する。</p>		
2	岡山県	NPO 法人子どもシェルターモモ	¥21,780,000	2020 年 7 月～2023 年 3 月
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもシェルター運営事業 ・自立援助ホーム運営事業 ・児童養護施設等退所者に対するアフターケア事業 ・子どもの問題についての啓発活動 ・その他、この法人の目的を達成するために必要な事業 		
3	広島県	NPO 法人湯来観光地域づくり公社	¥13,500,000	2020 年 4 月～2023 年 3 月
	事業概要	<p>湯来町の衰退・人口減は、主要産業の「収益性の悪さ」、「人材不足」、「アクセスの悪さ」等が要因となり、ここ 15 年で 2000 人以上減っている。そうした現状に対し、本事業を活用して、収益性の高い観光のモデルを構築することで、湯来町に包括的な地域経済循環を創出していこうというプロジェクトである。</p> <p>広島市中心部から 1 時間圏内という近接性と、美しい自然を活用し、アドベンチャーツーリズム事業、研修事業、サイクルツアー事業、温泉街再生に向けた、飲食店立ち上げ事業を立ち上げ、収益性を高め、雇用を創出し、湯来に住む若者</p>		

		世代を増やす。また、町内の事業者収益が還元され、事業承継が可能となることでUターンを増やす。		
4	広島県	NPO 法人 NPO 狩留家	¥10,500,000	2020年06月～2023年03月
	事業概要	新たに整備する物流センターでの狩留家なす事業を核に、自助・共助の仕組みを確立することで、地域の稼ぐ力をさらに向上させるとともに、主体的に参画する狩留家人（ジン）を増やし、地域に「やればできる」というポジティブな雰囲気を醸成し、その雰囲気が更なる人の参画を促す好循環に繋げる。その利益や住民の参画が従来の活動や地域住民に還元されることで、地域の活力と経済の好循環がさらに加速し、自立した持続可能な狩留家を実現する。何もないと言われ続けた町の地域住民自治の達成（そのノウハウ）を社会に還元することで、本団体の使命である「地域社会に貢献し、豊かな生活が出来る社会基盤の構築」を達成する。		

<2020年度コロナ枠の実施概要>

17団体（うち広島県3団体）

50,000,000円（うち広島県10,500,000円）

鳥取県テーマ：①障がい者就労・居場所支援／②高齢者の生活支援・居場所支援／③子ども・若者・家庭支援／④地域コミュニティ支援

島根県テーマ：①障がい者等就労・居場所支援 ②子ども・若者・家庭支援

岡山県テーマ：①障がい者等就労・居場所支援／②外国人就労・居場所支援／③高齢者の生活支援・居場所支援

広島県テーマ：①外国人就労・居場所支援

山口県テーマ：①外国人就労・居場所支援／②子ども・若者・家庭支援／③地域コミュニティ支援

<助成団体の事業概要>

NO	対象県	団体名	助成総額	実施期間
1	鳥取県	NPO 法人大地	¥2,500,000	2020年12月～2021年11月
	事業概要	コロナ禍の影響による利用者への工賃の減少を受け、これを昨年より取り組みを始めた鳥取県特産ブランド品白ねぎの生産でカバーできないかと考えた。昨年は、鳥取県農業改良普及所、JA、地元生産者の指導を受け、作付面積約10aで1ケース3kgを600ケースを出荷した。今年度はさらに出荷量を増やすため作業工程を見直した所、収穫した白ねぎを保管、根切り作業をする場所（ビニールハウス）が、選別箱詰め作業場から400メートル離れており非常に効率が悪いことが判明した。この2つの作業場を一か所に集約し作業効率を上げるために、白ねぎの保管場所と根切り作業ができる作業場を選別箱詰め作業場の隣に併設する。		

2	鳥取県	N.K.C ナーシングコアコーポレーション合同会社	¥1,500,000	2020年12月～2021年11月
	事業概要	<p>[買い物代行サービスの普及促進]</p> <p>“家族に頼る”から“地域で支え合う介護”への意識改革に向けて、今まさに困難に直面している高齢者に対して通常定価の半額にて買い物代行サービスを提供。ニーズ把握や地域との関係構築をはかり、助成期間以降は通常価格で提供、持続可能な運営モデルを鳥取県内各地へ広げる取り組みを展開します。買い物代行や受診付添をはじめとした介護保険外サービスを活用した”介護の方法”を Web や イベント等を通じて発信することで利用促進を図るとともに、高齢者の不安軽減や生活の改善、更に子どもたちが仕事を辞めること無く経済を支え続けることができる社会の実現を目指します。</p>		
3	鳥取県	NPO 法人こども未来ネットワーク	¥1,800,000	2020年10月～2021年9月
	事業概要	<p>新型コロナウイルスの影響で今まで通りの活動方法を控えなくてはならない現在、不安を感じる方にも当団体の活動を発信していく為に、オンラインの環境を整備する必要がある。舞台芸術、メディア講座、アナログゲームを自宅などでオンラインで観ることを可能にして、情報発信の範囲を広げる。また、分身ロボット OriHime を活用することにより、今まで病気などで参加することができなかった子どもたちが参加できる機会をつくる。そして、新型コロナウイルスが終息した時には、再び生の舞台や講座、一緒にアナログゲームを体験するという、人との繋がりを大切にした活動を再開することと、オンラインの良さを生かした活動も続けていく。</p>		
4	鳥取県	NPO 法人智頭の森こそだち舎	¥2,000,000	2021年3月～2021年12月
	事業概要	<p>本事業は特に情報のギャップ解消に着目して、『田舎子育て』という選択肢を社会に提示するために、今までの取組を効率よく必要な方に必要な形で届けるために以下の事業を実施したいと思います。</p> <p>①団体ウェブサイトの発信力の強化（魅力化や情報の一元化（アーカイブ化）、ウェブ広告）</p> <p>②発信情報の質の向上（動画配信の開始、オンライン視察・勉強会等への挑戦、活動紹介の充実）</p> <p>③多様な移住希望者の立場・移住形態に即した情報発信（上映会等）</p> <p>また、上記とりくみを通じて、段階的・効果的に移住という行動に繋げていくことで</p> <p>④子育て世代の都市部からの移住実績を積み上げていく事</p>		
5	鳥取県	NPO 法人トラベルフレンドズ・とっとり	¥2,000,000	2021年1月～2021年12月

	事業概要	<p>・鳥取県内及び近県の高齢者や障がい者、その家族(介助者)を対象とした、鳥取県を巡る安心・安全で魅力的なマイクロツーリズム(近隣旅行)のモデルコースを創出。</p> <p>・鳥取県の東部、中部、西部で3つのモデルコース(1泊2日)を設定し、各1組(2~4名程度)が参加。</p> <p>・with コロナ期であり、事業対象者である高齢者や障がい者が抱える社会課題(旅行に行きたくても行けない)を解決するため、下記の方針に沿って催行する。</p> <p>①自宅、観光・宿泊施設間の移動手段は全てUDタクシーを使用し、ドアトゥードアで送迎する。</p> <p>②十分な感染症防止対策を取り、ソフトもハードもバリアフリー対応に積極的な観光・宿泊施設のみを利用する。</p>		
6	島根県	NPO 法人あったかいねっと	¥5,000,000	2021年1月~2021年12月
	事業概要	<p>1. 生きづらさを抱えた方々がいつでも安心して過ごせる居場所「支援ハウス」を現事業所の隣に作る。</p> <p>2. スタッフを付け生きづらさを抱える方々(対象者)の得意を引き出す様々な仕事(農作業、家事援助、介護、運転、事務等)を企画し体験。デイサービスやサロン活動、畑など仕事体験の場を提供。小人数限定し丁寧に関わり、対象者の自己肯定感を高め、個々得意な仕事を引き出し活用し、個々に仕事試行の機会をつくり、自立や就労に向け支援。他応援企業を探しPR。</p> <p>3. 関わるスタッフ・対象者に、低額だが賃金を支給し、得意をいかしたモデル事業を模索、試みてもらう。次年度新規事業起業の準備を行う。</p>		
7	島根県	NPO 法人 YC スタジオ	¥5,000,000	2021年1月~2021年12月
	事業概要	<p>現行の福祉制度に乗っている障がい者(手帳保持者)は勿論のこと、手帳は持っていないが様々な事情で就労できない若者等(=就労弱者)と、就労していたがコロナ不況により失職した若者等(=健常協働者)が一緒になって、農と食のアートとITを通じ、彼らの個性を活かせる新しいビジネス、企業でも福祉就労でもない第三の道(=ソーシャルファーム)を立ち上げます。働くことが喜びになるよう、就労弱者が企画段階から参加してアイデアを出し、協働者と共に対等に仕事を創って行くことをミッションに、彼らの得意なITと独創性を活かし、農と食に関わる一連仕事のラインを基礎固めをします。</p>		
8	岡山県	NPO 法人未来へ	¥3,100,000	2020年12月~2021年11月
	事業概要	<p>概要としては、ビジネスマナーやコミュニケーショントレーニング等を通しての職業訓練、企業での職場実習(通所前期・中期)等を行い、一般就労をする上で必要なスキルを身に着ける。本事業では、利用者の職業訓練の向上はもちろんのこと、当団体が行っている他事業の利用者の方々との交流を行い、心理的安全性の確保や居場所支援など情意的側面への支援も同時に行っていく。また、美作県</p>		

		民局管内では一般就労に向けた支援が、1か所のみであり、周知されていない為周知活動も行い、利用者の環境を整備していく。		
9	岡山県	NPO 法人まこと	¥4,700,000	2020年12月～2021年5月
	事業概要	障がい者の特性を活かした就労として衛生、清掃事業の参入は社会問題の解決にも繋がる可能性があります。孤独死やゴミ屋敷は年々増えており、これは貧困、心の障がい、引きこもり、8050問題など複雑に絡み合っています。地域で活動する就労継続支援事業所のメンバーがプロから本物の清掃を学び、衛生環境を整え、キレイを保つことでウイルス感染予防対策にもなる仕事を身に付けます。また、遺品整理、生前整理で出た不要な物はB型事業所が担当し、なるべくリユース、リサイクルをし廃棄物0を目指します。障がい者就労が下請け、内職から脱し、営業から受注、自らの力で完結出来る仕事の獲得を事業所連携により倉敷全域の活動とします。		
10	岡山県	NPO 法人ペアレント・サポートすてっぷ	¥1,500,000	2021年3月～2022年1月
	事業概要	障がい児の保護者がコロナ感染拡大防止の外出自粛等の状況により孤立化し不安やストレスを募らせてしまうことを軽減する目的で、不安な事に対する対処方法、専門家による助言、様々な支援の紹介などを行う動画コンテンツを専門家や支援者等の協力を得て作成し公開していく。継続して公開される動画コンテンツを視聴することで保護者は理解者との繋がりを感じることができモチベーションの維持や心理的安心感を得ることができる。		
11	岡山県	NPO 法人メンターネット	¥3,600,000	2020年11月～2021年10月
	事業概要	施設の名称は、「ミーム テラス (Meme Terrace)」として、新型コロナウイルス対策及び防災対策を備えた施設とします。 ①シェアハウスの運営：住居の確保（仕事やアルバイトを失った単身の外国人女性10名を対象） ②Web相談・個別支援：在留資格・生活相談による安全・安心な仕事・留学・生活の保護（個別支援を可能にする関係者・通訳者・専門家のネットワークを構築します。） ③日本語教育：再就職のためや地域で孤立させない日本語学習支援を重視します。		
12	広島県	株式会社グローバルキャリア研究所	¥3,500,000	2020年11月～2021年9月

	事業概要	<p>求職中の外国人を対象に無料就職相談会等の支援を以下の内容で開催する。</p> <p>①具体的求職活動方法の支援：在留資格や職歴等をベースにコンサルティング。求人探し方、ハローワーク等の職業紹介機関、ネットの活用方法を紹介。本人の希望により現在の在留資格から特定活動、特定技能等への切替えを支援する。</p> <p>②面接及び特定技能評価試験等対策：面接対策を実施。主に留学生を対象に特定技能試験の受験ガイダンス相談会を実施。教材の紹介や学習方法の支援を行う。</p> <p>③日本語レベルアップ教育：日本語教育アプリを利用し、個人のレベルに合わせた指導を行う。学習のフォローを対面、電話、メール等で行う。</p>		
13	広島県	一般社団法人グローバル人材ネットワーク	¥3,500,000	2021年3月～2021年12月
	事業概要	<p>起業を希望し、起業に必要な具体的なビジネスプランを有する外国人留学生を塾生として集め、起業を志す塾生のニーズに沿ったカリキュラムを作成し、塾生が起業に必要な知識やスキルを身に付け、起業に向けた活動を支援する。また、具体的なビジネスプランは有していないが、起業に関心を持ち知識やスキルを習得したい者をフェローとして集め、交流会を開催することによって、起業を志す外国人留学生の孤立や孤独を解消する。</p>		
14	広島県	NPO 法人安芸高田市国際交流協会	¥3,500,000	2021年1月～2021年12月
	事業概要	<p>○就労に必要な技術等を身に着けるための研修</p> <p>①パソコン教室(Word/Excel)の実施、②働くための日本語教室の実施</p> <p>○就労を希望する外国人の就職活動支援</p> <p>③合同会社説明会の実施、④相談対応(メンタルケアやハローワーク利用の支援(通訳等)、求人情報の紹介等)の実施</p> <p>○企業の外国人雇用理解を促進させる研修等</p> <p>⑤知っておきたい外国人雇用研修の実施、⑥外国人従業員との関係性を考える自己診断⑦職場でのコミュニケーション研修の実施</p>		
15	山口県	青年海外協力隊山口県OB会	¥1,500,000	2021年1月～2021年12月
	事業概要	<p>山口県では生活者としての外国人住民を支援する事業はほとんど取り組まれていない状態である。とりわけ定住者や専門的技能による在留資格者は、支援が必要になった時には、生活者としての視点や配偶者や子どもも含めた家庭という視点で把握すると共に、多様な関わりが必要となる。その家庭が適切な支援機関につながることを支援する役割と、外国人住民の就労支援や子どもの日本語教育などをモデル的に実施していくことで、相談機能と様々な事業を併せながら継続的に外国人住民の生活を包括的に支えるしくみづくりを行う。また、外国人住民がコロナ禍で受けた影響を調査し、外国人の現状把握を行い、包括的なしくみづくりに活用する。</p>		

16	山口県	NPO 法人山口せわやき ネットワーク	¥3,900,000	2021年1月～2021年12月
	事業概要	新型コロナの影響により、元々、経済基盤の弱いひとり親家庭など、子育て家庭が急に仕事や収入が減り、あるいはなくなり、必要な食料品や生活物資が手に入らないなど、経済的に厳しくなった場合に、自分で解決することができず、また地域で助けを求めることができずに孤立してしまい、さらに状況を悪化させることがないように、「困った」と連絡しやすい体制（連絡窓口設置）を整え、すぐに必要とする食料品や生活物資などを提供して、当面の危機を回避するとともに、根本的な課題解決ができるよう、関係機関と連携した支援を行う。さらに、経済的理由で子どもたちの教育環境や進路に影響しないよう、学習支援や相談などサポートを行う。		
17	山口県	NPO 法人 NO BORDER	¥1,400,000	2021年1月～2021年12月
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①JAの協力の元、農家から想いを込めて作られた規格外野菜（廃棄予定）を仕入れ・買取。 ②障がい者就労支援施設キセキの障がい者の方に「想い野菜の詰め合わせ・加工品」を作業発注。 ③子育て家庭を中心に栄養バランスの取れた食べやすい加工品を提供 ④安心して購入できる野菜および加工品の販路開拓（実売所、サイト販売） ⑤規格外野菜の活用販売、障がい者の就労、子育て家庭の食事環境を向上させる連携構築 		

⑤令和2年度熊本豪雨災害支援活動

7月に発生した令和2年度熊本豪雨災害について、熊本県八代市における八代市災害ボランティアセンターの運営支援依頼を受け、3回（8月4日～8月14日、8月18日～30日、9月11日～16日）に渡り活動を実施した。主として、災害ボランティアセンターの運営に係る仕組み作り、復興過程（支え合いセンター）も踏まえた地域との連携サポート、外部支援団体との調整等を行った。

IV 決算報告

■活動計算書5期比較

勘定科目	2016 度	2017 年度	2018 度	2019 年度	2020 年度
経常収益	44,850,189	102,657,963	120,801,974	129,318,986	193,803,616
人件費	30,823,823	46,355,803	60,230,625	62,465,592	61,772,485
その他経費	28,444,144	46,597,820	60,535,007	65,178,726	122,874,612
当期経常増減額	-14,417,778	9,704,340	36,342	1,674,668	9,156,519
過年度損益修正益	0	9,784	0	200,000	0
過年度損益修正損	17,072	3,216,953	0	8,651	0
法人税	71,000	71,000	71,000	71,000	142,000
当期正味財産増減額	-14,505,850	6,426,171	-34,658	1,795,017	9,014,519
前期繰越正味財産額	1,764,696	-12,741,154	-6,314,983	-6,349,641	-4,554,624
次期繰越正味財産額	-12,741,154	-6,314,983	-6,349,641	-4,554,624	4,459,895

貸借対照表

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所【税込】(単位:円)
令和3年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	14,317,716
レジ現金(つばさ)	87,750	前受金	257,028,744
レジ現金(いいね)	52,000	短期借入金	34,000,000
普通預金	269,465,631	預り金	708,802
定期預金	50,000	未払法人税等	71,000
現金・預金計	269,655,381	未払消費税	1,605,700
(売上債権)		流動負債計	307,731,962
未収金	43,442,282	【固定負債】	
売上債権計	43,442,282	長期借入金	4,160,000
(棚卸資産)		固定負債計	4,160,000
棚卸資産	28,325	負債合計	311,891,962
棚卸資産計	28,325	正味財産の部	
(その他流動資産)		【正味財産】	
前払費用	1,352,829	前期繰越正味財産額	△ 4,554,624
仮払金	205,010	当期正味財産増減額	9,014,519
その他流動資産計	1,557,839	正味財産計	4,459,895
流動資産合計	314,683,827	正味財産合計	4,459,895
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物	289,800		
什器備品	377,024		
一括償却資産	488,194		
有形固定資産計	1,155,018		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	140,132		
無形固定資産計	293,012		
(投資その他の資産)			
保証金	220,000		
投資その他の資産計	220,000		
固定資産合計	1,668,030		
資産合計	316,351,857	負債及び正味財産合計	316,351,857

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所[税込] (単位:円)
令和3年 3月31日 現在

《資産の部》	
【流動資産】	
(現金・預金)	
レジ現金 (OSつばさ)	87,750
レジ現金 (OSいいね)	52,000
普通 預金	269,465,631
広島銀行・銀山支店	(5,303,657)
広島銀行・県庁支店	(124,087)
広島銀行・八丁堀支店	(57,430)
広島銀行・八丁堀支店	(122,328)
広島銀行・銀山町支店	(24,858)
広島銀行・八丁堀支店	(5,304,334)
広島銀行・県庁支店(休眠2019)	(6,064,763)
広島銀行・県庁支店(休眠コロナ)	(23,474,922)
広島銀行・県庁支店(休眠2020)	(83,954,764)
広島銀行・県庁支店(休眠コロナ2期)	(143,950,000)
振替貯金(会費)	(16,957)
振貯・サポート倶楽部	(762,210)
労金寄付①保険医療	(6,000)
労金寄付②社会教育	(3,540)
労金寄付③まちづくり	(7,420)
労金寄付④文化スポ	(5,700)
労金寄付⑤環境保全	(3,300)
労金寄付⑥災害救援	(66,074)
労金寄付⑦地域安全	(19,700)
労金寄付⑧人権平和	(5,960)
労金寄付⑨国際協力	(15,860)
労金寄付⑩男女共同	(28,361)
労金寄付⑪子ども健全	(10,980)
労金寄付⑫情報化社会	(1,200)
労金寄付⑬経済活動	(5,960)
縦上労金寄付⑭職業訓練	(3,800)
労金寄付⑮消費者保	(14,900)
労金寄付⑯NPO支	(6,360)
労金寄付⑰フリー	(9,400)
労金寄付⑱観光振興	(40,805)
労金寄付21立上助成金	(50,001)
定期 預金	50,000
現金・預金 計	269,655,381
(売上債権)	
未 収 金	43,442,282
共同事務所	(271,019)
会計サポート	(47,000)
環境省EPO	(37,994,464)
コロナ(広島市)	(1,054,000)
JICA中国開発教育	(1,491,820)
JICA-ミャンマー	(2,491,579)
広島県立福山少年の家	(92,400)
売上債権 計	43,442,282
(棚卸資産)	
棚卸 資産	28,325
棚卸資産 計	28,325
(その他流動資産)	
前払 費用	1,352,829
OS家賃	(162,800)
HP保守・管理費用	(703,000)

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所[税込] (単位:円)
令和3年 3月31日 現在

労働保険料	(438,029)		
保証料	(49,000)		
仮払金	205,010		
事業経費	(205,010)		
その他流動資産 計	<u>1,557,839</u>		
流動資産合計		314,683,827	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建 物	289,800		
什器 備品	377,024		
一括償却資産	<u>488,194</u>		
有形固定資産 計	1,155,018		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	<u>140,132</u>		
無形固定資産 計	293,012		
(投資その他の資産)			
保 証 金	<u>220,000</u>		
投資その他の資産 計	<u>220,000</u>		
固定資産合計		<u>1,668,030</u>	
資産の部 合計			316,351,857
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	14,317,716		
給 与(センター)	(5,534,690)		
給 与(子育て)	(1,712,363)		
社会保険料	(1,436,569)		
労働保険料	(412,527)		
ろうきん寄付	(300,000)		
サポート倶楽部	(550,000)		
広島市(家賃・光熱費・ゴミ処分代)	(78,347)		
広島市(子育て補助金)	(1,388,730)		
幟町集会所利用料	(24,000)		
Web管理費用	(63,800)		
コピーカウント料	(1,859)		
消耗品費用(アスクル)	(79,336)		
電話機レンタル料	(3,300)		
コピー機使用料	(88,104)		
電気代	(58,725)		
電話代	(26,889)		
ゆうメール代	(126,538)		
会計サポート料	(183,100)		
事業経費(環境省EPO等)	(1,185,987)		
事業経費(休眠預金2019)	(198,740)		
事業経費(休眠預金2020)	(537,750)		
事業経費(休眠預金コロナ)	(200,266)		
事業経費(休眠預金コロナ2期)	(21,000)		
事業経費(OSつばさ)	(87,523)		
事業経費(OS南)	(17,573)		
前受金	257,028,744		
正会員会費	(15,000)		
協力会員会費	(21,000)		
共同事務所	(5,400)		
Green Gift	(710,000)		
SDGsプログラム開発	(66,000)		
休眠預金2019	(6,822,146)		

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所[税込] (単位:円)
令和3年 3月31日 現在

休眠預金コロナ	(22,941,487)		
休眠預金2020	(82,774,600)		
休眠預金コロナ2期	(143,673,111)		
短期借入金	34,000,000		
広銀3400万(R2.7~)	(34,000,000)		
預り金	708,802		
給与源泉税	(68,730)		
報酬源泉税	(11,090)		
健康保険料	(190,543)		
厚生年金保険料	(307,440)		
雇用保険料	(117,499)		
市県民税	(13,500)		
未払法人税等	71,000		
未払消費税	1,605,700		
流動負債計		307,731,962	
【固定負債】			
長期借入金	4,160,000		
広銀500万(R2.5~60回)	(4,160,000)		
固定負債計		4,160,000	
負債の部合計			311,891,962
正味財産			4,459,895

活動計算書

【税込】(単位:円)

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

自 令和2年 4月 1日 至 令和3年 3月31日

	特定非営利活動 に係る事業	休眠預金2019	休眠預金コロナ	休眠預金2020	休眠預金コロナ2業	合計
【経常収益】						
【受取会費】						
正会員受取会費	615,000					615,000
協力会員受取会費	197,000					197,000
【受取寄付金】						
受取寄付金	1,916,347					1,916,347
【受取助成金等】						
受取助成金		60,166,805	38,858,513	2,490,400	276,889	101,792,607
受取補助金	25,805,270					25,805,270
【事業収益】						
事業収益	2,672,335					2,672,335
受託事業収益	56,535,648					56,535,648
【その他収益】						
受取利息	153					153
雑収益	4,267,256					4,267,256
経常収益計	92,011,009	60,166,805	38,858,513	2,490,400	276,889	193,803,616
【経常費用】						
【事業費】						
(人件費)						
給料手当(事業)	44,871,241	4,093,639	1,720,413	850,066	111,195	51,646,554
臨時雇賃金(事業)	62,500					62,500
通勤費(事業)	2,320,851	147,161	88,587	68,664	2,605	2,628,068
法定福利費(事業)	5,660,490	663,204	296,766	159,052	16,090	6,837,544
福利厚生費(事業)	23,498					23,498
人件費計	52,978,580	4,924,004	2,105,766	1,077,802	132,090	61,218,184
(その他経費)						
売上原価	26,595	0	0	0	0	26,595
雑損金(事業)	2,226,700	33,000	375,000	0	0	2,634,700
業務委託費(事業)	2,374,150	4,845,725	2,411,251	1,050,000	21,000	10,202,126
印刷製本費(事業)	1,624,866	61,460	108,900	100,290	0	1,915,516
会費(事業)	30,141	0	5,377	0	0	35,518
旅費交通費(事業)	2,754,428	65,918	44,890	1,310	0	2,866,546
通信運搬費(事業)	683,772	10,730	97,487	176,532	123,869	1,092,380
消耗品費(事業)	1,237,145	477,560	550	32,666	0	1,747,921
図書購読費(事業)	121,089					121,089
水道光熱費(事業)	320,914					320,914
リース料(事業)	129,600					129,600
地代家賃(事業)	2,924,070	1,152,468	0	0	0	4,076,538
貸借料(事業)	566,130	600	32,400	47,070	0	668,200
接待交際費(事業)	31,232					31,232
保険料(事業)	126,076					126,076
諸会費(事業)	120,000					120,000
租税公課(事業)	54,750					54,750
研修費(事業)	30,500	43,000	0	0	0	73,500
支払手数料(事業)	585,203	48,160	33,440	4,730	0	671,533
支払助成金	1,100,000	46,984,160	33,843,450	0	0	83,727,610
支払利息(事業)	967,659					967,659
雑費(事業)	2,000					2,000
その他経費計	16,061,220	55,242,601	36,752,745	1,412,598	144,859	111,634,223
事業費計	71,059,800	60,166,805	38,858,513	2,490,400	276,889	172,852,407
【管理費】						
(人件費)						
給料手当	405,573					405,573
通勤費	29,017					29,017
法定福利費	112,462					112,462
福利厚生費	7,249					7,249
人件費計	554,301	0	0	0	0	554,301
(その他経費)						
業務委託費	1,815,000					1,815,000
印刷製本費	35,146					35,146
旅費交通費	43,110					43,110
通信運搬費	434,609					434,609
消耗品費	444,526					444,526
水道光熱費	690,630					690,630
地代家賃	813,108					813,108
貸借料	51,250					51,250
新聞図書費	2,990					2,990
減価償却費	593,296					593,296
諸会費	99,000					99,000
リース料	606,584					606,584
租税公課	4,839,640					4,839,640
支払手数料	495,344					495,344
支払利息	96,022					96,022
保証料	49,000					49,000
雑費	130,734					130,734
その他経費計	11,240,369	0	0	0	0	11,240,369
管理費計	11,794,690	0	0	0	0	11,794,690
経常費用計	82,854,490	60,166,805	38,858,513	2,490,400	276,889	184,647,097
当期経常増減額	9,156,519	0	0	0	0	9,156,519
【経常外収益】						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
【経常外費用】						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	9,156,519	0	0	0	0	9,156,519
法人税、住民税及び事業税	142,000					142,000
当期正味財産増減額	9,014,519	0	0	0	0	9,014,519
前期繰越正味財産額	△ 4,554,624	0	0	0	0	△ 4,554,624
次期繰越正味財産額	4,459,895	0	0	0	0	4,459,895

財務諸表の注記

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

令和3年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原価法による先出法

(2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法

無形固定資産：定額法

(3). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業損益の明細は別紙に出力しています。

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首帳簿価額	取得	減少	減価償却前 期末帳簿価額	当期減価償却額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物	327,600	0	0	327,600	△ 37,800	289,800
什器 備品	151,784	432,480	0	584,264	△ 207,240	377,024
一括償却資産	104,112	732,338	0	836,450	△ 348,256	488,194
(無形固定資産)						
電話加入権	152,880	0	0	152,880	0	152,880
ソフトウェア	140,132	0	0	140,132	0	140,132
(投資その他の資産)						
保証金	200,000	20,000	0	220,000	0	220,000
敷金	180,000	0	180,000	0	0	0
合計	1,256,508	1,184,818	180,000	2,261,326	△ 593,296	1,668,030

【借入金を増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金 (広島銀行)	0	34,000,000	0	34,000,000
短期借入金 (広島銀行)	30,000,000		30,000,000	0
長期借入金 (日本政策金融公庫)	1,000,000	0	1,000,000	0
長期借入金 (広島銀行)	4,376,184	0	4,376,184	0
長期借入金 (広島銀行)	0	5,000,000	840,000	4,160,000
合計	35,376,184	39,000,000	36,216,184	38,160,000

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
代表理事 安藤周治 殿

監査報告書

私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の業務及び財産の状況について監査を実施した。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか、理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては、法令及び定款に違反する重大な事実はなく、令和2年度の特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの財産の状況は、NPO法人会計基準に準拠して財務諸表等に適正に表示されているものと認める。

以上

令和3年5月28日

監事 久保 信雄

監事 藤田 克典

2020 年度事業報告書

2021 年 6 月

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

〒730-0013

広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2 階

TEL : 082-511-3180

FAX : 082-511-3179

貸借対照表

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所

[税込] (単位:円)
平成31年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	13,058,358
現 金	28,850	前 受 金	24,379,386
レジ現金(つばさ)	59,000	短期借入金	34,000,000
レジ現金(ふらっと)	37,200	借入金(会計間)	44,430,000
レジ現金(いいね)	61,600	預 り 金	1,818,715
普通 預金	31,169,727	流動負債 計	117,686,459
定期 預金	50,000	【固定負債】	
現金・預金 計	31,406,377	長期借入金	5,695,184
(売上債権)		社 債	1,500,000
未 収 金	40,371,093	固定負債 計	7,195,184
売上債権 計	40,371,093	負債合計	124,881,643
(棚卸資産)		正 味 財 産 の 部	
棚卸 資産	79,051	【正味財産】	
棚卸資産 計	79,051	前期繰越正味財産額	△6,314,983
(その他流動資産)		当期正味財産増減額	△34,658
前払 費用	367,680	正味財産 計	△6,349,641
仮 払 金	145,762	正味財産合計	△6,349,641
貸付金(会計間)	44,430,000		
その他流動資産 計	44,943,442		
流動資産合計	116,799,963		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建 物	365,400		
什器 備品	269,403		
一括償却資産	208,224		
有形固定資産 計	843,027		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	140,132		
無形固定資産 計	293,012		
(投資その他の資産)			
保 証 金	200,000		
敷 金	396,000		
投資その他の資産 計	596,000		
固定資産合計	1,732,039		
資産合計	118,532,002	負債及び正味財産合計	118,532,002

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成31年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	28,850
レジ現金 (つばさ)	59,000
レジ現金 (ふらっと)	37,200
レジ現金 (いいね)	61,600
普通 預金	31,169,727
広銀・銀山 (メイン)	(25,146,898)
広銀・県庁	(162,838)
信金・子育て(利用者)	(763,201)
広銀・銀山3113241(寄付)	(216,528)
広銀・八丁3229086(貯蓄用)	(2,307,781)
広銀・WAM	(1,202,920)
振替貯金 (会費)	(969,044)
振貯・サポート倶楽部	(98,256)
労金寄付①保険医療	(12,260)
労金寄付②社会教育	(1,620)
労金寄付③まちづくり	(7,420)
労金寄付④文化スポ	(47,340)
労金寄付⑤環境保全	(3,700)
労金寄付⑥災害救援	(20,714)
労金寄付⑦地域安全	(8,480)
労金寄付⑧人権平和	(2,120)
労金寄付⑨国際協力	(8,080)
労金寄付⑩男女共同	(24,601)
労金寄付⑪子ども健全	(7,960)
労金寄付⑫情報化社会	(1,200)
労金寄付⑬経済活動	(2,120)
労金寄付⑭職業訓練	(1,060)
労金寄付⑮消費者保	(5,300)
労金寄付⑯NPO支	(8,120)
労金寄付⑰フリー	(49,360)
労金寄付⑱観光振興	(40,805)
労金寄付21立上助成金	(50,001)
定期 預金	50,000
現金・預金 計	31,406,377

(売上債権)

未 収 金	40,371,093
(共同) 夢現大学	(10,800)
(共同) ためまつぶプロジェクト	(40,547)
(共同) 障害年金ヘルプデスク	(1,800)
(共同) 企業経営研究会	(41,588)
(共同) 日本インクルーシブ	(5,400)
(共同) 広島脳力開発研究所	(17,053)
(共同) 百人邑	(1,800)

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所

[税込] (単位：円)
平成31年 3月31日 現在

(共同)C&A	(8,421)	
(共同)キャンサーハイパー	(107,006)	
(共同)ピアサポート子育て相談センター	(17,441)	
(共同)one dream	(8,695)	
NPO社会理論・動態研究所	(64,800)	
作業所わくわく	(32,400)	
廿日市市	(35,115)	
環境省EPO	(35,122,738)	
JICA中国開発教育	(1,752,883)	
SDGs人材育成	(2,500,000)	
長期インターシップ	(356,400)	
たちまち全員集合	(150,000)	
20周年寄付広島ユネスコ協会	(10,000)	
県文利用)日本ファシリテーション協会	(18,000)	
OS安佐南区)ノバフレンド	(22,411)	
災害支援(香川)寄付金	(45,795)	
売上債権 計	40,371,093	
(棚卸資産)		
棚卸 資産	79,051	
棚卸資産 計	79,051	
(その他流動資産)		
前払 費用	367,680	
日本NPOセンター会費	(10,000)	
つばさ家賃	(159,840)	
OS安佐南家賃	(119,880)	
WAM家賃	(77,760)	
Green Gift2018経費	(200)	
仮 払 金	145,762	
山本 祐二	(100,000)	
松原 裕樹 (EPO)	(45,762)	
貸付金 (会計間)	44,430,000	
貸付金(部門差)	(1,430,000)	
その他補助	(43,000,000)	
その他流動資産 計	44,943,442	
流動資産合計		116,799,963
【固定資産】		
(有形固定資産)		
建 物	365,400	
什器 備品	269,403	
一括償却資産	208,224	
有形固定資産 計	843,027	
(無形固定資産)		
電話加入権	152,880	
ソフトウェア	140,132	
無形固定資産 計	293,012	
(投資その他の資産)		

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所

[税込] (単位:円)
平成31年 3月31日 現在

保 証 金	200,000		
敷 金	396,000		
WAM	(216,000)		
OS安佐南	(180,000)		
投資その他の資産 計	596,000		
固定資産合計		1,732,039	
資産の部 合計			118,532,002

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	13,058,358
給 与	(4,359,254)
社会保険料	(1,146,734)
労働保険料	(397,248)
(有)S-Produce.	(322,404)
ゆうメール	(142,866)
(株)弘法	(5,081)
(株)セディナ	(9,555)
会計サポート長野	(188,820)
災害支援 (Jリーガー)	(3,860,000)
県教委)委託費	(1,080,000)
ためまっぷプロジェクト	(216,000)
復興支援(岡本)	(126,000)
復興支援(井上)	(252,000)
環境省EPO謝金	(411,435)
たちまち謝金	(131,211)
コラボレーションデザイン	(93,750)
(有)AWANE	(3,240)
松原 裕樹	(50,889)
香川 燕子 (OSつばさ)	(8,863)
香川 燕子 (OS南)	(916)
香川 燕子 (県研修)	(7,752)
逸見 文恵	(42,021)
検診代 (つばさスタッフ)	(24,846)
つばさ交通費	(27,720)
OS安佐南電気代	(6,613)
OS安佐南ガス代	(881)
OS安佐南電話代	(9,555)
イオンリテール(株)	(95,224)
OS南区ソフトバンク	(2,599)
WAM経費	(34,881)
前 受 金	24,379,386
正会員会費	(15,000)
協力会員会費	(6,000)
Green Gift2018	(600,000)
災害支援Yahoo	(17,707,378)
災害支援(生協連)	(1,500,000)

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所

[税込] (単位:円)
平成31年 3月31日 現在

災害支援(JPF・JVOAD)2019	(3,551,008)	
災害支援(増田)	(1,000,000)	
短期借入金	34,000,000	
広銀3400万(H30.5~)3.5%	(34,000,000)	
借入金(会計間)	44,430,000	
借入金(部門差)	(1,430,000)	
その他補助	(43,000,000)	
預り金	1,818,715	
給与源泉税	(174,890)	
報酬源泉税	(222,776)	
健康保険料	(417,780)	
厚生年金保険料	(706,563)	
雇用保険料	(124,106)	
市民税	(172,600)	
流動負債計		117,686,459
【固定負債】		
長期借入金	5,695,184	
公庫600万(H28.11~48回)	(2,625,000)	
広銀カードローン(H28.12~)	(3,070,184)	
社債	1,500,000	
固定負債計		7,195,184
負債の部合計		<u>124,881,643</u>
正味財産		<u><u>△6,349,641</u></u>

財務諸表の注記

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

平成31年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原価法による先出法

(2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法

無形固定資産：定額法

(3). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業損益の明細は別紙に出力しています。

【固定資産の増減内訳】

【単位】（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物	874,650	378,000	0	1,252,650	△ 617,847	634,803
一括償却資産	0	312,336	0	312,336	△ 104,112	208,224
合計	874,650	690,336	0	1,564,986	△ 721,959	843,027

【借入金の増減内訳】

【単位】（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金（広島銀行）	3,500,000		3,500,000	0
短期借入金（広島銀行）	17,000,000		17,000,000	0
短期借入金（広島銀行）	17,000,000		17,000,000	0
短期借入金（広島銀行）		34,000,000		34,000,000
長期借入金（日本政策金融公庫）	4,125,000		1,500,000	2,625,000
長期借入金（広島銀行）	3,826,184		756,000	3,070,184
合計	45,451,184	34,000,000	39,756,000	39,695,184

活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	885,000	
協力会員受取会費	192,000	1,077,000

【受取寄付金】

受取寄付金		11,186,777
-------	--	------------

【受取助成金等】

受取助成金	6,920,000	
受取補助金	25,310,000	32,230,000

【事業収益】

事業 収益	6,258,446	
受託事業収益	69,936,446	76,194,892

【その他収益】

受取 利息	237	
雑 収 益	113,068	113,305

経常収益 計		120,801,974
--------	--	-------------

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	49,216,058	
臨時雇賃金(事業)	58,950	
通 勤 費(事業)	2,970,587	
法定福利費(事業)	6,359,686	
福利厚生費(事業)	110,871	
人件費計	58,716,152	

(その他経費)

売上 原価	29,426	
諸 謝 金(事業)	7,208,181	
業務委託費(事業)	10,402,250	
印刷製本費(事業)	2,497,356	
会 議 費(事業)	11,879	
旅費交通費(事業)	10,040,660	
通信運搬費(事業)	1,785,444	
消耗品 費(事業)	3,553,042	
図書購読費(事業)	182,020	
水道光熱費(事業)	1,298,531	
リース料(事業)	918,694	
地代家賃(事業)	6,386,635	
賃 借 料(事業)	2,099,557	
広告宣伝費(事業)	136,640	
接待交際費(事業)	13,899	
減価償却費(事業)	314,529	
保 険 料(事業)	241,468	
諸 会 費(事業)	221,933	
租税 公課(事業)	4,459,404	
研 修 費(事業)	209,755	

活 動 計 算 書

[税込] (単位：円)

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

支払手数料(事業)	430,070	
支払助成金	1,458,000	
支払寄付金	4,011,000	
支払 利息(事業)	212,689	
保 証 料(事業)	98,134	
雑 費(事業)	<u>32,966</u>	
その他経費計	<u>58,254,162</u>	
事業費 計		116,970,314
【管理費】		
(人件費)		
給料 手当	1,386,776	
通 勤 費	42,794	
法定福利費	75,115	
福利厚生費	<u>9,788</u>	
人件費計	<u>1,514,473</u>	
(その他経費)		
印刷製本費	5,058	
会 議 費	21,738	
旅費交通費	101,550	
通信運搬費	63,055	
消耗品 費	117,005	
接待交際費	140,000	
新聞図書費	2,890	
減価償却費	26,034	
保 険 料	736	
諸 会 費	11,167	
リース 料	103,850	
支払手数料	420,799	
研 修 費	26,000	
支払 利息	1,154,963	
雑 費	<u>86,000</u>	
その他経費計	<u>2,280,845</u>	
管理費 計		<u>3,795,318</u>
經常費用 計		<u>120,765,632</u>
当期經常増減額		36,342
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		<u>0</u>
税引前当期正味財産増減額		36,342
法人税、住民税及び事業税		<u>71,000</u>
当期正味財産増減額		△34,658
前期繰越正味財産額		<u>△6,314,983</u>
次期繰越正味財産額		<u>△6,349,641</u>

事業費の内訳（別紙）

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

平成31年 3月31日 現在

(1/9)

【税込】（単位：円）

科目	一般管理	20周年	県民文化	共同事務所	福山市まちづくりセンター
(人件費)					
給料 手当(事業)		2,584	2,584	7,600	372,616
臨時雇賃金(事業)					
通 勤 費(事業)		625	625	1,840	3,054
法定福利費(事業)		1,098	1,098	3,229	5,361
福利厚生費(事業)		143	143	421	699
人件費計	0	4,450	4,450	13,090	381,730
(その他経費)					
期首棚卸高	108,477				
期末棚卸高	△ 79,051				
諸 謝 金(事業)					
業務委託費(事業)		3,443	3,443	10,125	16,808
印刷製本費(事業)		74	74	217	361
会 議 費(事業)					
旅費交通費(事業)					166,140
通信運搬費(事業)		922	123,731	2,711	4,500
消耗品 費(事業)		1,218	1,218	3,584	5,949
図書購読費(事業)					
水道光熱費(事業)				895,530	
リース料(事業)		1,518	1,518	4,465	7,411
地代家賃(事業)			1,131,516	789,204	
賃 借 料(事業)				78,700	
広告宣伝費(事業)					
接待交際費(事業)					
減価償却費(事業)		381	381	1,119	1,858
保 険 料(事業)		11	11	32	53
諸 会 費(事業)		163	163	480	797
租税 公課(事業)		7,499	7,499	22,057	36,614
研 修 費(事業)					
支払手数料(事業)		483	483	1,422	2,361
支払助成金					
支払寄付金	150,000				
支払 利息(事業)		362	362	1,063	1,765
保 証 料(事業)		167	167	491	815
雑 費(事業)				23,166	
その他経費計	179,426	16,241	1,270,566	1,834,366	245,432
合計	179,426	20,691	1,275,016	1,847,456	627,162

(2/9)

[税込] (単位:円)

科目	SAVE JAPAN	サポート倶楽部	ろうきん寄付システム	災害支援(公益法人協会)	災害支援(Jリーガー)
(人件費)					
給料 手当(事業)	122,584	2,584	2,584	2,584	2,584
臨時雇賃金(事業)					
通 勤 費(事業)	625	625	625	625	625
法定福利費(事業)	1,098	1,098	1,098	1,098	1,098
福利厚生費(事業)	143	143	143	143	143
人件費計	124,450	4,450	4,450	4,450	4,450
(その他経費)					
期首棚卸高					
期末棚卸高					
諸 謝 金(事業)	16,200		20,000		
業務委託費(事業)	244,443				
印刷製本費(事業)	74				
会 議 費(事業)					
旅費交通費(事業)	53,940		12,980	130,920	
通信運搬費(事業)	922		125,676		
消耗品 費(事業)	1,218		3,188	6,161	
図書購読費(事業)					
水道光熱費(事業)					
リース料(事業)	1,518				
地代家賃(事業)					
賃 借 料(事業)				5,100	
広告宣伝費(事業)					
接待交際費(事業)					
減価償却費(事業)	381				
保 険 料(事業)	11				
諸 会 費(事業)	163				
租税 公課(事業)	7,499				
研 修 費(事業)					
支払手数料(事業)	483	43,425			
支払助成金		600,000	250,000	608,000	
支払寄付金					3,860,000
支払 利息(事業)	362				
保 証 料(事業)	167				
雑 費(事業)					
その他経費計	327,381	643,425	411,844	750,181	3,860,000
合計	451,831	647,875	416,294	754,631	3,864,450

(3/9)

[税込] (単位:円)

科目	災害支援(Vahoo!基金)	災害支援(増田)	OSつばさ	OS安佐南区	OS南区
(人件費)					
給料 手当(事業)	2,584	915,052	13,112,415	3,126,514	1,640,000
臨時雇賃金(事業)					
通 勤 費(事業)	625	3,054	821,774	220,043	166,678
法定福利費(事業)	1,098	5,361	1,600,484	201,785	36,768
福利厚生費(事業)	143	699	29,252	10,744	2,104
人件費計	4,450	924,166	15,563,925	3,559,086	1,845,550
(その他経費)					
期首棚卸高					
期末棚卸高					
諸 謝 金(事業)			84,000	24,000	24,000
業務委託費(事業)	216,000		141,818	53,865	50,625
印刷製本費(事業)	49,390		157,762	43,500	60,344
会 議 費(事業)					
旅費交通費(事業)			82,475	3,330	49,480
通信運搬費(事業)			198,227	93,315	24,513
消耗品 費(事業)			256,322	582,442	837,700
図書購読費(事業)			1,880		6,696
水道光熱費(事業)			219,069	74,419	16,529
リース料(事業)			144,512	22,324	22,324
地代家賃(事業)			1,918,080	1,239,884	374,831
賃 借 料(事業)					
広告宣伝費(事業)					
接待交際費(事業)					
減価償却費(事業)			3,738	109,708	18,196
保 険 料(事業)			81,647	23,850	13,480
諸 会 費(事業)			69,603	5,600	2,400
租税 公課(事業)			73,669	111,933	110,883
研 修 費(事業)					
支払手数料(事業)			13,190	108,090	15,090
支払助成金					
支払寄付金				1,000	
支払 利息(事業)			3,552	5,317	5,317
保 証 料(事業)			1,639	2,453	2,453
雑 費(事業)					
その他経費計	265,390	0	3,451,183	2,505,030	1,634,861
合計	269,840	924,166	19,015,108	6,064,116	3,480,411

(4/9)

[税込] (単位:円)

科目	産後サポート (WAM)	災害支援 (香川)	災害支援 (生協連)	災害支援 (Yahoo! 基金)	災害支援 (Yahoo! ネット基金)
(人件費)					
給料 手当 (事業)	3,938,673	25,384			
臨時雇賃金 (事業)					
通勤費 (事業)	195,574	6,144			
法定福利費 (事業)	493,895	10,786			
福利厚生費 (事業)	1,406	1,406			
人件費計	4,629,548	43,720	0	0	0
(その他経費)					
期首棚卸高					
期末棚卸高					
諸謝金 (事業)	230,000	265,000			
業務委託費 (事業)	473,618				
印刷製本費 (事業)	32,699	40,830			
会議費 (事業)	1,104				
旅費交通費 (事業)	250,716	175,775			
通信運搬費 (事業)	118,376	7,560			
消耗品費 (事業)	392,323	177,924			
図書購読費 (事業)		140			
水道光熱費 (事業)	92,984				
リース料 (事業)	14,912				
地代家賃 (事業)	933,120				
賃借料 (事業)					
広告宣伝費 (事業)	20,000				
接待交際費 (事業)	1,899				
減価償却費 (事業)	3,738				
保険料 (事業)	96,557				
諸会費 (事業)	1,603				
租税公課 (事業)	74,119				
研修費 (事業)	1,500				
支払手数料 (事業)	17,602				
支払助成金					
支払寄付金					
支払利息 (事業)	3,552				
保証料 (事業)	1,639				
雑費 (事業)		9,800			
その他経費計	2,762,061	677,029	0	0	0
合計	7,391,609	720,749	0	0	0

(5/9)

[税込] (単位:円)

科目	会計サポート	廿日市市相談	山の日常民の集い実行委員会	県教委親子で体験活動	環境省EPO
(人件費)					
給料 手当(事業)	7,600	372,616	372,616	12,616	13,686,984
臨時雇賃金(事業)					
通 勤 費(事業)	1,840	3,054	3,054	3,054	606,578
法定福利費(事業)	3,229	5,361	5,361	5,361	2,143,363
福利厚生費(事業)	421	699	699	699	8,140
人件費計	13,090	381,730	381,730	21,730	16,445,065
(その他経費)					
期首棚卸高					
期末棚卸高					
諸 謝 金(事業)					2,288,080
業務委託費(事業)	768,375	16,808	16,808	2,446,160	916,032
印刷製本費(事業)	217	361	93,025	361	1,544,744
会 議 費(事業)					10,775
旅費交通費(事業)		11,040	94,965		5,565,386
通信運搬費(事業)	2,711	4,500	17,272	4,500	393,717
消耗品 費(事業)	107,264	5,949	127,085	5,949	411,080
図書購読費(事業)					47,559
水道光熱費(事業)					
リース料(事業)	4,465	7,411	7,411	7,411	116,261
地代家賃(事業)					
賃 借 料(事業)					916,967
広告宣伝費(事業)			64,800		51,840
接待交際費(事業)					12,000
減価償却費(事業)	1,119	1,858	1,858	1,858	29,144
保 険 料(事業)	32	53	53	53	832
諸 会 費(事業)	480	797	797	797	78,398
租税 公課(事業)	22,057	36,614	36,814	36,614	1,107,386
研 修 費(事業)					3,000
支払手数料(事業)	1,422	2,361	2,685	2,361	39,421
支払助成金					
支払寄付金					
支払 利息(事業)	1,063	1,765	1,765	1,765	52,425
保 証 料(事業)	491	815	815	815	24,185
雑 費(事業)					
その他経費計	909,696	90,332	466,153	2,508,644	13,609,232
合計	922,786	472,062	847,883	2,530,374	30,054,297

(6/9)

[税込] (単位:円)

科目	県環境学習研修	Green Gift2017-2018	さぶん賞	SDGs人材育成	地球環境基金
(人件費)					
給料 手当(事業)	280,584	202,584	27,816	1,075,816	2,584
臨時雇賃金(事業)					
通 勤 費(事業)	625	625	6,733	75,039	625
法定福利費(事業)	1,098	1,098	11,820	331,491	1,098
福利厚生費(事業)	143	143	1,540	5,749	143
人件費計	282,450	204,450	47,909	1,488,095	4,450
(その他経費)					
期首棚卸高					
期末棚卸高					
諸 謝 金(事業)	226,800	200,000		254,000	100,000
業務委託費(事業)	3,443	3,443	37,058	371,908	3,443
印刷製本費(事業)	23,274	74	796	9,260	74
会 議 費(事業)					
旅費交通費(事業)	327,332		81,650	615,840	
通信運搬費(事業)	15,706	1,262	13,245	39,398	922
消耗品 費(事業)	31,172	1,218	13,117	70,779	1,218
図書購読費(事業)					
水道光熱費(事業)					
リース料(事業)	1,518	1,518	16,341	60,988	1,518
地代家賃(事業)					
賃 借 料(事業)	3,680				
広告宣伝費(事業)					
接待交際費(事業)					
減価償却費(事業)	381	381	4,096	15,289	381
保 険 料(事業)	3,361	11	117	436	11
諸 会 費(事業)	163	163	1,757	6,557	163
租税 公課(事業)	7,699	7,499	80,727	302,292	7,499
研 修 費(事業)					
支払手数料(事業)	483	483	5,205	19,425	483
支払助成金					
支払寄付金					
支払 利息(事業)	362	362	3,892	14,527	362
保 証 料(事業)	167	167	1,796	6,703	167
雑 費(事業)					
その他経費計	645,541	216,581	259,797	1,787,402	116,241
合計	927,991	421,031	307,706	3,275,497	120,691

(7/9)

[税込] (単位:円)

科目	経費原簿(レバノン)	長期インテグレーション	実務支援(FF-J1010)2018	たちまち全員集会	JICA-開発教育事業
(人件費)					
給料 手当(事業)	25,384	2,584	202,584	2,584	4,718,316
臨時雇賃金(事業)					
通勤費(事業)	6,144	625	625	625	395,070
法定福利費(事業)	10,786	1,098	1,098	1,098	1,154,069
福利厚生費(事業)	1,406	143	143	143	6,313
人件費計	43,720	4,450	204,450	4,450	6,273,768
(その他経費)					
期首棚卸高					
期末棚卸高					
諸謝金(事業)				140,400	
業務委託費(事業)	173,818	263,207	987,443	3,443	151,875
印刷製本費(事業)	726	74	15,409	74	3,261
会議費(事業)					
旅費交通費(事業)			98,564		14,280
通信運搬費(事業)	13,415	922	134,653	1,762	42,630
消耗品費(事業)	11,970	2,298	29,070	3,843	53,756
図書購読費(事業)					
水道光熱費(事業)					
リース料(事業)	14,912	1,518	1,518	1,518	66,971
地代家賃(事業)					
賃借料(事業)	11,080		3,600		
広告宣伝費(事業)					
接待交際費(事業)					
減価償却費(事業)	3,738	381	381	381	16,789
保険料(事業)	107	11	11	11	479
諸会費(事業)	1,603	163	163	163	7,200
租税公課(事業)	73,669	7,499	7,499	7,499	341,848
研修費(事業)					
支払手数料(事業)	4,750	483	483	483	21,331
支払助成金					
支払寄付金					
支払利息(事業)	3,552	362	362	362	15,952
保証料(事業)	1,639	167	167	167	7,360
雑費(事業)					
その他経費計	314,979	277,085	1,279,323	160,106	743,732
合計	358,699	281,535	1,483,773	164,556	7,017,500

(8/9)

[税込] (単位:円)

科目	JICA-東ティモール	JICA-ミャンマー	JICA-NGO(2)	子育て支援員研修	Green Gift2018-2019
(人件費)					
給料 手当(事業)	777,240	777,240	1,377,384	2,012,000	
臨時雇賃金(事業)				58,950	
通勤 費(事業)	12,252	12,252	42,936	375,670	
法定福利費(事業)	21,508	21,508	75,374	197,414	
福利厚生費(事業)	2,803	2,803	9,823	21,043	
人件費計	813,803	813,803	1,505,517	2,665,077	0
(その他経費)					
期首棚卸高					
期末棚卸高					
諸 謝 金(事業)	207,932	333,650	461,119	2,333,000	
業務委託費(事業)	589,073	836,177	236,318	1,363,230	
印刷製本費(事業)	1,538	1,448	9,481	407,834	
会 議 費(事業)					
旅費交通費(事業)	510,516	741,770	367,703	685,858	
通信運搬費(事業)	19,660	18,593	64,636	295,487	
消耗品 費(事業)	29,642	29,977	86,865	261,543	
図書購読費(事業)				125,745	
水道光熱費(事業)					
リース料(事業)	29,735	29,735	104,207	223,236	
地代家賃(事業)					
賃 借 料(事業)			22,160	1,058,270	
広告宣伝費(事業)					
接待交際費(事業)					
減価償却費(事業)	7,454	7,454	26,123	55,963	
保 険 料(事業)	212	212	745	19,069	
諸 会 費(事業)	3,197	3,197	11,203	24,000	
租税 公課(事業)	147,896	146,896	516,799	1,112,826	
研 修 費(事業)	196,155	9,100			
支払手数料(事業)	10,011	9,471	33,514	72,586	
支払助成金					
支払寄付金					
支払 利息(事業)	7,083	7,083	24,821	53,172	
保 証 料(事業)	3,268	3,268	11,452	24,534	
雑 費(事業)					
その他経費計	1,763,372	2,178,031	1,977,146	8,116,353	0
合計	2,577,175	2,991,834	3,482,663	10,781,430	0

(9/9)

[税込] (単位:円)

科目	■国寄支款(FF・JYDA)2019	合計
(人件費)		
給料 手当(事業)		49,216,058
臨時雇賃金(事業)		58,950
通 勤 費(事業)		2,970,587
法定福利費(事業)		6,359,686
福利厚生費(事業)		110,871
人件費計	0	58,716,152
(その他経費)		
期首棚卸高		108,477
期末棚卸高		△ 79,051
諸 謝 金(事業)		7,208,181
業務委託費(事業)		10,402,250
印刷製本費(事業)		2,497,356
会 議 費(事業)		11,879
旅費交通費(事業)		10,040,660
通信運搬費(事業)		1,785,444
消耗品 費(事業)		3,553,042
図書購読費(事業)		182,020
水道光熱費(事業)		1,298,531
リース料(事業)		918,694
地代家賃(事業)		6,386,635
賃 借 料(事業)		2,099,557
広告宣伝費(事業)		136,640
接待交際費(事業)		13,899
減価償却費(事業)		314,529
保 險 料(事業)		241,468
諸 会 費(事業)		221,933
租税 公課(事業)		4,459,404
研 修 費(事業)		209,755
支払手数料(事業)		430,070
支払助成金		1,458,000
支払寄付金		4,011,000
支払 利息(事業)		212,689
保 証 料(事業)		98,134
雑 費(事業)		32,966
その他経費計	0	58,254,162
合計	0	116,970,314

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
代表理事 安藤周治 殿

監査報告書

私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)の業務及び財産の状況について監査を実施した。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか、理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては、法令及び定款に違反する重大な事実はなく、平成30年度の特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの財産の状況は、NPO法人会計基準に準拠して財務諸表等に適正に表示されているものと認める。

以上

令和元 年 5 月 28 日

監事 久室信雄

監事 藤田克彦

IV 決算報告

■活動計算書3期比較

勘定科目	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年・令和元年度
経常収益	102,657,963	120,801,974	129,318,986
人件費	46,355,803	60,230,625	62,465,592
その他経費	46,597,820	60,535,007	65,178,726
当期経常増減額	9,704,340	36,342	1,674,668
過年度損益修正益	9,784	0	200,000
過年度損益修正損	3,216,953	0	8,651
法人税	71,000	71,000	71,000
当期正味財産増減額	6,426,171	-34,658	1,795,017
前期繰越正味財産額	-12,741,154	-6,314,983	-6,349,641
次期繰越正味財産額	-6,314,983	-6,349,641	-4,554,624

貸借対照表

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所[税込] (単位:円)
令和2年 3月31日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	10,228,811
現金	32,146	前受金	61,537,791
レジ現金(つばさ)	20,000	短期借入金	30,000,000
レジ現金(ふらっと)	20,000	預り金	1,333,157
レジ現金(いいね)	16,000	流動負債計	103,099,759
普通預金	64,514,645	【固定負債】	
定期預金	50,000	長期借入金	5,376,184
現金・預金計	64,652,791	固定負債計	5,376,184
(売上債権)		負債合計	108,475,943
未収金	37,329,283	正味財産の部	
売上債権計	37,329,283	【正味財産】	
(棚卸資産)		前期繰越正味財産額	△ 6,349,641
棚卸資産	54,920	当期正味財産増減額	1,795,017
棚卸資産計	54,920	正味財産計	△ 4,554,624
(その他流動資産)		正味財産合計	△ 4,554,624
前払費用	188,020		
仮払金	439,797		
その他流動資産計	627,817		
流動資産合計	102,664,811		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物	327,600		
什器備品	151,784		
一括償却資産	104,112		
有形固定資産計	583,496		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	140,132		
無形固定資産計	293,012		
(投資その他の資産)			
保証金	200,000		
敷金	180,000		
投資その他の資産計	380,000		
固定資産合計	1,256,508		
資産合計	103,921,319	負債及び正味財産合計	103,921,319

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所【税込】(単位:円)
令和2年 3月31日 現在

《資産の部》	
【流動資産】	
(現金・預金)	
現金	32,146
レジ現金(つばさ)	20,000
レジ現金(ふらっと)	20,000
レジ現金(いいね)	16,000
普通預金	64,514,645
広銀・銀山(メイン)	(3,133,325)
広銀・県庁	(72,531)
広銀・県庁3039986(休眠預金)	(60,937,001)
広銀・銀山3113241(寄付)	(4,637)
広銀・八丁3229086(貯蓄用)	(4,315)
振替貯金(会費)	(59,027)
振替・サポート倶楽部	(33,848)
労金寄付①保険医療	(6,960)
労金寄付②社会教育	(2,580)
労金寄付③まちづくり	(700)
労金寄付④文化スポ	(5,100)
労金寄付⑤環境保全	(3,300)
労金寄付⑥災害救援	(42,494)
労金寄付⑦地域安全	(14,900)
労金寄付⑧人権平和	(4,040)
労金寄付⑨国際協力	(11,920)
労金寄付⑩男女共同	(26,441)
労金寄付⑪子ども健全	(5,500)
労金寄付⑫情報化社会	(1,200)
労金寄付⑬経済活動	(4,040)
縦上労金寄付⑭職業訓練	(2,020)
労金寄付⑮消費者保	(10,100)
労金寄付⑯NPO支	(600)
労金寄付⑰フリー	(37,260)
労金寄付⑱観光振興	(40,805)
労金寄付21立上助成金	(50,001)
定期預金	50,000
現金・預金計	64,652,791
(売上債権)	
未収金	37,329,283
(共同)障害年金ヘルプデスク	(1,800)
(共同)企業経営研究会	(70,612)
(共同)日本インクルーシブ	(5,400)
(共同)百人邑	(2,700)
(共同)キャンサハハイパー	(175,861)
(共同)ピアサポート子育て相談セン	(6,694)
(共同)one dream	(18,282)
(共同)中国留学生会	(34,691)
(共同)I PRAY	(7,354)
環境省EPO	(30,844,003)
JICA中国開発教育	(1,865,820)
JICA-NGO	(3,624,997)
福山市まちサポ	(15,787)
廿日市市	(371,562)
広島県教育委員会	(93,500)
広島県立福山少年の家	(89,100)
陽だまり	(7,530)

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所〔税込〕(単位：円)
令和2年 3月31日 現在

子育て	(3,190)		
ひゅーるぼん	(25,000)		
NPO社会理論・動態研究所	(33,000)		
作業所わくわく	(32,400)		
売上債権 計	37,329,283		
(棚卸資産)			
棚卸 資産	54,920		
棚卸資産 計	54,920		
(その他流動資産)			
前払 費用	188,020		
つばさ家賃	(162,800)		
Green Gift2019経費	(25,220)		
仮 払 金	439,797		
松原 裕樹 (EPO)	(267,570)		
子育て講師	(20,082)		
社会保険料	(138,045)		
住民税	(14,100)		
その他流動資産 計	627,817		
流動資産合計		102,664,811	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建 物	327,600		
什器 備品	151,784		
一括償却資産	104,112		
有形固定資産 計	583,496		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	140,132		
無形固定資産 計	293,012		
(投資その他の資産)			
保 証 金	200,000		
敷 金	180,000		
OS安佐南	(180,000)		
投資その他の資産 計	380,000		
固定資産合計		1,256,508	
資産の部 合計		103,921,319	
《負債の部》			
【流動負債】			
未 払 金	10,228,811		
給 与(センター)	(2,370,050)		
給 与(子育て)	(1,846,948)		
社会保険料	(1,624,045)		
労働保険料	(74,412)		
ろうきん寄付	(350,000)		
サポート倶楽部	(650,000)		
幟町集会所	(76,500)		
㈱S-Produce.	(813,800)		
ゆうメール	(149,787)		
㈱弘法	(43,919)		
㈱セディナ	(9,137)		
アスクール	(34,533)		
会計サポート	(191,360)		
環境省EPO謝金	(448,950)		
㈱AWANE	(3,300)		
コニカミノルタ㈱	(16,399)		

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所【税込】(単位:円)
令和2年 3月31日 現在

県教委)委託費	(354,150)	
復興支援(岡本)	(218,000)	
復興支援(井上)	(173,550)	
OS安佐南電話代	(9,581)	
OS南区ソフトバンク	(2,761)	
松原 裕樹	(26,196)	
松村 渉	(54,118)	
増田 勇希	(566,582)	
香川 恭子 (OSつばさ)	(50,614)	
香川 恭子 (OS安佐南)	(42,729)	
香川 恭子 (OS南)	(27,390)	
前受金	61,537,791	
正会員会費	(5,000)	
協力会員会費	(6,000)	
Green Gift2019	(600,000)	
休眠預金2020年度	(60,926,791)	
短期借入金	30,000,000	
広銀3000万(R1.6~)3.5%	(30,000,000)	
預り金	1,333,157	
給与源泉税	(64,210)	
報酬源泉税	(50,097)	
健康保険料	(410,092)	
厚生年金保険料	(674,172)	
雇用保険料	(134,586)	
流動負債計		103,099,759
【固定負債】		
長期借入金	5,376,184	
公庫600万(H28.11~48回)	(1,000,000)	
広銀カードローン(H28.12~)	(4,376,184)	
固定負債計		5,376,184
負債の部 合計		108,475,943
正味財産		<u>△ 4,554,624</u>

活動計算書

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

【税込】(単位:円)

全事業所

自平成31年4月1日 至令和2年3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	695,000	
協力会員受取会費	175,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	29,807,582	
【受取助成金等】		
受取助成金	5,407,529	
受取補助金	33,029,000	
【事業収益】		
事業収益	5,169,130	
受託事業収益	54,738,749	
【その他収益】		
受取利息	203	
雑収益	296,793	
経常収益計		129,318,986
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料手当(事業)	51,507,762	
通勤費(事業)	2,886,541	
法定福利費(事業)	6,989,483	
福利厚生費(事業)	8,819	
人件費計	61,392,605	
(その他経費)		
売上原価	24,131	
諸謝金(事業)	3,435,601	
業務委託費(事業)	10,925,879	
印刷製本費(事業)	2,210,364	
会議費(事業)	313,093	
旅費交通費(事業)	9,280,674	
通信運搬費(事業)	1,221,205	
消耗品費(事業)	1,010,205	
図書購読費(事業)	72,370	
修繕費(事業)	196,560	
水道光熱費(事業)	1,216,589	
リース料(事業)	344,962	
地代家賃(事業)	6,185,440	
賃借料(事業)	963,949	
広告宣伝費(事業)	198,035	
接待交際費(事業)	62,278	
保険料(事業)	125,058	
諸会費(事業)	125,400	
租税公課(事業)	65,000	
研修費(事業)	164,105	
支払手数料(事業)	107,410	
支払助成金	17,570,000	
雑費(事業)	182,497	
その他経費計	56,000,805	
事業費計		117,393,410
【管理費】		
(人件費)		
給料手当	731,000	
通勤費	124,320	
法定福利費	217,667	
人件費計	1,072,987	
(その他経費)		
業務委託費	2,158,130	
諸謝金	6,600	
印刷製本費	90,940	
会議費	52,564	
旅費交通費	329,660	

活動計算書

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 全事業所		【税込】(単位:円)	
		自平成31年 4月 1日	至令和2年 3月31日
通信運搬費		502,986	
消耗品 費		709,436	
賃 借 料		13,850	
接待交際費		29,302	
新聞図書費		3,689	
減価償却費		259,531	
保 険 料		2,240	
諸 会 費		98,400	
リース 料		677,582	
租税 公課		2,646,800	
支払手数料		374,024	
支払 利息		1,222,187	
その他経費計		9,177,921	
管理費 計			10,250,908
経常費用 計			127,644,318
当期経常増減額			1,674,668
【経常外収益】			
過年度損益修正益		200,000	
経常外収益 計			200,000
【経常外費用】			
過年度損益修正損		8,651	
経常外費用 計			8,651
税引前当期正味財産増減額			1,866,017
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			1,795,017
前期繰越正味財産額			△ 6,349,641
次期繰越正味財産額			△ 4,554,624

財務諸表の注記

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

令和2年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原価法による先出法

(2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法

無形固定資産：定額法

(3). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業損益の明細は別紙に出力しています。

【固定資産の増減内訳】

〔税込〕（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物	365,400	0	0	365,400	△ 37,800	327,600
什器 備品	269,403	0	0	269,403	△ 117,619	151,784
一括償却資産	208,224	0	0	208,224	△ 104,112	104,112
(無形固定資産)						
電話加入権	152,880	0	0	152,880	0	152,880
ソフトウェア	140,132	0	0	140,132	0	140,132
(投資その他の資産)						
保証金	200,000	0	0	200,000	0	200,000
敷金	396,000	0	216,000	180,000	0	180,000
合計	1,732,039	0	216,000	1,516,039	△ 259,531	1,256,508

【借入金を増減内訳】

〔税込〕（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金（広島銀行）	0	30,000,000	0	30,000,000
短期借入金（広島銀行）	34,000,000		34,000,000	0
長期借入金（日本政策金融公庫）	2,625,000	0	1,625,000	1,000,000
長期借入金（広島銀行）	3,070,184	2,100,000	794,000	4,376,184
合計	39,695,184	32,100,000	36,419,000	35,376,184

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター R1年度 事業別損益の状況

勘定科目	管理部門	団体運営支援	啓発・研修	子育て・子育て支援に関する事業	その他事業	合計
《経常増減の部》						
【経常収益】						
【受取会費】						
正会員受取会費	695,000	0	0	0	0	695,000
協力会員受取会費	175,000	0	0	0	0	175,000
受取会費計	870,000	0	0	0	0	870,000
【受取寄付金】						
受取寄付金	632,434	8,425,245	0	133,686	20,616,217	29,807,582
受取寄付金計	632,434	8,425,245	0	133,686	20,616,217	29,807,582
【受取助成金等】						
受取助成金	0	0	0	0	5,407,529	5,407,529
受取補助金	0	0	0	33,029,000	0	33,029,000
受取助成金等計	0	0	0	33,029,000	5,407,529	38,436,529
【事業収益】						
事業収益	201,900	3,036,490	0	1,930,740	0	5,169,130
受託事業収益	0	2,513,980	51,592,169	632,600	0	54,738,749
事業収益計	201,900	5,550,470	51,592,169	2,563,340	0	59,907,879
【その他収益】						
受取利息	203	0	0	0	0	203
雑収益	258,493	0	0	38,300	0	296,793
その他収益計	258,696	0	0	38,300	0	296,996
経常収益計	1,963,030	13,975,715	51,592,169	35,764,326	26,023,746	129,318,986
【経常費用】						
【事業費】						
(人件費)						
給料手当(事業)	0	5,132,796	22,547,649	22,188,462	1,638,855	51,507,762
通勤費(事業)	0	327,708	1,045,533	1,476,980	36,320	2,886,541
法定福利費(事業)	0	790,735	3,634,712	2,329,211	234,825	6,989,483
福利厚生費(事業)	0	0	0	8,819	0	8,819
人件費計	0	6,251,239	27,227,894	26,003,472	1,910,000	61,392,605
(その他経費)						
【売上原価】						
期首棚卸高	79,051	0	0	0	0	79,051
期首商品・製品棚卸高	79,051	0	0	0	0	79,051
当期仕入高計	0	0	0	0	0	0
期末棚卸高	54,920	0	0	0	0	54,920
期末商品・製品棚卸高	54,920	0	0	0	0	54,920
売上原価計	24,131	0	0	0	0	24,131
諸謝金(事業)	0	163,620	2,636,481	117,000	518,500	3,435,601
業務委託費(事業)	0	3,403,016	2,030,320	1,325,550	4,166,993	10,925,879
印刷製本費(事業)	0	3,240	2,063,863	120,211	23,050	2,210,364
会議費(事業)	0	7,858	214,723	0	90,512	313,093
旅費交通費(事業)	0	807,953	7,408,746	305,954	758,021	9,280,674
通信運搬費(事業)	0	88,334	600,824	413,842	118,205	1,221,205
消耗品費(事業)	0	157,167	554,177	288,490	10,371	1,010,205
図書購読費(事業)	0	3,240	65,826	1,804	1,500	72,370
修繕費(事業)	0	0	0	196,560	0	196,560
水道光熱費(事業)	0	858,702	0	357,887	0	1,216,589
リース料(事業)	0	0	0	129,600	215,362	344,962
地代家賃(事業)	0	1,666,452	0	4,326,910	192,078	6,185,440
賃借料(事業)	0	261,930	437,459	240,000	24,560	963,949
広告宣伝費(事業)	0	0	198,035	0	0	198,035
接待交際費(事業)	0	0	62,278	0	0	62,278
保険料(事業)	0	0	0	125,058	0	125,058
諸会費(事業)	0	0	25,000	100,400	0	125,400
租税公課(事業)	0	1,000	63,600	400	0	65,000
研修費(事業)	0	30,000	64,105	40,000	30,000	164,105
支払手数料(事業)	0	93,646	4,936	7,178	1,650	107,410
支払助成金	0	1,000,000	0	0	16,570,000	17,570,000
雑費(事業)	0	24,961	65,260	92,276	0	182,497
その他経費計	24,131	8,571,119	16,495,633	8,189,120	22,720,802	56,000,805
事業費計	24,131	14,822,358	43,723,527	34,192,592	24,630,802	117,393,410

勘定科目	管理部門	団体運営支援	啓発・研修	子育て・子育て支援に関する事業	その他事業	合計
【管理費】						
(人件費)						
給料 手当	89,453	41,648	87,906	511,993	0	731,000
通勤費	25,159	11,715	24,732	62,714	0	124,320
法定福利費	70,545	32,845	69,329	44,948	0	217,667
人件費計	185,157	86,208	181,967	619,655	0	1,072,987
(その他経費)						
業務委託費	476,687	221,943	515,780	943,720	0	2,158,130
諸謝金	0	0	6,600	0	0	6,600
印刷製本費	1,005	468	31,757	57,710	0	90,940
会議費	0	0	52,564	0	0	52,564
旅費交通費	14,693	6,841	261,303	46,823	0	329,660
通信運搬費	54,969	25,593	170,951	251,473	0	502,986
消耗品費	19,588	9,121	461,500	219,227	0	709,436
賃借料	0	13,850	0	0	0	13,850
接待交際費	9,497	4,421	9,332	6,052	0	29,302
新聞図書費	1,194	557	1,176	762	0	3,689
減価償却費	38,120	17,749	37,462	166,200	0	259,531
保険料	724	340	714	462	0	2,240
諸会費	31,892	14,848	31,341	20,319	0	98,400
リース料	219,607	102,248	215,807	139,920	0	677,582
租税公課	12,213	76,843	2,346,763	210,981	0	2,646,800
支払手数料	55,822	25,990	54,859	237,353	0	374,024
支払利息	43,688	20,341	1,130,323	27,835	0	1,222,187
その他経費計	979,699	541,153	5,328,232	2,328,837	0	9,177,921
管理費計	1,164,856	627,361	5,510,199	2,948,492	0	10,250,908
経常費用計	1,188,987	15,449,719	49,233,726	37,141,084	24,630,802	127,644,318
当期経常増減額	774,043	-1,474,004	2,358,443	-1,376,758	1,392,944	1,674,668

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
代表理事 安藤周治 殿

監査報告書

私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの平成31年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)の業務及び財産の状況について監査を実施した。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか、理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては、法令及び定款に違反する重大な事実はなく、平成31年度の特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの財産の状況は、NPO法人会計基準に準拠して財務諸表等に適正に表示されているものと認める。

以上

令和2年5月29日

監事 久富信雄

監事 赤井克彦